

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市PR番組放送委託事業		
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	本市の住み良さや自然の豊かさ、それに桜等の開花情報、夏祭り、秋祭り等の観光情報を盛り込んだ動画を自主放送で制作し、奈良テレビ放送で制作している番組(「ゆうドキ」内コーナー「いきいきまちだより」)内で放映し本市の魅力をPRし観光等の振興につなげる。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	2	文書広報費
細目	1	文書広報費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上				
H26年度事業の概要	奈良テレビ放送番組「ゆうドキ」内コーナー「いきいきまちだより」(毎週金曜日放送)で放送する。なお、県内各市情報番組は奈良テレビで制作するが、本市には自主放送により動画を制作することが出来るので制作経費を削減することができる。その特性を活かし自主放送で動画を制作し、奈良テレビ放送番組で放映する。動画24回(70秒/回)/年間：静止画1回(30秒/回)/週データ放送(週1回更新)/年間を通じ視聴可能 放送用加工料及び電波料 824千円/年		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	本市の住み良さや豊かさ、観光情報等を積極的にPRすることにより交流人口の増加が期待できる。又、当市の魅力を市内外の方に認識していただく事により定住先を探している方に選択する際の参考としていただく。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	824	
			H26予算額	A	824
H25当初予算額	B	802			
H25現計予算額		802			
増減額	A-B	22			
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/	802			
従事職員数【人工】		0.50			
人件費(人工×8,000千円)		4,000			
総事業費:人件費含む(千円)		4,802			
活動指標名	放映回数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績	単位	76			
単位当たりコスト(円)			63,184		
事業の目標	積極的に市内外に当市の魅力をPRすることにより交流人口を増加させるとともに、当市のまちづくりについても紹介し新たな定住先としての魅力を発信する。 ①観光イベント・交流イベント参加者数の増 ②転入人口の増		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (9)宇陀市PR番組放送委託事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市政モニター事業					
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	広聴業務は行政に対して市民が直接、意見や要望を伝えることができる市民参画の手法の一つであり、同時に、市民ニーズを的確に把握し、市民参画の推進を図るための事業であり、その実施手法によっては、市民と行政との関係性にもつながる事業である。 本市においても、他市と同様に市政に対する市民の意見等を継続的に聴取し、市政への市民参加と開かれた市政の実現に向けて、市政モニター制度の運用を行う。		区分	No.	区分名			
	款	2	総務費					
	項	1	総務管理費					
	目	2	文書広報費					
細目	1	文書広報費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり							
H26年度事業の概要	・公募制とし、中学生以上の市民を対象に募集(定員100名) ・年3~5回程度アンケートを実施することとし、アンケート結果については原則公開する。		財源の内訳 (単位:千円)					
	事業の成果	市政への市民参加と開かれた市政の実現。 市民と行政の相互理解を深め、円滑な市政運営に資する。		分担金				
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源		134						
H26予算額		A	134					
H25当初予算額	B							
H25現計予算額	100							
増減額	A-B	134						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		100						
従事職員数【人工】		0.20						
人件費(人工×8,000千円)		1,600						
総事業費:人件費含む(千円)		1,700						
活動指標名	アンケート実施回数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績	単位	4 単位 回						
単位当たりコスト(円)		425,000						
事業の目標	市民の市政への関心の高まりと市政参加の促進 公募制である市政モニターへの応募者数の増					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (4)市政モニター事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	庁舎管理業務・庁舎省エネ化工事							
所管課	45	管財課	(総務部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	・庁舎管理経費の節減、現在の省エネルギー事情への対応、CO ₂ 削減を目的に庁舎設備の省エネ化を図る。 ・本庁舎においては、平成25年度にLED照明を導入するなど設備の省エネ化に取り組み、市内各施設での導入検討の参考事例にするほか、市民に向けての啓発機会とする。				区分	No.	区分名			
					款	2	総務費			
					項	1	総務管理費			
					目	3	財産管理費			
細目	1	本庁財産管理費								
根拠条例等	宇陀市庁舎管理規則 他									
総合計画	基本計画 第1章 第1節 自然環境の保全と活用									
H26年度事業の概要	OLED照明設置工事 ・昨年に続き、本庁舎の照明設備をLED照明に交換する。 今年度については、次の箇所で実施予定。 未交換の事務フロア・通路部分・街灯の照明等、効果を考慮して予算の範囲内で実施予定 約 300箇所				財源の内訳 (単位:千円)					
	事業の成果	・庁舎電気使用量の節減 ・庁舎管理経費の節減 ・二酸化炭素ガス排出量の削減 ・市民に向けての省エネ・CO ₂ 削減に対する啓発活動の促進				分担金				
使用料										
国費										
県費										
市債										
その他										
一般財源						5,000				
H26予算額	A 5,000									
H25当初予算額	B 5,000									
H25現計予算額	5,111									
増減額	A-B									
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	21	5,110								
従事職員数【人工】	0.01	0.05								
人件費(人工×8,000千円)	80	400								
総事業費:人件費含む(千円)	101	5,510								
活動指標名	節電効果									
活動指標の算式	LED照明器具数/全体照明器具数(2,121ヶ所)									
活動指標の実績	4 単位 ヶ所	305 単位 ヶ所								
単位当たりコスト(円)	25,250	18,066								
事業の目標	・節電効果及び電気料金の節減 ・本庁舎での導入結果を参考に、市内の公共施設等での省エネ化の促進に寄与する。						<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (7)地球環境に配慮した施策			
							備考			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行補助				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	1	本庁企画費					
根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっていることから、赤字路線について民間バス事業者に運行経費の補助を行う。 奥宇陀線(上内牧系統) 3,000千円 桜井菟田野線 1,100千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	民間バス路線の維持(H24実績) 奥宇陀線(上内牧系統) 年間利用者数 3,268人 桜井菟田野線 年間利用者数 28,754人				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	4,100	
					H26予算額	A 4,100	
					H25当初予算額	B 3,800	
H25現計予算額	3,800						
増減額	A-B 300						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	3,591	3,800					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	4,391	4,600					
活動指標名	利用者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	3,268	単位 人				3,650	単位 人
単位当たりコスト(円)	1,344					1,260	
事業の目標	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業						
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
細目	1	本庁企画費							
根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実								
H26年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行う。				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	バス路線の維持 平成24年度利用者数 1日平均33.84人 運行日数 244日				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	500			
					H26予算額	A 500			
					H25当初予算額	B 500			
H25現計予算額	500								
増減額	A-B								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		500	500						
従事職員数【人工】		0.05	0.05						
人件費(人工×8,000千円)		400	400						
総事業費:人件費含む(千円)		900	900						
活動指標名		利用者数							
活動指標の算式		-							
活動指標の実績		8,257	単位	人			8,500	単位	人
単位当たりコスト(円)		109		106					
事業の目標	バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的 公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	3	代替バス運行事業費						
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例							
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実							
H26年度事業の概要	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間の市営有償バスを運行する。 運行便数: 10便/日 使用料: 大人350円 小人180円				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果 平成19年度より奈良交通バス撤退路線の代替バスとして運行を行っている。 平成24年度 運行日数 245日 年間利用者数 1,965人 運行便数 1,225便				分担金			
使用料					766			
				国費	2,719			
				県費				
				市債				
				その他				
				一般財源	882			
				H26予算額 A	4,367			
				H25当初予算額 B	4,258			
				H25現計予算額	4,258			
				増減額 A-B	109			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 榛原大野線バス使用料 766千円 地域公共交通確保維持改善事業補助金 2,719千円			
決算額又は決算見込額(千円)		4,044	3,710					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		4,844	4,510					
活動指標名		利用者数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		1,965	単位	人		2,500	単位	人
単位当たりコスト(円)		2,465		1,804				
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表の見直し等を行い利用者を増やしていく。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	薬草試験栽培委託事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	推古天皇の薬草狩りの地、また製薬業発祥の地宇陀市として「薬草のまちづくり」を推進し宇陀市の賑わい創りに資する。そのためにも、まず薬草栽培が宇陀市で特産化されるためにその試験栽培を行い、得たデータを基に栽培推進を支援する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	8	うだ賑わい創り事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業活性化 ・ 第5章 第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	宇陀市における薬草栽培のデータ収集・資料作成 旅費 10千円 種苗等購入 421千円 委託費 1,648千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	薬草栽培データ・資料を基に市内において薬草栽培を推進し、宇陀市の新たな特産品とすることで、地域産業の活性化を図る。 具体的には、薬草産地となることにより薬品会社の工場等の施設を誘致したり、薬草加工品、薬膳料理、薬湯などにより経済や観光の刺激策とする。 また、遊休農地、耕作放棄地の解消を行うことにより、自然環境の保全が図れる。				使用料		
					国費	1,900	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	179	
					H26予算額	A 2,079	
					H25当初予算額	B 2,400	
H25現計予算額	2,400						
増減額	A-B ▲ 321						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/				合併市町村補助金 1,900千円		
従事職員数【人工】					1,156		
人件費(人工×8,000千円)					0.50		
総事業費:人件費含む(千円)					4,000		
活動指標名	苗栽培本数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績			30,000	単位	本		
単位当たりコスト(円)					172		
事業の目標	消費の拡大と地域商工業の活性化				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市勢要覧作成事業					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的 宇陀市は平成28年1月に市制施行10周年を迎えるにあたり、この節目をひとつの契機ととらえ、未来に向けた新しいスタートとして、市民の皆さんが本市の持つさまざまな魅力を再発見・再認識し、郷土に誇りを持てる各種事業を実施する。平成26年度は、その先駆けとして市勢要覧の作成を行う。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	10	市制10周年記念事業費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第1章 第4節 持続可能な調和のとれたまち							
H26年度事業の概要	市勢要覧作成 作成業務委託 8,100千円 業者委託するだけでなく、プロジェクトチームを立ち上げ他にはない宇陀市独自のPRを兼ねた人々の目にとまる「市勢要覧」を作成する。				財源の内訳 (単位:千円)			
	ありきたりな市勢要覧ではない、宇陀市PRを兼ねたものを作成することにより、市内外に宇陀市の魅力の再発見・再認識が図られる。				分担金			
事業の成果					使用料			
					国費	8,100		
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源			
					H26予算額	A 8,100		
				H25 当初予算額	B			
				H25 現計予算額				
				増減額	A-B 8,100			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		 事業のコスト 平成24年度(実績) 平成25年度(見込) 		合併市町村補助金 8,100千円				
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績		単位	単位					
単位当たりコスト (円)								
事業の目標	市民の宇陀市の魅力の再発見・再認識に寄与する。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	23	大宇陀南部線運行事業費					
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域に市営有償バスを運行する。 運行便数: 6便/日 使用料: 大人250円 小人100円				財源の内訳 (単位: 千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度において、延べ3,879人の利用(1日平均10.8人)があった。				使用料	820	
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	443	
					一般財源	3,817	
					H26予算額	A 5,080	
					H25当初予算額	B 4,949	
H25現計予算額	4,949						
増減額	A-B 131						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,542	4,434					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費: 人件費含む(千円)	5,342	5,234					
活動指標名	利用者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	3,879	単位	3,500	単位			
単位当たりコスト(円)	1,377	1,495					
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表、運行経路の改善を行い利用者を増やしていく。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)							
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び、公共交通空白地域の交通手段の確保を目的として、宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり実施している有償運送事業に対して補助金を交付する。				区分	No.	区分名			
					款	2	総務費			
					項	1	総務管理費			
					目	4	企画費			
細目	40	菟田野地域事務所企画費								
根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱									
総合計画	基本計画 第3章 第3節 バス利用の促進									
H26年度事業の概要	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び公共交通空白地域を1日3便運行する。				財源の内訳 (単位:千円)					
					分担金					
事業の成果	平成24年度の実績として、日に3便の運行で224日運行し、1日の平均乗客数は約3人で、年間690人が利用した。 利用目的として、高齢者世帯の買い物や通院での利用がほとんどで、該当地域の人々には無くてはならない重要な交通手段となっている。				使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源		1,883			
					H26予算額	A	1,883			
					H25当初予算額	B	1,645			
H25現計予算額		1,645								
増減額	A-B	238								
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			1,730	1,645						
従事職員数【人工】			0.005	0.005						
人件費(人工×8,000千円)			40	40						
総事業費:人件費含む(千円)			1,770	1,685						
活動指標名			利用者数							
活動指標の算式			-							
活動指標の実績			690	単位	人			732	単位	人
単位当たりコスト(円)			2,565		2,302					
事業の目標	地域に根ざした、より効果的な交通手段の確保。				備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	臨時室生口大野駅案内所係員配置事業						
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	近畿日本鉄道株式会社が実施する駅運営管理体制再構築により、室生口大野駅及び三本松駅の駅係員無配置化が行われたことから、当分の間、試験的に室生口大野駅改札出口付近に案内係員を配置し、観光客や一般利用客の利便性や安心を確保する。ただし、駅構内の安全配慮義務を行うものではない。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
細目	80	室生地域事務所企画費							
根拠条例等									
総合計画	基本計画 第5章 第5節 公共交通機関の充実								
H26年度事業の概要	近鉄室生口大野駅への案内所係員配置 (H26. 4. 1~H26. 11月末)				財源の内訳 (単位:千円)				
	係員配置委託料	1,680千円			分担金				
	駅構内使用料	73千円			使用料				
	案内所電気代	40千円			国費				
	案内所携帯電話代	40千円			県費				
事業の成果	観光客及び一般利用客の利便性や安心の確保が図れる。				市債				
					その他				
					一般財源	1,833			
					H26予算額	A	1,833		
					H25当初予算額	B			
					H25現計予算額	1,730			
					増減額	A-B	1,833		
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		1,730							
従事職員数【人工】		0.01							
人件費(人工×8,000千円)		80							
総事業費:人件費含む(千円)		1,810							
活動指標名	案内・対応件数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績		10,000	単位 件						
単位当たりコスト(円)		181							
事業の目標	駅利用者の利便性や安心の確保				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業						
所管課	81	企画課	(企画財政部)						
事業の目的 室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。					宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
細目	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費							
根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例								
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実								
H26年度事業の概要 室生地域において、室生北部線、室生南部線、診療所バスを廃止し、デマンド型乗合タクシーを運行する。 運行便数：6便/日 使用料 300円(同一エリア) 500円(複数エリア)					財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果 平成22年度より宇陀市地域公共交通活性化再生協議会において実証運行を経て、平成24年度より本格運行をしており、平成24年度においては1日平均20.3人、平成25年度上半期においては1日平均16.9人が利用している。					使用料	2,232			
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	10,134			
					H26予算額	A	12,366		
					H25当初予算額	B	12,350		
					H25現計予算額		12,350		
増減額	A-B	16							
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 デマンド型乗合タクシー使用料 2,232千円				
決算額又は決算見込額(千円)			9,673	10,000					
従事職員数【人工】			0.70	0.70					
人件費(人工×8,000千円)			5,600	5,600					
総事業費:人件費含む(千円)			15,273	15,600					
活動指標名			利用者数						
活動指標の算式			-						
活動指標の実績			4,905	単位			人	4,500	単位
単位当たりコスト(円)			3,114					3,467	
事業の目標 1台平均利用者数が2人以上になるように努め、効率的な運行を目指す。							備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金
------	----	-----	-------------------

所管課	41	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算	
-----	----	-----	-------	-----------	--

事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置に要する経費について補助するもの。 また、防犯灯をLED化することにより省電力でより明るくし、夜間のウォーキングなどの安全を図る。			区分	No.	区分名
	款	2	総務費			
	項	1	総務管理費			
	目	10	生活安全対策費			
	細目					

根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現

H26年度事業の概要	補助対象経費		補助金額				
			蛍光灯	LED			
	防犯灯の新設	10千円	14千円				
	既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円				
	照明器具の更新	3千円	7千円				
	大宇陀地域	52基	356千円				
	菟田野地域	216基	1,551千円				
	榛原地域	215基	1,567千円				
	室生地域	52基	370千円				
	合計	535基	3,844千円				
事業の成果	防犯灯補助金交付実績及び見込 (単位:基)						
	補助対象区分	種類	H21	H22	H23	H24	H25
	防犯灯の新設	蛍光灯	16	20	12	6	6
		LED					9
	既設電柱に照明器具の新設	蛍光灯	27	15	5	15	8
		LED					27
	照明器具の更新	蛍光灯	39	28	9	46	27
		LED					378
	計		82	63	26	67	455
	※H25年度よりLED化補助を実施						
財源の内訳 (単位:千円)							
分担金							
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源	3,844						
H26予算額	A	3,844					
H25当初予算額	B	598					
H25現計予算額	3,534						
増減額	A-B	3,246					

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	288	3,534				
従事職員数【人工】	0.03	0.03				
人件費(人工×8,000千円)	240	240				
総事業費:人件費含む(千円)	528	3,774				
活動指標名	補助金交付件数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	67	単位	基	455	単位	基
単位当たりコスト(円)	7,881		8,295			

事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。 LED灯の補助金額を設定することで、省電力で明るい防犯灯のLED化の推進を図る。	備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)防犯灯、交通安全施設の整備
-------	---------------------------------------------------------------------------------	----	------------------------------------------------------------------------

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅建築工事・リフォーム工事助成事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市内の住宅関連業者の育成支援と、市民の居住環境の向上による定住促進を図るため、市内業者を利用して住宅の建築またはリフォーム工事を行う市民に助成を行う。助成については、市内の商店で利用できる「ウッピー商品券」を交付することにより、さらに市内商店の活性化支援を目的とする。		区分	No.	区分名			
			款	2	総務費			
			項	1	総務管理費			
			目	17	まちづくり支援費			
細目	1	まちづくり支援費						
根拠条例等	「宇陀市経済対策としての住宅工事・リフォーム工事助成事業に関する要綱」							
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築							
H26年度事業の概要	市内に住所のある個人が居住する住宅を、市内の事業者に依頼して修繕、補修、増築等のリフォーム工事を行うとき、「ウッピー券」を交付する。 対象経費が50万円以上の工事に対し、補助対象経費の10%分(上限10万円分) 補助金 ウッピー商品券 10万円分×80件=8,000千円 通信費 15千円		財源の内訳 (単位:千円)					
			分担金					
事業の成果	また、市内における建築関連事業者の営業活動が活発となり、リフォーム工事等が増加するとともに、市が1割分の商品券を交付することで、建築業者には予算額の10倍以上の経済効果が期待できるとともに、市内の商工業振興が図れる。 また、住宅の所有者にとっては生活環境の向上と投資額の軽減が図れ、快適な住宅機能を維持することにより、市民の転出や空き家の増加を防ぎ定住促進を図ることができる。		使用料					
			国費					
			県費					
			市債					
			その他					
			一般財源	8,015				
			H26予算額	A	8,015			
			H25当初予算額	B	8,000			
H25現計予算額		12,000						
増減額	A-B	15						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	5,856	12,000						
従事職員数【人工】	0.50	0.50						
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000						
総事業費:人件費含む(千円)	9,856	16,000						
活動指標名	実施件数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	61	単位 件				120	単位 件	
単位当たりコスト(円)	161,574					133,333		
事業の目標	市内流通の商品券をもって住宅リフォームの奨励をすることにより、市の経済の活性化を図るとともに市民の生活環境の向上を図ることができる。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (2)住宅建築・リフォーム工事助成事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会設立促進(協働推進)					
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)					
事業の目的	地域住民が身近な課題解決に向け、地域の個性を生かして自立的にまちづくりを推進するための組織「まちづくり協議会」の創設を推進する。 また、設立後はそれぞれの協議会の活動の中で『いきいきした地域づくり』ができるよう応援する。				宇陀市一般会計予算			
	区分	No.	区分名					
	款	2	総務費					
	項	1	総務管理費					
	目	17	まちづくり支援費					
	細目	1	まちづくり支援費					
根拠条例等	「宇陀市まちづくり協議会設立検討会補助金交付要綱」「宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱」							
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり							
H26年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業 まちづくり報告会講師謝礼 150千円 まちづくり講座講師謝礼 150千円(計3回開催) 旅費20千円、需用費281千円、役務費33千円 ○地域支援員賃金 3,348千円(2名分) ○協議会設立検討会補助金 500千円 ○いきいき地域づくり補助金 10,191千円(20団体分) ○いきいき地域づくり補助金(活動支援補助金) 3,000千円(300千円×10団体分)				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	地域自治区や地域協議会の廃止後における、市民主体のまちづくり組織を形成することにより、行政側からの押しつけではなく、自らが考えることにより地域の実情に応じた活動しやすい組織が生まれる。 平成26年度においては各協議会の連携を図るため事例発表会(まちづくり報告会)及び講座を開催し、市民に広く活動を周知するとともに、独自事業について活動支援補助金を支給する。 ※対象事業:市外住民との交流事業、コミュニティビジネス事業、高齢者生きがいづくり事業、多世代交流事業、子ども支援事業、その他市長が認める事業				分担金		
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源		17,673						
H26予算額	A 17,673							
H25当初予算額	B 14,240							
H25現計予算額	14,240							
増減額	A-B 3,433							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	4,880	14,240						
従事職員数【人工】	1.50	1.50						
人件費(人工×8,000千円)	12,000	12,000						
総事業費:人件費含む(千円)	16,880	26,240						
活動指標名	検討会・協議会設置地域人数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	12,857	単位 人				23,000	単位 人	
単位当たりコスト(円)	1,313					1,141		
事業の目標	まちづくり協議会設立検討会の設立、さらには、まちづくり協議会の設立を目指す。 設立後のまちづくり協議会は、自主的に地域の課題解決に取り組み、地域の元気を創出する組織へと成長を促す。					備考		
						<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (1)まちづくり協議会の設立推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク設置						
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算						
事業の目的	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。 また、人口増加と定住化及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。 さらに、親と同居する若い世代の市内定住も促進し、安定した世帯構成を継続する地域づくりを目指す。				区分 No.	区分名			
	款	2	総務費						
	項	1	総務管理費						
	目	17	まちづくり支援費						
細目	1	まちづくり支援費							
根拠条例等	「宇陀市空き家情報バンク設置要綱」								
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築								
H26年度事業の概要	所有者から申込みのあった物件情報を、市と「空き家の仲介に関する協定」を交わした宅地建物取引業者が確認し、市に情報を集約する。その情報を市外の利用希望者に発信することで定住促進を図る。 チラシ印刷等81千円 郵送料 5千円				財源の内訳 (単位:千円)				
	事業の成果	市内の空き家情報の収集や広域圏への周知を市が行うことで、空き家の有効活用と定住促進をめざし、市と協定を交わした宅地建物取引業者を介して取引を奨励する。				分担金			
使用料									
国費									
県費									
市債									
その他									
一般財源		86							
H26予算額		A 86							
H25当初予算額	B 76								
H25現計予算額	76								
増減額	A-B 10								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	81	76							
従事職員数【人工】	0.30	0.30							
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400							
総事業費:人件費含む(千円)	2,481	2,476							
活動指標名	定住促進奨励金支給件数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績	42.0 単位 件	50 単位 件							
単位当たりコスト(円)	59,071	49,520							
事業の目標	所有者に制度を周知し、空き家は地域活力や人口増加の受け皿であることを定着させる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (2)宇陀市空き家情報バンクの活用		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励金交付事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。 また、人口増加と定住化及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。 さらに、親と同居する若い世代の市内定住も促進し、安定した世帯構成を継続する地域づくりを目指す。			区分	No.	区分名		
				款	2	総務費		
				項	1	総務管理費		
				目	17	まちづくり支援費		
細目	1	まちづくり支援費						
根拠条例等	「宇陀市定住促進奨励金交付要綱」							
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築							
H26年度事業の概要	市内に住宅を取得(新築か購入)した者が一定の要件を満たすとき、奨励金(ウッピー商品券)を交付する。 郵送料等 6千円 奨励補助 転入分:100千円×40件=4,000千円 市民分: 50千円×20件=1,000千円			財源の内訳 (単位:千円)				
				分担金				
事業の成果	市内に住宅を取得(新築・購入)したものが一定の要件を満たすとき、奨励金(ウッピー商品券)を交付し、定住促進と市内経済の活性化を図る。			使用料				
				国費				
				県費				
				市債				
				その他				
				一般財源	5,006			
				H26予算額	A 5,006			
				H25当初予算額	B 5,006			
H25現計予算額	5,006							
増減額	A-B							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	3,831	5,006						
従事職員数【人工】	0.30	0.30						
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400						
総事業費:人件費含む(千円)	6,231	7,406						
活動指標名	奨励金支給件数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	42.0	単位 件				50	単位 件	
単位当たりコスト(円)	148,357					148,120		
事業の目標	制度の周知をもって宇陀市への定住の機会を創出し、地域内の繋がりを維持させる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (3)定住促進奨励事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	起業支援型雇用創造事業(食でつながるコミュニティビジネス事業)				
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市室生大野地区で、高齢化によるコミュニティの希薄化、耕作放棄地の拡大といった地域がかかえる課題の解決にむけて協働で取り組んでいるNPOが、今後さらに活動を広げるため、「食」をキーワードに循環型社会の形成と美しい棚田風景の再生をめざし、高齢者を対象とした配食や共食などのコミュニティビジネスを実施することで、高齢者や子育て世代の女性にも雇用の機会を創出し、地域住民のやる気を引き出し元気のある地域づくりを行う。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生						
H26年度事業の概要	①配食事業：一人暮らしの高齢者や、毎日の食事に不安がある人のために、安否確認の見守りを兼ねて、栄養バランスのとれた食事を届ける。 ②共食事業：地域の高齢者が集まって一緒に食事することで、食生活を改善し、生活習慣を規則正しいものにする。 ③地域産品開発・販売事業：自家製の農産物を材料にした地域産品を開発・販売する。 ④耕作放棄地解消事業：拡大する耕作放棄地を開墾し、そこで栽培された農産物を配食・共食事業の食材や地域産品の原材料として使用する。 ○委託料 1,404千円 ○目標 週2回(各60食)以上配食の実施				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	■失業者に対して雇用の機会を創出・提供することにより、これらの者の生活の安定を図ることができる。 ■地域に根ざした雇用創出に資する事業を実施し、地域の安定的な雇用の受け皿を創出する。 ■「食」をキーワードに地域がつながることで、失われつつあるコミュニティの再生を図ることができる。 ■耕作放棄地を開墾することで美しい田園風景を再生する。				使用料		
					国費		
					県費	1,404	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A	1,404
H25当初予算額	B						
H25現計予算額		6,534					
増減額	A-B	1,404					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		6,534		緊急雇用創出事業 起業支援型雇用創造事業 1,404千円			
従事職員数【人工】		0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800					
総事業費:人件費含む(千円)		7,334					
活動指標名	1回の配食件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	30	単位	件		
単位当たりコスト(円)		244,467					
事業の目標	■複数のNPOが協働でビジネスの手法を用いて地域課題を解決する取組が発展し、安定的な雇用を創出することで、他のモデルとなる。 ■農産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や体験農園のようなサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むことで、六次産業化の推進を図り、地域力を向上させる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (5)食でつながるコミュニティビジネス事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	療育教室「こあら教室」開設事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)				
事業の目的 発達障害児及び保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障害のある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。					宇陀市一般会計予算		
					区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費					
根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第4節 障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち						
H26年度事業の概要	発達障害児の早期療育の場とし、指導者を充実させ、関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。				財源の内訳 (単位:千円)		
	臨時職員賃金 1,550千円 消耗品費 50千円 食糧費 24千円 障害保険料 15千円 合計 1,639千円	分担金		使用料		国費	
事業の成果	平成24年度実績 平成22年11月より開設。 家庭児童相談員1名、臨時保育士4名、指導員1名で、毎週火曜日朝10時より「ぬくもりの郷」で 39回実施。7組の親子が参加。				市債		
	臨時職員賃金 1,765千円 講師謝礼 130千円 消耗品費 169千円 食糧費 6千円 手数料 11千円 合計 2,081千円				その他 24		
					一般財源 1,615		
					H26予算額 A 1,639		
					H25当初予算額 B 1,562		
					H25現計予算額 1,562		
					増減額 A-B 77		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		2,081	1,562		参加者負担金 24千円		
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)		4,481	3,962				
活動指標名		参加親子数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		14	単位	%	18	単位 %	
単位当たりコスト(円)		320,071		220,111			
事業の目標	児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流をはかる。				<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (13)“こあら教室”を開設しています。		
備考							

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心身障害者医療費助成事業 市加算分				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)				
事業の目的			宇陀市一般会計予算				
心身に障害のある者(身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者)に対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。			区分	No.	区分名		
			款	3	民生費		
			項	1	社会福祉費		
			目	2	障害者福祉費		
細目	1	本庁障害者福祉費					
根拠条例等	宇陀市心身障害者医療費助成条例、同条例施行規則						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	支払った医療費(食事療養費や保険外医療費を除く。)から、一定の金額を除いた金額を助成する。 県の心身障害者医療費助成金補助制度では、障害者本人及び扶養義務者に所得制限があるが、宇陀市は市単独事業として県の制限所得を超える方も助成対象としている。 (市単分予算の内訳) ・自己負担集計手数料・・・@44円×55件×12ヶ月=29,040円 ・医療扶助費・・・9,600円×33人×12ヶ月=3,801,600円			財源の内訳 (単位:千円)			
事業の成果	■心身障害者医療費助成の状況 (市単独事業分)			分担金			
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	使用料		
	対象者数(年度末)	24人	29人	35人	国費		
	助成件数	358件	400件	420件	県費		
	支出額	自己負担集計手数料	14,564円	15,972円	17,600円	市債	
		医療助成費(高額立替払分含)	3,049,028円	3,459,501円	3,600,000円	その他	594
計		3,063,592円	3,475,473円	3,617,600円	一般財源	3,237	
			H26予算額	A	3,831		
			H25当初予算額	B	3,938		
			H25現計予算額		3,938		
			増減額	A-B	▲ 107		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		3,476	3,618		福祉医療費助成制度高額療養費(諸収入) 594千円		
従事職員数【人工】		0.08	0.08				
人件費(人工×8,000千円)		640	640				
総事業費:人件費含む(千円)		4,116	4,258				
活動指標名		受給者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		29	単位	人	35	単位	人
単位当たりコスト(円)		141,931		121,657			
事業の目標	医療費の一部を助成することで安心して医療を受けられるようにすることを目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (3)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業 市加算分								
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	後期高齢者医療制度対象者で重度の心身障害のある者(身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者)に対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名					
					款	3	民生費				
					項	1	社会福祉費				
					目	3	老人福祉費				
細目	1	本庁老人福祉費									
根拠条例等	宇陀市重度心身障害老人等医療費助成要綱										
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実										
H26年度事業の概要	対象者が支払った医療費(食事負担や保険外診療分を除く。)から、次の金額を除いた金額を助成する。 ・通院の場合・・・医療機関毎に月500円 ・入院の場合・・・医療機関毎に月1,000円(ただし、月14日未満の入院の場合は、500円) 県の助成金補助制度では所得制限があるが、宇陀市は所得制限を超える方にも市単事業として助成している。 (市単事業分の予算額) 医療費助成費 8,500円×31人×12カ月=3,162,000円				財源の内訳 (単位:千円)						
					分担金		使用料		国費		県費
事業の成果	■重度心身障害老人等医療費助成状況 (市単独事業分)				一般財源	3,162					
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	H26予算額	A 3,162					
	対象者数(年度末)	18人	31人	21人	H25当初予算額	B 3,001					
	助成件数	353件	529件	550件	H25現計予算額	3,001					
	支出額 医療費助成費	2,004,203円	2,691,242円	3,100,960円	増減額	A-B 161					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	2,692	3,101									
従事職員数【人工】	0.03	0.03									
人件費(人工×8,000千円)	240	240									
総事業費:人件費含む(千円)	2,932	3,341									
活動指標名	受給者数										
活動指標の算式	—										
活動指標の実績	31	単位	人				21	単位	人		
単位当たりコスト(円)	94,581	159,095									
事業の目標	重度心身障害老人等に対して、その医療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減するとともに、生活の安定に寄与することを目標とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (3)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等見守り隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費					
根拠条例等	高齢者等おしらせ隊実施要領 高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	平成23年度から、高齢者等見守り隊の編成を行うべく、安心安全ネットワーク推進委員会にて検討。高齢者等おしらせ隊は市が、高齢者等サポート隊は市社会福祉協議会・地域包括支援センターが、それぞれ運営主体となり、24年度から実施。 特に、高齢者等サポート隊は、モデル地域を中心に実践活動を行うことで、地域住民自身で地域の課題や問題点を把握し、高齢者等見守りマップの作成やサポート隊の養成・研修を行ってため、市社会福祉協議会委託料の費用を計上した。				財源の内訳 (単位:千円)		
	高齢者等おしらせ隊と高齢者等サポート隊の2つを合わせて高齢者等見守り隊を呼んでいる。高齢者等おしらせ隊は、配達関連事業所及びライフライン検針業務関連事業所に協力を求め、市と事業所が協定を締結。平成23年12月から業務中に高齢者等の異変を察知した場合、通報・連絡体制や連携を取ることで官民協同のもと高齢者等の孤独死の防止を行っている。 高齢者等サポート隊は、4地域の関係団体に説明会を開催し、事業の目的やモデル地域の決定を行っているが、既存関係団体への説明段階で、進捗が遅れている。23年度内に4地域のモデル地域を指定し、個別説明会やワークショップの開催を目指している。				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	963	
					H26予算額	A 963	
				H25当初予算額	B 963		
				H25現計予算額	963		
				増減額	A-B 0		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		200	963				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)		2,600	3,363				
活動指標名		高齢者サポート隊の設置数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		4	単位	事業所数	10	単位	事業所数
単位当たりコスト(円)		650,000		336,300			
事業の目標	持続可能な事業として、また高齢者等の見守り活動を地域住民、行政、民間事業所の官民協働で実施していく予定だが、サポート隊活動の具体的な内容や範囲、地域への醸成が今後課題となる。まちづくり協議会でも同じことが言えるが、趣旨は理解していただいているものの、必要性に迫られていない地域の醸成をどう図るか、どのようにアピールしていくかが今後の課題・目指すべき事業目標と言える。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 「暮らしの安心」 (4)「高齢者等サポート隊」事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市施設開設準備経費補助金事業		
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	小規模多機能型居宅介護施設を整備することにより、在宅での生活継続を支援する。		区分	No.	区分名
			款	3	民生費
			項	1	社会福祉費
			目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費			
根拠条例等	宇陀市施設開設準備経費補助金交付要綱				
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち				
H26年度事業の概要	県より施設開設準備経費助成特別対策事業補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)を受け、宇陀市施設開設準備経費補助金として支給する。 補助金額 600,000円×9名 = 5,400,000円		財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	小規模多機能型居宅介護事業所を整備することにより、「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供することが出来る。		分担金	
使用料					
国費					
県費				5,400	
市債					
その他					
一般財源					
H26予算額	A	5,400			
H25当初予算額	B				
H25現計予算額					
増減額	A-B	5,400			
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/		施設開設準備経費助成特別対策事業等補助金 5,400千円		
従事職員数【人工】					
人件費(人工×8,000千円)					
総事業費:人件費含む(千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績			単位	単位	
単位当たりコスト(円)					
事業の目標	「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する。		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (6)介護施設等施設整備推進補助・開設準備経費補助事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	小規模多機能型居宅介護施設を整備することにより、在宅での生活継続を支援する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費					
根拠条例等	宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	県より介護基盤緊急整備等臨時特例補助金(小規模多機能型居宅介護事業所)を受け、宇陀市公的介護施設等施設整備推進補助金として支給する。 補助金額 41,812,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	小規模多機能型居宅介護事業所を整備することにより、「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供することが出来る。				使用料		
					国費		
					県費	41,812	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A	41,812
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	41,812					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			 介護基盤緊急整備等臨時特例交付金 41,812千円 				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況や、おかれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (6)介護施設等施設整備推進補助・開設準備経費補助事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	体力向上事業うだ子ども元気体操(ウェルネスシティ枠)				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	子どもの生活習慣の適切な改善は、園での運動活動の中で子どもたちに体を動かすきっかけをつくる。 幼児期からの運動習慣の改善や定着化を図ることは、幼児の運動や体力向上に結び付く。 宇陀市独自の「子ども元気体操」をつくることにより、楽しく体を動かすことの喜びと、子どもの体力向上を目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	報償費 講師謝礼(指導) 100千円 " (作詞・作曲) 200千円 需用費 印刷製本費(リーフレット) 10円×15,000部×1.08=162千円 消耗品費 (DVD作成) 300千円 役務費 (チラシ折り込み) 15千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	子どもたちがどこでも体を動かすことができる体操を通じて、体の動きを高めることをねらいとする。宇陀市オリジナル体操を製作することで、子どもたちが楽しくリズムカルに笑顔で元気いっぱい全身を動かし、体力向上を図ることが期待できる。 また、子どもから大人、高齢者までもが気軽にできる体操として又、世代間交流としても市民の健康増進と体力向上も期待できると考える。 今後、「うだ元気体操」が定着することで、市のイベントや運動会等でも実践でき、市民誰もが周知している体操となり、市民の体力づくりの一貫としても担うことができる。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源	777						
H26予算額	A	777					
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	777					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	幼児期の望ましい運動習慣として、幼児期における体を動かす機会や運動環境を充実させることを目標とする。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市子ども・子育て会議				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	幼稚園・保育所のあり方や認可・運営基準、施設の給付見込の推量など、平成26年度上半期までに5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を策定することになっている。 この事業計画に有識者や保護者代表などの意見を反映させる意味から、宇陀市子ども・子育て会議を運営する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	宇陀市子ども・子育て会議条例 子ども・子育て支援法第77条						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	子ども・子育て新制度の具体的運用に係る基本指針や認可・運営基準、認定こども園・幼稚園・保育所を通じた共通の給付の創設等を盛り込んだ宇陀市子ども・子育て支援事業計画の策定にむけ、審議・検討を行う。 * 子ども・子育て支援事業計画策定(報酬)子ども・子育て会議委員長 @7,800円×1名×3回×1/2= 11,700円 その他委員 @6800円×13名×3回×1/2= 132,600円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	25年7月に宇陀市子ども・子育て会議条例を制定し、有識者や保護者代表者、公募委員など20名で構成し、8月10日を初回に3回を実施してきた。 25年度は、保護者のニーズ調査を実施し、その結果を集計・分析し、本市の就学前の教育・保育や子育て支援の給付事業量を算定し、各委員の意見や審議を反映させながら、27年度から向こう5年間の計画を策定する予定。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	145	
					H26予算額	A	145
H25当初予算額	B						
H25現計予算額		189					
増減額	A-B	145					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		189					
従事職員数【人工】		0.80					
人件費(人工×8,000千円)		6,400					
総事業費:人件費含む(千円)		6,589					
活動指標名	会議委員数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	単位	20				単位	人
単位当たりコスト(円)		329,450					
事業の目標	地域の子育てに関する保護者ニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画を策定、子育て支援の充実を図る。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (1)子ども・子育て会議の実施		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	家庭児童相談員・ファミリーサポートセンター事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	家庭児童相談員事業は、社会問題となっている児童虐待などの未然防止と早期発見に努め、相談・支援体制の充実を図る。 また、ファミリーサポートセンター事業は、育児の応援をしてほしい方(利用会員)と、応援したい方(サポート会員)等がお互いに助けたり、助けられたりして、育児の相互活動を行う組織を応援する。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	宇陀市家庭児童相談室設置運営要綱、宇陀市要保護児童対策地域協議会要綱、宇陀市サポートクラブ事業実施要綱等						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	・家庭児童相談員の設置・・・家庭児童福祉に関する相談、指導業務を充実強化し、児童虐待の未然防止を図るため、関係機関との連携や戸別訪問を重視するとともに、家庭児童福祉の向上を図るために相談員を配置し、啓発活動を行う。3,218千円 ・要保護児童対策協議会・・・保護者のいない児童又は保護者に監護させることが適当でない児童、及び保護者に関する情報の交換を行うとともに、支援に関する協議を行う。6千円 ・ファミリーサポートセンターの充実(100名以上) 2,023千円 ・燃料費等91千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	・家族児童相談員への相談件数 24年度103件 23年度 82件 虐待相談 76件(23年度:72件) その他相談 27件(23年度:10件) ・児童虐待の状況 身体的虐待 26件、心理的虐待 22件、ネグレクト 28件 ・現状 ♪要保護対策協議会を利用した支援が重要になっており、各所属所との現況確認、支援の打合せ回数が活発化した。♪経過観察が必要な家庭の個別訪問と関係機関(幼保、小・中学校)などとの連携(訪問)活動の需要が高まっているため、訪問活動を重点化した。♪具体的な子育ての仕方を指導することにより、子育て中の家庭支援、並びに虐待の未然防止を図った。 ・ファミリーサポートセンターのサポート会員44名、利用会員61名、両方会員16名の計121名が登録。(25年3月末103名)				使用料		
					国費	232	
					県費	1,040	
					市債		
					その他		
					一般財源	4,066	
					H26予算額	A	5,338
H25当初予算額	B	6,841					
H25現計予算額		6,841					
増減額	A-B	▲ 1,503					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			2,315	6,800			
従事職員数【人工】			0.04	0.04			
人件費(人工×8,000千円)			320	320			
総事業費:人件費含む(千円)			2,635	7,120			
活動指標名			相談件数				
活動指標の算式			—				
活動指標の実績			103	130			
単位当たりコスト(円)			25,583	54,769			
事業の目標	・子育てに対する不安や心配を解消するために、家庭・地域・行政が連携しながら、子育て家庭へのニーズに対応した事業を推進する。 ・子どもへの虐待は、心身の成長と人格の形成に大きな影響を与えるだけでなく、生命を奪うこともあるため、市民に啓発し、児童虐待の未然防止と早期発見に努め、相談・支援体制の充実を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (2)家庭児童相談員・ファミリーサポートセンター事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	未熟児養育医療給付事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	低体重など身体の発育が十分でないまま生まれてきた赤ちゃんは、家庭で養育することが難しいことから、医師が入院治療が必要と認めたお子さんに対して必要な医療の給付を行うことを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	母子保健法						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	1. 対象者 1歳未満で、身体の発育が未熟なまま出生し、出生時の体重が2,000グラム以下などの症状を有して、医師が入院養育の必要を認めた乳児。 2. 給付方法 養育医療に係る費用を市が一旦全額指定医療機関に支払い、後日保護者の所得税額等に応じた負担額を保護者より徴収する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成25年12月末までの扶助費支出額 896,612円(8件)				分担金	157	
事業の成果					使用料		
					国費	611	
					県費	305	
					市債		
					その他		
					一般財源	308	
					H26予算額	A 1,381	
				H25当初予算額	B 1,617		
				H25現計予算額	1,617		
				増減額	A- ▲ 236		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		/		1,501		未熟児養育医療費国庫負担金 611千円	
従事職員数【人工】				0.01		未熟児養育医療費県負担金 305千円	
人件費(人工×8,000千円)				80		未熟児養育医療費自己負担金(諸収入) 157千円	
総事業費:人件費含む(千円)				1,581			
活動指標名		受給者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		単位	12	単位	人		
単位当たりコスト(円)		131,750					
事業の目標	乳児の健康保持と子育て支援				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (4)未熟児養育医療給付事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども医療費助成事業 市加算分																																																	
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算																																															
事業の目的	子どもを養育している者に対して当該子どもに係る医療費の一部を助成することで、子どもの健康の保持及び福祉の増進などを図ることを目的とする。				区分	No.	区分名																																													
					款	3	民生費																																													
					項	2	児童福祉費																																													
					目	1	児童福祉総務費																																													
					細目	1	本庁児童福祉総務費																																													
根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則																																																			
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																																																			
H26年度事業の概要	宇陀市では、県が示す保護者の所得基準を撤廃して、その子どもが小学校就学までは、通院医療費の自己負担金の一部を、中学生卒業までは入院医療費自己負担金全額を助成する。 (市単独事業分の予算) ・自己負担金集計手数料・・・@44円×20件×12カ月=10,560円 ・医療費助成費・・・2,859,720円 ※平成26年度から、小中学生に対する入院医療費の助成が県単事業となった(保護者の所得制限あり)。				財源の内訳 (単位:千円)																																															
	■子ども医療費助成状況 (市単独事業分) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療資格者証所持者(年度末)</td> <td>33人</td> <td>31人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>助成件数</td> <td>370件</td> <td>332件</td> <td>280件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出額</td> <td>自己負担集計手数料</td> <td>14,080円</td> <td>12,892円</td> <td>10,120円</td> </tr> <tr> <td>医療助成費(高額立替払分含)</td> <td>2,688,547円</td> <td>2,794,541円</td> <td>3,340,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,702,627円</td> <td>2,807,433円</td> <td>3,350,120円</td> </tr> </tbody> </table>					23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	医療資格者証所持者(年度末)	33人	31人	15人	助成件数	370件	332件	280件	支出額	自己負担集計手数料	14,080円	12,892円	10,120円	医療助成費(高額立替払分含)	2,688,547円	2,794,541円	3,340,000円	計	2,702,627円	2,807,433円	3,350,120円	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,871</td> </tr> <tr> <td>H26予算額</td> <td>A 2,871</td> </tr> <tr> <td>H25当初予算額</td> <td>B 4,888</td> </tr> <tr> <td>H25現計予算額</td> <td>4,888</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>A- ▲ 2,017</td> </tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	2,871	H26予算額	A 2,871	H25当初予算額	B 4,888	H25現計予算額	4,888	増減額
	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)																																																	
医療資格者証所持者(年度末)	33人	31人	15人																																																	
助成件数	370件	332件	280件																																																	
支出額	自己負担集計手数料	14,080円	12,892円	10,120円																																																
	医療助成費(高額立替払分含)	2,688,547円	2,794,541円	3,340,000円																																																
	計	2,702,627円	2,807,433円	3,350,120円																																																
分担金																																																				
使用料																																																				
国費																																																				
県費																																																				
市債																																																				
その他																																																				
一般財源	2,871																																																			
H26予算額	A 2,871																																																			
H25当初予算額	B 4,888																																																			
H25現計予算額	4,888																																																			
増減額	A- ▲ 2,017																																																			
事業の成果	事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況																																																
	決算額又は決算見込額(千円)	2,808	3,351																																																	
	従事職員数【人工】	0.05	0.05																																																	
	人件費(人工×8,000千円)	400	400																																																	
	総事業費:人件費含む(千円)	3,208	3,751																																																	
	活動指標名	受給者数																																																		
	活動指標の算式	—																																																		
	活動指標の実績	31	単位 人				15	単位 人																																												
単位当たりコスト(円)	103,484		250,067																																																	
事業の目標	①医療を受けやすくし、早期治療により疾病の重症化を防ぐ。 ②親の経済的負担を軽減する。 ③子育てしやすい環境を醸成し、人口の流失を防ぐ。				<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃																																															

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児用補助装置(ベビーシート)貸与事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	乳児を保護養育している人を対象に、申請日から概ね6カ月の間、ベビーシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	レンタル事業者と委託契約を結び、申請者には直接事業者からベビーシートが貸与される。				財源の内訳 (単位:千円)		
	・8600円×45件×1.08=417,960円				分担金		
事業の成果	平成21年度決算	47件	427千円		使用料		
	平成22年度決算	44件	398千円		国費		
	平成23年度決算	33件	298千円		県費		
	平成24年度決算	38件	347千円		市債		
	平成25年度予算	45件	407千円(1/31現在受付31件)		その他		
					一般財源		418
					H26予算額	A	418
				H25当初予算額	B	407	
				H25現計予算額		407	
				増減額	A-B	11	
事業のコスト		平成24年度(実績)		平成25年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)		347		407			
従事職員数【人工】		0.05		0.05			
人件費(人工×8,000千円)		400		400			
総事業費:人件費含む(千円)		747		807			
活動指標名		貸与件数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		38	単位	件	45	単位	件
単位当たりコスト(円)		19,658		17,933			
事業の目標	宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用品が義務づけられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (6)ベビーシートレンタル事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い品支給事業						
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	新生児の誕生を祝い健やかな成長を願い、出産祝い品を支給し、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進に資する。				区分 No.	区分名			
					款	3	民生費		
					項	2	児童福祉費		
					目	1	児童福祉総務費		
細目	1	本庁児童福祉総務費							
根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱								
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち								
H26年度事業の概要	出産祝い品として、地域経済の振興に期待できるウッピー商品券(10,000円)を配布するとともに、子育て世代の経済的負担の軽減と定住促進に寄与する。				財源の内訳 (単位:千円)				
	10,000円 × 170人 = 1,700千円				分担金				
事業の成果	出産祝い品 22年度決算 160件 800千円 23年度決算 180件 900千円 24年度決算 150件 750千円 25年度予算 180件 1,800千円				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	1,700			
					H26予算額	A 1,700			
					H25当初予算額	B 1,800			
				H25現計予算額	1,800				
				増減額	A-B ▲ 100				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		750	1,800						
従事職員数【人工】		0.08	0.08						
人件費(人工×8,000千円)		640	640						
総事業費:人件費含む(千円)		1,390	2,440						
活動指標名		支給件数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		150	単位	件			160	単位	件
単位当たりコスト(円)		9,267	15,250						
事業の目標		新生児の誕生と健やかな成長を願い、出産祝い品を支給して祝福するとともに、25年度はウッピー商品券を活用することで、地域経済の振興に期待し、また支給額を倍増とすることで、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進につなげていく。							
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (7)出産祝い品贈呈事業							

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	ファーストバースデー祝い品事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	誕生後、初めての誕生日を迎える幼児に、元気にすくすくと成長することを願いバースデー祝い品(絵本)を贈呈し、子育て世代の定着化と子どもの誕生祝を行う。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	満1歳の誕生日を迎える幼児1人に3,000円相当の祝い品(絵本)を贈呈する 3,000円×170人=510,000円 絵本のカタログや宇陀市HPを通じて、絵本を推奨し保護者が絵本を選択する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	はじめての誕生祝いに、子どもの健やかな成長を願い、絵本を贈呈する。 子どもに絵本の読み聞かせを通して、親子の関係がさらに密になり、親子の心が通じ合い子どもが安定し育ち、豊かな心が育つことを目的とする。 また、読み聞かせを通じて、本に親しみ、本を読むことが好きになり読書好きの子どもになることを目的とする。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	510	
					H26予算額	A 510	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 510						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	出産後1年を迎える幼児に誕生祝い品(絵本)を贈呈し、絵本の読み聞かせを通じ、安定した子育てを目的に親子の触れ合いを通し子育て支援を行い健やかな成長を促す。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (8)ファーストバースデー祝い品事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供する。また、児童虐待を未然に防ぐため、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	こんにちは赤ちゃん事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	平成26年度予算概要 ・4500円×170人=765,000円 助産師2名へ委託 ・助産師活動補償保険 49,260円 ・対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。 ・訪問により支援が必要な家庭に対しては、個別ケース毎に会議を行い、その結果をふまえて支援の内容を検討する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の成果	平成21年度決算	115件	518千円	国費			
	平成22年度決算	162件	733千円	県費	382		
	平成23年度決算	158件	706千円	市債			
	平成24年度決算	125件	555千円	その他			
	平成25年度予算	180件	810千円	一般財源	433		
				H26予算額	A 815		
				H25当初予算額	B 855		
				H25現計予算額	855		
			増減額	A-B ▲ 40			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		555	810	県:安心子ども基金 382千円			
従事職員数【人工】		0.01	0.01				
人件費(人工×8,000千円)		80	80				
総事業費:人件費含む(千円)		635	890				
活動指標名		訪問件数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		125	単位 件	180	単位 件		
単位当たりコスト(円)		5,080		4,944			
事業の目標	乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児によるストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。また、25年度から未熟児訪問指導が県から権限移譲されるため、本事業の重要性がさらに大切になる。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (9)こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業)		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	給食食材放射能検査事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	保育所等が提供する給食の更なる安心・安全の確保を図るため、国が出荷制限指示の対象としている地域などを中心に、給食用食材の放射能検査を市独自として委託し、市民に結果を公表することで、保護者の給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境を整備する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	3	児童福祉施設費
細目	1	本庁児童福祉施設費					
根拠条例等	東京電力原子事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律、食品衛生法						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	保育所等が提供する給食食材の放射能検査委託料 (単価×回数×月数) 10,800円×4回×12月=518,400円 検査食材費 18,000円×4回=72,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	保護者の給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境を提供できた。				使用料		
					国費		
					県費	518	
					市債		
					その他		
					一般財源	73	
					H26予算額	A	591
					H25当初予算額	B	560
H25現計予算額		560					
増減額	A-B	31					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			560				
従事職員数【人工】			0.05				
人件費(人工×8,000千円)			400				
総事業費:人件費含む(千円)			960				
活動指標名	食材検査回数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績		単位	48	単位		回	
単位当たりコスト(円)			20,000				
事業の目標	食品中の放射性物質の検査体制については、国の新たな基準に従い、国が出荷制限指示の対象となっている都県では、検査計画を立て、自主検査や生産全品検査などを検査強化を図っている。しかしながら、時折、マスコミ等で報じられているように、安全基準をオーバーしている食材が市場に出回ることあり、保護者等の食材に対する不安は完全に払拭されていない。このようなことから、当分の間、市独自で給食用食材の放射能検査を市独自として委託し、市民に結果を公表することで、子どもたちの給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境づくりを行う。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)給食食材放射能検査事業

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域子育て支援拠点事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	乳児又は、幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	3	児童福祉施設費
細目	3	本庁子育て支援センター費					
根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項 ◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H26年度事業の概要	毎月テーマを決めて、室内でふれあい遊び・リズム遊び・製作活動・絵本の読み聞かせ等をおこない楽しく交流する。親子教室(0歳児・1歳児・2歳児)を行う。1年間登録制・子育てに必要な情報や知識を教えてもらい、相談に応じてもらう。(保健師、歯科衛生士、栄養士、お話し会、民生児童委員等)親子教室の出身者や子育てを終えた地域の方々を募り、子育てボランティアとして関わってもらい、一緒に遊んだり子育ての経験談を話してもらい、育児のヒントにしてもらう。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室(0, 1, 2歳児)では、8クラス140組の登録者。毎週水曜日に各地区を回る出前保育(つどいのひろば)では、1ヶ月平均約33名。すこやかルーム開放では、1ヶ月平均200名の利用者があった。サークルも5組と毎月活発に活動している。 ・各幼稚園の未就園児交流会にも参加し、スムーズに入園ができるように支援できる。また、療育教室とも連携を取り、保護者からのニーズに対応しやすい環境が生まれている。 ・子育て講演会の開催、子育て相談も気軽にできるようになり、子ども支援課、保健センターや教育総務課とも連携会議を通してつながりやすくなった。 ・子育てボランティア(現在登録者17名)の充実が図れた。 ・地域とのつながりができた。(菟田野中学校、主任児童委員、民生委員、食推など) 				使用料		
					国費		
					県費	3,710	
					市債		
					その他	149	
					一般財源	93	
					H26予算額	A	3,952
					H25当初予算額	B	3,875
H25現計予算額		3,875					
増減額	A-B	77					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	3,969	3,875					
従事職員数【人工】	5.00	5.00					
人件費(人工×8,000千円)	40,000	40,000					
総事業費:人件費含む(千円)	43,969	43,875					
活動指標名	支援センター事業参加者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	7,800	単位	人	8,000		単位	人
単位当たりコスト(円)	5,637			5,484			
事業の目標	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (11)子育て支援センター「すくすく」の充実	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業 市加算分				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もってひとり親家庭等の親子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。 助成対象者は、宇陀市内に在住し、健康保険に加入しているひとり親家庭等の父または母と18歳未満(18歳に達する日以後最初の3月31日に達するまで)の児童や父母のない18歳未満の児童。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	6	ひとり親家庭等福祉費
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費					
根拠条例等	宇陀市ひとり親家庭等医療費助成条例、同条例施行規則						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	保険診療自己負担金の1カ月の医療機関毎の合計額から一部負担金(500円、但し月14日以上入院の場合は、1,000円)をそれぞれ控除した金額を助成。 県の助成金補助基準では、扶養義務者の所得制限があるが、宇陀市では所得制限額を超える所得がある場合でも市単事業として助成。 (市単事業分の予算) ・自己負担集計手数料・・・@44円×80件×12カ月=42,240円 ・医療費助成費・・・3,050円×85人×12カ月=3,111,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	■ひとり親家庭等医療費助成状況 (市単事業分)				使用料		
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	国費		
	医療資格者証所持者(年度末)	111人	97人	90人	県費		
	助成件数	973件	913件	900件	市債		
	支出額	自己負担集計手数料	44,000円	38,016円	39,600円	その他	51
		医療助成費(高額立替払分含)	1,971,821円	2,449,322円	2,867,000円	一般財源	3,103
		計	2,015,821円	2,487,338円	2,906,600円	H26予算額 A	3,154
					H25当初予算額 B	3,137	
					H25現計予算額	3,137	
					増減額 A-B	17	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		2,488	2,907		福祉医療費助成制度高額療養費(諸収入) 51千円		
従事職員数【人工】		0.19	0.19				
人件費(人工×8,000千円)		1,520	1,520				
総事業費:人件費含む(千円)		4,008	4,427				
活動指標名		受給者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		97	単位	人	90	単位	人
単位当たりコスト(円)		41,320		49,189			
事業の目標	一般的に経済的基盤の脆弱なひとり親家庭等に対して、病気になったときに安心して病院にかかれるよう医療費を助成することで、治療の遅れから病気の重症化を防ぐことを目標とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業										
所管課	123	健康増進課 (健康福祉部)	宇陀市一般会計予算										
事業の目的	65歳以上の高齢者及び60~65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。			区分	No.	区分名							
	款	4	衛生費										
	項	1	保健衛生費										
	目	2	予防費										
	細目	1	本庁予防費										
根拠条例等	予防接種法 宇陀市インフルエンザ予防接種実施要綱												
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進												
H26年度事業の概要	医療機関において各自予約の上、接種を受ける。 対象者:接種当日満65歳以上の方 60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方 接種回数:1回 自己負担金1000円以外の費用を補助する。 26年度予算額 需用費 65千円 委託料 21,275千円 負担金 175千円			財源の内訳 (単位:千円)									
	事業の成果	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">高齢者インフルエンザ接種者数</th> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>6,131</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>6,001</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>5,990</td> </tr> </table>			高齢者インフルエンザ接種者数		22年度	6,131	23年度	6,001	24年度	5,990	分担金
高齢者インフルエンザ接種者数													
22年度		6,131											
23年度		6,001											
24年度		5,990											
使用料													
国費													
県費													
市債													
その他	300												
一般財源	21,215												
H26予算額	A	21,515											
H25当初予算額	B	23,318											
H25現計予算額		23,318											
増減額	A-B	▲ 1,803											
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況										
決算額又は決算見込額(千円)	21,533	23,318											
従事職員数【人工】	0.30	1.09											
人件費(人工×8,000千円)	2,400	8,720											
総事業費:人件費含む(千円)	23,933	32,038											
活動指標名	接種者数												
活動指標の算式	—												
活動指標の実績	5,990	単位				人	5,990	単位	人				
単位当たりコスト (円)	3,995					5,349							
事業の目標	高齢者のインフルエンザの罹患あるいは重症化を予防する。			備考									
				<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (3)高齢者インフルエンザ予防接種事業									

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	風しん予防接種補助事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	全国的に24年度の風しん感染報告数は過去5年間で最も多い数となり、25年度もその状況は続いている。風しんは妊娠初期の女性が罹患すると、出生児が先天性風しん症候群の発症がおこる可能性がある。妊娠を希望する女性と妊婦の配偶者に対し、予防接種費用を助成し、接種勧奨に努めます。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	2	予防費
細目	1	本庁予防費					
根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	【実施見込概算費用】 接種見込者数 100人 × 6,000円 = 600,000円 【対象者】 接種時点で、市内在住の19歳以上の方で ①妊娠を希望している女性 ②妊娠している女性の夫 ただし、妊娠中の女性、MRまたは単独の風疹ワクチンを2回接種している人、風疹にかかったことのある人は助成の対象外				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 接種費用を助成することで接種率を高め、妊婦の感染を予防し、ひいては先天性風しん症候群を予防する。				分担金		
				使用料			
				国費			
				県費	300		
				市債			
				その他			
				一般財源	300		
				H26予算額	A 600		
				H25 当初予算額	B		
				H25 現計予算額	1,500		
				増減額	A-B 600		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,500				
従事職員数【人工】			0.01				
人件費(人工×8,000千円)			80				
総事業費:人件費含む(千円)			1,580				
活動指標名		接種者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績			100	単位 人			
単位当たりコスト(円)			15,800				
事業の目標	妊婦の風しん感染の予防					備考	
				<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	高齢者の肺炎を予防し、健康増進と医療費軽減につなげる。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	2	予防費
細目	3	ウエルネスシティ推進費					
根拠条例等	予防接種法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	65歳以上の方を対象に成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成をする。 接種対象者 * 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳以上 * 60歳以上で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人 接種回数: 生涯にわたり1回 自己負担2000円以外の費用を補助する				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	肺炎は日本人死因の4位を占め、65歳以上の主な死因となっている。特に肺炎球菌は高齢者肺炎の原因で最も多く、重症化しやすい。 肺炎球菌ワクチン接種費用の助成をし、接種勧奨することで肺炎の予防、健康寿命の延伸につなげる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	180	
					一般財源	8,637	
					H26予算額	A 8,817	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 8,817						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			自己負担金 180千円				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位		単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	高齢者の肺炎を予防し健康寿命を延伸する。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウエルネスシティ推進”事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診推進事業																							
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)																							
事業の目的 がんは、死亡原因の第1位であるが、早期発見、早期治療により死亡者数を減少させるため、無料クーポンを発行し、がん検診の受診者数を向上させる。 大腸がんは、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、無料で検診を実施。(23年度よりの特別事業) 受診率の低い子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)は5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。(21年度からの特別事業)					宇陀市一般会計予算																					
					区分	No.	区分名																			
					款	4	衛生費																			
					項	1	保健衛生費																			
					目	4	健康づくり費																			
細目																										
根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進 特別予算																									
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進																									
H26年度事業の概要	大腸がんは、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、無料で検診を実施。(23年度よりの特別事業) 受診率の低い子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)は5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。 26年度より国の事業での補助対象年齢が変更となるが、従来の対象年齢に対し自己負担無料としてのがん検診推進事業を実施する。				財源の内訳 (単位:千円)																					
	子宮・乳がん検診は、21年度からの本事業により受診者が増加。 大腸がん検診は、23年度から事業開始。				分担金																					
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>無料クーポン</th> <th>子宮がん検診(人)</th> <th>乳がん検診(人)</th> <th>大腸がん検診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21年度</td> <td>213</td> <td>398</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>197</td> <td>357</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>H23年度</td> <td>241</td> <td>346</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>174</td> <td>285</td> <td>423</td> </tr> </tbody> </table>				無料クーポン	子宮がん検診(人)	乳がん検診(人)	大腸がん検診	H21年度	213	398	...	H22年度	197	357	...	H23年度	241	346	427	H24年度	174	285	423	使用料	
	無料クーポン	子宮がん検診(人)	乳がん検診(人)	大腸がん検診																						
	H21年度	213	398	...																						
	H22年度	197	357	...																						
	H23年度	241	346	427																						
	H24年度	174	285	423																						
					国費	3,077																				
				県費																						
				市債																						
				その他																						
				一般財源	3,361																					
				H26予算額 A	6,438																					
				H25当初予算額 B	10,672																					
				H25現計予算額	10,672																					
				増減額 A-B	▲ 4,234																					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																					
決算額又は決算見込額(千円)		4,307	10,672																							
従事職員数【人工】		0.80	0.80																							
人件費(人工×8,000千円)		6,400	6,400																							
総事業費:人件費含む(千円)		10,707	17,072																							
活動指標名		本事業による受診者数																								
活動指標の算式		-																								
活動指標の実績		882	単位	人			880	単位	人																	
単位当たりコスト(円)		12,139		19,400																						
事業の目標	市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (2)がん予防対策等の推進																		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診事業					
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)					
事業の目的	宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物(がん)・2位心疾患3位肺炎となっており、がんの早期発見のために検診は最も重要である。市民にがん検診の機会を提供し、疾病の予防を目的として健康診査を実施する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	4	健康づくり費	
細目								
根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱							
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進							
H26年度事業の概要	大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する集団検診(セット検診)と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。 子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する集団検診(女性のがん検診)と、市立病院、済生会中和病院、グランソール奈良で受診する個別検診の体制で実施する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年、十数名のがん確定診断者があり、早期治療につなげている。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	2,990		
					一般財源	20,296		
					H26予算額	A 23,286		
					H25当初予算額	B 23,679		
					H25現計予算額	23,679		
					増減額	A-B ▲ 393		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		19,629	23,679					
従事職員数【人工】		1.50	1.10					
人件費(人工×8,000千円)		12,000	8,800					
総事業費:人件費含む(千円)		31,629	32,479					
活動指標名		受診者数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		9,206	単位	人		9,200	単位	人
単位当たりコスト(円)		3,436				3,530		
事業の目標	市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (2)がん予防対策等の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	妊婦健康診査・母子手帳交付事業																										
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)																										
事業の目的 妊娠経過と出生後の児の成長、予防接種歴を記録する母子健康手帳を妊娠が分った時点で交付する。交付時の保健指導は、妊娠・出産に対する不安や悩みの把握・相談とともに今後の関わりや支援のきっかけの機会となる。 妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診を徹底するため費用を助成する。					宇陀市一般会計予算																								
					区分	No.	区分名																						
					款	4	衛生費																						
					項	1	保健衛生費																						
					目	4	健康づくり費																						
細目																													
根拠条例等	母子保健法																												
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち																												
H26年度事業の概要	母子手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴り(38枚分の補助券、1枚2,500円)を発行し、健診時に健診費用として医療機関へ支払う。 母子手帳・妊婦健康診査補助券は、健康増進課・室生福祉保健交流センターで交付。 低所得者を対象に妊娠判定料全額補助事業を実施。(市町村民税非課税世帯<生活保護世帯を含む>)				財源の内訳 (単位:千円)																								
	妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">妊婦健康診査・母子手帳交付</th> </tr> <tr> <th></th> <th>母子手帳交付数</th> <th>妊婦健康診査</th> <th>妊娠判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>180件</td> <td>196件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>198件</td> <td>173件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>137件</td> <td>124件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">県外含まず</td> </tr> </tbody> </table>				妊婦健康診査・母子手帳交付					母子手帳交付数	妊婦健康診査	妊娠判定	平成22年度	180件	196件		平成23年度	198件	173件		平成24年度	137件	124件	5件			県外含まず		分担金 使用料 国費 県費 28 市債 その他 一般財源 17,081 H26予算額 A 17,109 H25当初予算額 B 18,477 H25現計予算額 18,477 増減額 A-B ▲ 1,368
妊婦健康診査・母子手帳交付																													
	母子手帳交付数	妊婦健康診査	妊娠判定																										
平成22年度	180件	196件																											
平成23年度	198件	173件																											
平成24年度	137件	124件	5件																										
		県外含まず																											
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																								
決算額又は決算見込額(千円)		12,449	18,477		県費補助金 妊娠判定受診料補助事業補助金 28千円																								
従事職員数【人工】		0.30	0.40																										
人件費(人工×8,000千円)		2,400	3,200																										
総事業費:人件費含む(千円)		14,849	21,677																										
活動指標名		妊婦健康診査補助券交付数																											
活動指標の算式		-																											
活動指標の実績		124	単位	人	130	単位	人																						
単位当たりコスト(円)		119,750		166,746																									
事業の目標	妊娠中の健康診査費用を助成し、少子化対策につなげる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実																							

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	母子保健事業 乳幼児健康診査					
所管課	123	健康増進課 (健康福祉部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	児の発育状況や育児の状況を把握することにより、必要な助言・指導を行い、児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に健康診査を実施する。 発達の節目の時期に合わせて下記の健康診査を実施する。 乳児健康診査(4~5か月児、10~11か月児) 1歳6か月児健康診査 2歳児歯科健康診査 3歳児健康診査		区分	No.	区分名			
			款	4	衛生費			
			項	1	保健衛生費			
			目	4	健康づくり費			
			細目					
根拠条例等	母子保健法							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち							
H26年度事業の概要	大宇陀・菟田野地区の健康診査は大宇陀保健センター、 榛原・室生地区の健康診査は室生福祉保健交流センターで実施		財源の内訳 (単位:千円)					
			分担金					
			使用料					
			国費					
			県費					
事業の成果	児の発育状況や育児の状況を把握し、児の健康の保持・増進を図るとともに、虐待問題の早期発見のためにも重要な機会となる。そのため、健診未受診者の全数把握に努めている。 健診の結果、経過観察等必要な児については、カンガルー教室(1歳6か月児健診などの経過観察児を対象とした親子教室)や発達相談などにつなげ発育、発達支援をする。また必要な児には関係機関(子育て支援センター、福祉課、教育委員会、幼稚園、保育所など)と連携した育児支援を行っている。		市債					
			その他					
			一般財源	1,731				
			H26予算額	A	1,731			
			H25当初予算額	B	1,877			
H25現計予算額		1,877						
増減額	A-B	▲ 146						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		2,082	1,877					
従事職員数【人工】		1.10	1.80					
人件費(人工×8,000千円)		8,800	14,400					
総事業費:人件費含む(千円)		10,882	16,277					
活動指標名		受診者数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		807	単位	人		800	単位	人
単位当たりコスト(円)		13,485				20,346		
事業の目標	未受診者をなくし、100%把握をめざす。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不妊治療助成事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する為の施策として、不妊に悩む夫婦の負担の軽減を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費					
根拠条例等	宇陀市一般不妊治療費助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち						
H26年度事業の概要	一般不妊治療に要する経費について、1年間で5万円を上限として助成する。 50,000円×10組=500,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進に繋げる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	500	
					H26予算額	A	500
					H25当初予算額	B	750
H25現計予算額		750					
増減額	A-B	▲ 250					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			750				
従事職員数【人工】			0.03				
人件費(人工×8,000千円)			240				
総事業費:人件費含む(千円)			990				
活動指標名		助成金受給者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		単位	人	15			単位
単位当たりコスト(円)			66,000				
事業の目標	事業の新設を市民はもちろん他市町村からの問い合わせも含め、定住や転入に繋げるよう周知し、事業の利用を促進する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (3)不妊治療費助成事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	母子保健事業 育児支援教室					
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	妊婦から乳児の保護者を対象に、講義・実習・交流により、知識の普及や保護者同士の交流のきっかけづくりをする。 ＊たまごクラス(母親教室): 妊娠、出産、育児についての学習、妊婦・産婦同士の仲間づくり、不安や悩みの相談の場、また配偶者の育児参加の場を提供し楽しみながら子育てができるようにする。 ＊ひよこクラス(育児教室): 育児についての学習、保護者同士の仲間づくり、不安や悩みの相談の場を提供する。				区分	No.	区分名	
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	4	健康づくり費	
					細目	6	保健センター母子健康づくり費	
根拠条例等	母子保健法							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち							
H26年度事業の概要	ひよこクラス(育児教室) 4クール(1クール3回) たまごクラス(母親教室) 3クール(1クール3回)				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	親同士が交流することで、子育ての情報交換や育児の相談ができ、悩みや不安の軽減につながる。また、子どもへの関わり方を学ぶ機会にもなる。 ひよこクラス 参加実人数 47人 参加延べ人数 121人 たまごクラス 33人 58人				分担金		
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源		211						
H26予算額		A 211						
H25当初予算額		B 215						
H25現計予算額	215							
増減額	A-B ▲ 4							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	148	215						
従事職員数【人工】	0.30	0.30						
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400						
総事業費:人件費含む(千円)	2,548	2,615						
活動指標名	事業参加者数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	80 単位 人	80 単位 人						
単位当たりコスト(円)	31,850	32,688						
事業の目標	さらに参加者を増やし、子育ての仲間づくりのきっかけとする。子育てのストレスや負担感が軽減され、ゆとりを持って子育てができるよう、交流の場とする。					備考		
						<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	健康ポイント事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	検診受診やウェルネス事業に参加することを啓発し、そのことで自身の健康増進につなげる。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	82	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等	健康増進法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	健康づくりに関する事業に参加することで健康ポイントをためて応募すると、抽選で健康グッズなどの記念品がもらえる。例えば各種検診を受けること、その他、ラジオ体操やウェルネス関連事業に参加することでポイントを加算し、ポイントがたまれば応募ができる。 報償費 健康記念品 1,242千円 需用費 ちらし印刷、参加賞 1,059千円 役務費 広報折込料 25千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の成果	事業参加することをすすめ、ウェルネスシティ宇陀市構想を推進する。 健康づくりに対する関心を高める。				国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,326	
					H26予算額	A 2,326	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額							
増減額	A-B 2,326						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位					
単位当たりコスト(円)		単位					
事業の目標	市民が健康への意識を高め、健康な市民が増加することで、宇陀市の医療費の抑制を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	健康づくり事業						
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	ウェルネスシティ構想にもとづく推進事業を実施することで、健康増進、健康寿命の延伸につなげる。				区分	No.	区分名		
					款	4	衛生費		
					項	1	保健衛生費		
					目	4	健康づくり費		
細目	82	ウェルネスシティ推進費							
根拠条例等	健康増進法								
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進								
H26年度事業の概要	病気の予防と健康づくり分野のウェルネス事業				財源の内訳 (単位:千円)				
	ウェルネスウォーキングマップ作成	216千円			分担金				
	生活習慣病予防(健診普及啓発・講演会)	502千円			使用料				
	食生活(調理実習)	158千円			国費				
	歯科衛生(啓発ポスター)	52千円			県費				
事業の成果	ウェルネスシティ構想を推進する。				市債				
					その他				
					一般財源	928			
					H26予算額	A	928		
					H25当初予算額	B			
					H25現計予算額				
増減額	A-B	928							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	/								
従事職員数【人工】									
人件費(人工×8,000千円)									
総事業費:人件費含む(千円)									
活動指標名									
活動指標の算式									
活動指標の実績		単位		単位					
単位当たりコスト(円)									
事業の目標	食生活、精神、歯、生活習慣病の観点から市民の健康を守る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	おはようラジオ体操				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	ラジオ体操は子どもから高齢者まで、ほとんどの人が知っていて、音楽があれば指導者がいなくてもいつでもどこで実施できる。ラジオ体操の効果を広め、自治会、まちづくり協議会を中心に事業として啓発する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	82	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等	健康増進法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	地域でのラジオ体操普及を目的に、ラジオ購入交付金(5,000円)を申請があった自治会等に交付する。のぼり、CD、出席カードなどを配布する。 需用費 ラジオ体操CD・のぼり・スタンプ ラジオ体操スタンプ用紙&健康ポイントカード、ちらし印刷 1,297千円 負担金、補助金 ラジオ体操事業実施補助金 1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	ラジオ体操の効果は * 身体活動を高めること。 * 朝早くから起きることで生活リズムが整えられ、活動的になる * 同じ場所、同じ体操をすることでソーシャルキャピタルが高まる。 * 地域の人達と顔を合わせることで見守りにつながる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,297	
					H26予算額	A 2,297	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 2,297						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	地域全体の健康意識向上と地域のつながりを高める。		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業					
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する者に対して補助金を交付する。				区分	No.	区分名	
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	8	環境衛生費	
細目	1	本庁環境衛生費						
根拠条例等	宇陀市太陽光発電システム設置補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第1章 第1節 自然環境の保全と活用							
H26年度事業の概要	住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金交付要綱に基づき、国の補助金の交付を受けて、自ら居住する住宅に発電システムを導入した者に交付する。 補助対象者に事業費の10%(上限5万円)相当のウッピー商品券を交付する。ただし、1住宅に1回とする。 平成26年度は、50件の範囲で実施する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	太陽光発電システムは、自然エネルギーである太陽光だけを使う環境に配慮したシステムである。 太陽光発電を取り入れる家庭が増えると、火力発電の負担を軽減できるため、CO ₂ の排出量の抑制に貢献できることとなる。 事業の成果として、補助金を交付し太陽光発電システムを設置した家庭に対して、アンケート調査を実施。 交付件数 平成24年度 37件 3,700,000円 ※24年度については、1件10万円の補助である。 アンケート回収量 上半期補助分 20件中19件回収 回収率 95%				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,500		
					H26予算額	A	2,500	
					H25当初予算額	B	4,000	
H25現計予算額		4,000						
増減額	A-B	▲ 1,500						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		3,700	2,500					
従事職員数【人工】		0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		5,300	4,100					
活動指標名		設置件数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		37	単位	件		50	単位	件
単位当たりコスト(円)		143,243	82,000					
事業の目標	地球温暖化の原因とされるCO ₂ の削減やエネルギー問題への意識高揚を図り、環境に配慮した持続的な発展のため普及を進める。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (4)住宅用太陽光発電システム設置補助金	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ごみの減量・資源化促進事業(生ごみ処理機)				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	環境衛生事業について、循環型社会の構築として、一般家庭の生ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」「コンポスト」の普及を促進していく。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費					
根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第1章 第3節 循環型社会の構築						
H26年度事業の概要	家庭用生ごみ処理機(600千円) コンポスト.....18基 108千円 EMボカシ.....3基 12千円 生ごみ処理機.....16基 480千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 平成18年度から平成24年度までに184件が設置されている。 榛原地区...92件 室生地区...57件 菟田野地区...10件 大宇陀地区...25件 平成18年度.....28件 平成19年度.....25件 平成20年度.....40件 平成21年度.....35件 平成22年度.....16件 平成23年度.....18件 平成24年度.....22件				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					600		
H26予算額	A	600					
H25当初予算額	B	800					
H25現計予算額	800						
増減額	A-B	▲ 200					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	243	350					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	1,843	1,950					
活動指標名	件数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	22	単位	件				30
単位当たりコスト(円)	83,773		65,000				
事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。				備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (6)循環型環境社会の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ごみの減量・資源化促進事業(集団資源回収助成)					
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収助成制度を実施する。				区分	No.	区分名	
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	8	環境衛生費	
細目	1	本庁環境衛生費						
根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱							
総合計画	基本計画 第1章 第3節 循環型社会の構築							
H26年度事業の概要	宇陀市内の登録団体は、38団体であり集団資源回収の報告は、年2回(9月と2月)報告を受け、1kg当たり3円の助成金を交付している。 平成26年度は、回収量633,069kgを見込んでいる。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成22年度 664,385kg 助成金……1,993,155円 平成23年度 611,560kg 助成金……1,834,680円 平成24年度 583,090kg 助成金……1,749,270円 ※1kgあたり3円の助成				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,900		
					H26予算額	A 1,900		
					H25当初予算額	B 1,860		
H25現計予算額	1,860							
増減額	A-B 40							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	1,750	1,860						
従事職員数【人工】	0.20	0.20						
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600						
総事業費:人件費含む(千円)	3,350	3,460						
活動指標名	回収量							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	583,090	単位 kg					620,000	単位 kg
単位当たりコスト(円)	6						6	
事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (6)循環型環境社会の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適で潤いのある生活環境を公共用水域の水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	3	合併処理浄化槽整備事業費
細目	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費					
根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第1章 第2節 生活環境の整備						
H26年度事業の概要	下水道処理区域の見直し及び他事業の関連により、合併処理浄化槽整備区域が拡大され平成24年度より整備を進めています。 5人槽・・・10基 332,000円×10基＝3,320,000円 7人槽・・・32基 414,000円×32基＝13,248,000円 7人槽・・・5基(市費)414,000円×5基＝2,070,000円 配管分・・・2基(市費)586,000円×2基＝1,172,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度の設置数は41基で、整備率は35%になる。又、平成26年度の設置数については、5人槽が10基、7人槽が37基合計47基を予定する。 平成24年度実績 5人槽・・・6基 補助金額・・・1,992千円 7人槽・・・34基 補助金額・・・14,076千円 10人槽・・・1基 補助金額・・・548千円				使用料		
					国費	5,522	
					県費	5,522	
					市債		
					その他		
					一般財源	8,825	
					H26予算額	A 19,869	
					H25当初予算額	B 28,421	
H25現計予算額	28,421						
増減額	A-B ▲ 8,552						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	16,650	19,710					
従事職員数【人工】	0.60	0.60					
人件費(人工×8,000千円)	4,800	4,800					
総事業費:人件費含む(千円)	21,450	24,510					
活動指標名	設置件数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	41	単位	件	50		単位	件
単位当たりコスト(円)	523,171			490,200			
事業の目標	生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成25年度からの5カ年計画により整備率を43%を目標とする。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (5)合併処理浄化槽設置整備事業補助金

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市農林産物品評会						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	農林産物の生産性及び品質の向上により、農林産物生産者の営農意欲の増進を図る。 また、幅広く消費者に宇陀の農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓発することで、地域農林業の発展を図る。				区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	1	農業費		
					目	3	農業振興費		
細目	1	農業振興費							
根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	農林産物の生産者より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施する。また、出品された農林産物については、審査を行い、優秀な農林産物の生産者に対し表彰を行う。 事業費内訳 報償費 133,880円(参加賞、副賞等) 需用費 80,000円(消耗品等) 役務費 32,400円(郵送料) 2,200円(筆耕量)				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金		使用料		
事業の成果	平成24年度は、農林産物生産者より125点の出品があり、奈良県知事賞など21名が受賞(市役所にて開催)。市内農林家が生産した農林産物の啓発(新鮮・安全・安心)を図ることができた。 平成25年度においては、11月8日・9日に、うだアニマルパークにて開催。				国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	250			
					H26予算額	A 250			
					H25当初予算額	B 187			
H25現計予算額	187								
増減額	A-B 63								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		59	187						
従事職員数【人工】		0.01	0.01						
人件費(人工×8,000千円)		80	80						
総事業費:人件費含む(千円)		139	267						
活動指標名		出品数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		125	単位	点			131	単位	点
単位当たりコスト(円)		1,112	2,038						
事業の目標		農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の営農意欲と生産性及び品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRを行う。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (3)農林産物品評会の開催		
							備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	基金として積み立てた軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を財源に、宇陀市における農地の機能を適正に発揮し、農業の振興を図るため、適切な土壌を育てるよう暗渠排水施設に係る経費の一部を補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市暗渠排水設置事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	暗渠排水事業を行う農家の方を対象に補助金を交付。 1m当たり300円以内 1,500m × 300円 = 450,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農地の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。 H24年度実績 1,844.5m H25年度暫定 1,064.0m				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		450
					一般財源		
					H26予算額	A	450
					H25当初予算額	B	300
H25現計予算額		300					
増減額	A-B	150					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		390	300		宇陀市農業支援基金繰入金 450千円		
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)		800	800				
総事業費:人件費含む(千円)		1,190	1,100				
活動指標名	申請延長						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	1,844	単位	m	1,000	単位	m	
単位当たりコスト(円)	645		1,100				
事業の目標	農地の排水を整備し、農産物の生産を拡大する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)宇陀市農業支援基金事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市新設雨除けハウス設置事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	基金として積み立てた軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を財源に、宇陀市の特産としているホウレンソウなど、高原野菜の生産振興を促すため、雨除けハウス設置に係る経費の一部を補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市雨除けハウス設置事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	野菜等を生産するために雨除けハウスを設置する農業者に補助金を交付する。 ハウス施設設置事業補助金 1㎡当り500円以内 2,000㎡×500円=1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	冷涼な夏季の気象条件に適した軟弱野菜の生産は、降雨による立ち枯れ病などの発生が多く、安定した周年栽培が不可能であった。 この降雨を防ぐことにより軟弱野菜の需要の高まる夏季でも安定した生産出荷が図られ、大和高原野菜の生産拡大とブランド化に繋がる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,000	
					一般財源		
					H26予算額	A	1,000
					H25当初予算額	B	2,000
H25現計予算額		2,000					
増減額	A-B	▲ 1,000					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		493	2,000	宇陀市農業支援基金繰入金 1,000千円			
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)		800	800				
総事業費:人件費含む(千円)		1,293	2,800				
活動指標名		申請面積					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		1,844	単位	㎡	4,000	単位	㎡
単位当たりコスト(円)		701			700		
事業の目標	適切な土壌水分管理による農作業効率の向上と災害の防止				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)宇陀市農業支援基金事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ助成事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	基金として積み立てた軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を財源に、宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	小規模な自然災害等による農地・農業用施設維持管理に伴う重機の借上げ経費に対して補助金を交付する。 重機借上げ最大2日間35,000円以内補助 (借上料70,000円×50%)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		1,450
					H26予算額	A	1,450
					H25当初予算額	B	600
H25現計予算額		600					
増減額	A-B	850					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		935	600		宇陀市農業支援基金繰入金 1,450千円		
従事職員数【人工】		0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)		2,535	2,200				
活動指標名		申請件数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		26	単位	件	20	単位	件
単位当たりコスト(円)		97,500		110,000			
事業の目標	農地・農業用施設の機能の適正を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)宇陀市農業支援基金事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う経費の一部を補助する				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	有害鳥獣の侵入防止のための柵、ネット、電気柵など、1m当たり300円以内を補助する。 10,000m × 300円 = 3,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成21年度 53件 13km 平成22年度 58件 17km 平成23年度 80件 23km 平成24年度 38件 10km 平成25年度 51件 12.5km(暫定)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
					H26予算額	A 3,000	
					H25当初予算額	B 3,000	
H25現計予算額	3,000						
増減額	A-B						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	2,889	3,000					
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	5,289	5,400					
活動指標名	申請延長						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	10,000 単位 m	12,500 単位 m					
単位当たりコスト(円)	529	432					
事業の目標	農産物への有害鳥獣による被害を防止する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業								
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等に基づき、市内196地区における平成26年度産米の生産調整目標面積を定め、米政策改善推進対策を推進する。				区分	No.	区分名				
					款	5	農林水産業費				
					項	1	農業費				
					目	3	農業振興費				
細目	2	数量調整円滑化推進事業費									
根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱										
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化										
H26年度事業の概要	米政策改革推進対策を推進するため、配分ルールの設定、助言指導、計画書の作成、確認業務など行う。 賃金 295,000円(臨時職員賃金) 需用費 331,000円(消耗品、燃料代) 役務費 54,000円(通信運搬費)				財源の内訳 (単位:千円)						
					分担金		使用料		国費		県費
事業の成果	平成24年度(反収495kg換算) 目標生産量 3,780.838t 実績 3,669.336t 目標作付面積 763.806ha 実績 741.280ha 平成25年度(反収494kg換算) 目標生産量 3,739.629t 実績 3,625.871t 目標作付面積 757.010ha 実績 733.982ha				一般財源	1	H26予算額	A	680		
					H25当初予算額	B	680				
					H25現計予算額	680					
					増減額	A-B					
					事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	756	679	数量調整円滑化推進事業補助金 679千円								
従事職員数【人工】	0.30	0.30									
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400									
総事業費:人件費含む(千円)	3,156	3,079									
活動指標名	農家戸数										
活動指標の算式	—										
活動指標の実績	3,239	単位 戸	3,238	単位 戸							
単位当たりコスト(円)	974		951								
事業の目標	宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施することにより水田農業の構造改革を促進する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域直接支払事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	中山間地域等は流域の上流部に位置し、当該地域等の農業・農村が有する水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能により、下流域の都市住民等の生命・財産・くらしが守られている。しかし、中山間地域等では、高齢化と平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利な地域があり、担い手の減少、耕作放棄地の増加等により、多面的機能が低下し、大きな経済的損失が懸念されている。従って、中山間地域等において適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正する支援を行い、多面的機能の確保を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	4	中山間地域直接支払事業費					
根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	実施期間 平成22年度～平成26年度 交付対象集落 41集落 交付対象面積 2,510,762㎡ 事業費 43,288,000円、事務費 317,000円 計43,605,000円 需用費 245,000円(消耗品費) 役務費 51,000円(通信運搬費) 使用料 21,000円(コピー使用料) 補助金 43,288,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	実施地域の農家が協力し合い、耕作放棄地の発生防止等による多面的機能の維持・向上等を図る。				分担金	
使用料							
国費							
県費						32,419	
市債							
その他							
一般財源						11,186	
H26予算額						A 43,605	
H25当初予算額	B 43,470						
H25現計予算額	43,470						
増減額	A-B 135						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	43,481	43,470	中山間地域等直接支払交付金 32,419千円				
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	51,481	51,470					
活動指標名	集落数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	41	単位	集落	41		単位	集落
単位当たりコスト(円)	1,255,634			1,255,366			
事業の目標	耕作放棄地の発生の防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営体育成支援事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的 昨今の日本の農業は農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化の進展、農地面積の減少等を受け厳しい状況におかれている。このような中で、農業生産の持続性を確保し、意欲ある多様な経営体の育成・確保を図っていくことが必要である。このため、それぞれの経営体が直面している課題に応じた、きめ細やかな支援の実施を通じ意欲ある多様な経営体を育成・支援する					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
細目	7	経営体育成交付金						
根拠条例等	宇陀市経営体育成支援交付金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	融資主体型補助 4経営体 事業費 30,000千円(内助成金30%以内 9,000千円) 内訳(計画) A農家 パイプハウス15棟 10,074,788円 農機 2,348,125円 B農家 パイプハウス17棟 12,218,888円 C農家 パイプハウス 5棟 3,140,590円 D農家 農機 2,217,600円				財源の内訳 (単位:千円)			
	新規就農者、認定農業者、集落営農等適切な人・農地プラン作成地区で経営改善を目指す中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及び、ハウスの整備等で、就農の定着及び農業経営規模拡大により、地域の農業を活性化させる。				分担金 使用料 国費 県費 9,000 市債 その他 一般財源 H26予算額 A 9,000 H25当初予算額 B 6,000 H25現計予算額 6,000 増減額 A-B 3,000			
事業の成果								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 経営体育成支援交付金 9,000千円			
決算額又は決算見込額(千円)		14,632	1,124					
従事職員数【人工】		0.10	0.05					
人件費(人工×8,000千円)		800	400					
総事業費:人件費含む(千円)		15,432	1,524					
活動指標名		経営体育成支援対象者						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		4	単位	人		0	単位	人
単位当たりコスト(円)		3,858,000		0				
事業の目標	適切な人・農地プラン作成地区で経営改善を目指す中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及び、ハウスの整備等で、就農の定着及び農業経営規模拡大により、より一層地域の農業を活性化させ、農業経営の安定を目指す。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・水保全管理支払交付金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路、農道、ため池等施設の長寿命化を図るための取組に対して支援する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	9	農地・水保全管理支払交付金事業					
根拠条例等	農地・水保全管理支払交付金実施要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	・共同活動 22活動組織 交付金11,166,000円(内市負担金2,792,000円) (国50%、県25%、市25%) ・向上活動 13活動組織 交付金8,268,000円(内市負担金2,067,000円) (国50%、県25%、市25%) 合計 交付金19,434,000円(内市負担金4,859,000円) ・事務費 202,000円(内市負担金2,000円) 需用費 161,000円(消耗品費) 役務費 41,000円(通信運搬費)				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	・共同活動 地域共同による草刈りや土砂上げ等農地、水路等の基礎的な保全管理及び、花植え等良好な景観形成を保つための活動により農村環境改善が見込まれる。 ・向上活動 農業用排水路等の補修・更新など施設の長寿命化のための活動により農業基盤が整備された。				分担金 使用料 国費 県費 200 市債 その他 一般財源 4,861 H26予算額 A 5,061 H25当初予算額 B 4,923 H25現計予算額 5,056 増減額 A-B 138	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,573	4,859		農地・水・保全管理支払推進交付金 200千円			
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	12,573	12,859					
活動指標名	活動組織数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	22	単位	活動組織	22	単位	活動組織	
単位当たりコスト(円)	571,500		584,500				
事業の目標	共同活動による農地、水路等の基礎的な保全管理及び農村環境の保全など地域ぐるみによる協力体制により、良好な農村の景観形成を築くことができる。また、向上活動により農業用排水路等の補修・更新等施設の長寿命化など農業施設の基盤整備を行うことができる。この事業は平成28年度までの対策として継続する。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地集積協力金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	土地利用型農業からの経営転換、相続、高齢によるリタイア等を契機として(遊休農地を保有している者を除く)農地利用集積円滑化団体等を通じて、人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる経営体に農地が集積されることが確実に見込まれる場合や、中心となる経営体の農地を連坦化させようとする場合等に、市がそれに協力する者に対して農地集積協力金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	10	農地集積協力金事業					
根拠条例等	宇陀市農地集積協力金交付事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	経営転換協力金 300,000円/0.5ha以下×3戸=900,000円 分散錯圃解消協力金 5,000円/0.1ha×2ha=100,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	貸し手に係る諸条件が厳しく、実態として進みにくい状況にある。 平成26年度以降にあっては条件緩和等の措置がされる見込みで、人・農地プランの推進と共に進めていく。				分担金		
使用料							
国費							
県費					1,000		
市債							
その他							
一般財源							
H26予算額					A	1,000	
H25当初予算額	B	1,000					
H25現計予算額		1,000					
増減額	A-B	0					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 農地集積協力金 1,000千円		
決算額又は決算見込額(千円)			0	0			
従事職員数【人工】			0.10	0.10			
人件費(人工×8,000千円)			800	800			
総事業費:人件費含む(千円)			800	800			
活動指標名	農地面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	0	単位	ha	0		単位	ha
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	中山間地域で10a~20a規模の経営体がおおむねを占める構造を目指す。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境保全型農業直接支援対策事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業分野においても、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献することが重要となっており、平成23年度より、環境保全の高い営農活動に取り組み、販売を目的として生産を行う農業者等に対して直接支払う。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	90	環境保全型農業直接支援対策事業					
根拠条例等	宇陀市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	対象者：エコファーマー認定者・有機農業に取り組む農業者 対象事業：化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組と炭素を多く含んだたい肥による水質保全に資する施用、有機農業等 有機農業については国：4,000円/10a、県：2,000円/10a、市：2,000円/10a 事業取組農地A=2,000a 国から農家へ直接支援 1,500a×4,000円/10a=600,000円 市から農家へ直接支援 1,500a×4,000円/10a=600,000円(内県費1/2) 推進事務費(通信運搬費) 30,000円(100%県費)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農業生産活動による、環境負荷発生リスクの軽減 平成24年度実績 取組人数 12人 取組面積 1,370a 支援交付金 312,400円(国直払) 312,400円(県156,200円、市156,200円) 平成25年度実績見込み 取組人数 10人 取組面積 939a 支援交付金 374,880円(国直払) 374,880円(県187,440円、市187,440円)				使用料		
					国費		
					県費	330	
					市債		
					その他		
					一般財源	300	
					H26予算額	A 630	
					H25当初予算額	B 830	
H25現計予算額	830						
増減額	A-B ▲ 200						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	348	830					
従事職員数【人工】	0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)	400	400					
総事業費:人件費含む(千円)	748	1,230					
活動指標名	認定者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	12	単位	人	10		単位	人
単位当たりコスト(円)	62,333		123,000				
事業の目標	農業生産活動による環境負荷発生リスクの軽減					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	新規就農者確保事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年の新規就農者を大幅に増加させる必要がある。新規就農するにあたっては、所得の確保が課題となっていることから、青年新規就農者に対する給付金の給付を行うことにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な増大を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
		細目	91	新規就農者確保事業			
根拠条例等	宇陀市青年就農給付金事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	条件: 45歳未満で独立・自営就農した人、就農後の総所得が250万円未満の者が対象となる。 新規就農者 10人×1,500,000円 = 15,000,000円 (3名新規予定+7名継続)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度 6人×1,500,000円(6名新規) 平成25年度 7人×1,500,000円(1名新規+6名継続)(暫定)				使用料		
					国費		
					県費	15,000	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A 15,000	
					H25当初予算額	B 12,000	
H25現計予算額	12,000						
増減額	A-B 3,000						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	9,000	10,500					
従事職員数【人工】	0.50	0.50					
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000					
総事業費:人件費含む(千円)	13,000	14,500					
活動指標名	新規就農者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	6	単位	人	7		単位	人
単位当たりコスト(円)	2,166,667			2,071,429			
事業の目標	青年の就農意欲の喚起と就農定着					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ため池防災対策等推進事業(施設点検)				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	東日本大震災に於いてため池等の農業水利施設が被災し、人命が失われるなどの被害が発生したため、早急に施設の現状を確認しハザードマップ作成等の災害予防が必要である。 このため農業用施設(ため池)の一斉点検により、施設整備に先行して短期間・低コストで実現可能な減災対策を緊急的に実施し、施設の安全性とともに地域の安全性の向上を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	97	震災対策農業水利施設整備事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	震災対策農業水利施設整備事業によるため池防災対策点検委託。 ため池台帳に記載されている受益面積2ha未満且つ貯水量1,000m ³ 以上のため池の一斉点検。 ・市内33箇所 × 70,000円 = 2,310,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	ため池施設の現状を把握し、施設の安全性とともに地域の安全度を高める。 H25年度 受益面22ha以上のため池 84箇所点検				使用料		
					国費		
					県費	2,310	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A 2,310	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額	5,040						
増減額	A-B 2,310						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		5,040		震災対策農業水利施設整備事業補助金 2,310千円			
従事職員数【人工】		0.25					
人件費(人工×8,000千円)		2,000					
総事業費:人件費含む(千円)		7,040					
活動指標名	ため池数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績		単位	84	単位	箇所		
単位当たりコスト(円)		83,810					
事業の目標	ため池施設の現状を把握し、施設の改修計画やハザードマップ作成等を行う。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (8)ため池防災対策等推進事業(施設点検)		
					※H25現計予算額はH24からの繰越分		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	経営所得安定対策において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務について行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動を支援する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	98	経営所得安定対策直接支払推進事業					
根拠条例等	奈良県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	経営所得安定対策の実施に必要な推進活動の内、市が行う現場における推進活動や要件確認等に必要となる経費を国から助成。 賃金 874,000円(臨時雇用賃金) 報償費 1,007,000円(現地確認手当) 需用費 3,447,000円 役務費 300,000円 使用料等 200,000円 計 5,828,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	H24年度直接支払交付金実績 面積 交付金 米 41,226,000円 野菜 2158.80a 3,525,000円 花き・花木 279.30a 488,000円 その他 139.40a 214,000円 合計 45,453,000円				使用料		
					国費		
					県費	5,827	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H26予算額	A 5,828	
					H25当初予算額	B 5,888	
					H25現計予算額	5,888	
					増減額	A-B ▲ 60	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		2,097	2,081		経営所得安定対策直接支払推進事業補助金 5,827千円		
従事職員数【人工】		0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)		3,697	3,681				
活動指標名		事業参加農家戸数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		2,407	単位 戸	2,407	単位 戸		
単位当たりコスト(円)		1,536	1,529				
事業の目標	経営所得安定対策の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続きを支援し、近畿農政局奈良地域センター等へ情報を提供する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水田活用経営所得安定対策交付金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	生産調整水田の利用に適した土地利用型作物として、宇陀市特産の大豆・小豆の生産奨励を行い、経営所得の安定化と生産拡大による産地化、ブランド化を推し進める。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	98	経営所得安定対策 直接支払推進事業					
根拠条例等	宇陀市水田活用振興作物助成交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	経営所得安定対策直接支払推進事業に併せ、大豆・小豆を栽培する方に、10a当たり5千円以内の生産奨励金を交付する。 450反×5,000円/10a=2,250,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成25年度事業対象となる生産面積(暫定) 小豆 200a 大豆 1,500a (内、黒大豆1,000ha)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,250	
					H26予算額	A 2,250	
					H25当初予算額	B 2,250	
H25現計予算額	2,250						
増減額	A-B						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			850				
従事職員数【人工】			0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800				
総事業費:人件費含む(千円)			1,650				
活動指標名		作付け出荷面積					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績			1,700	単位 a			
単位当たりコスト(円)			971				
事業の目標	良質大豆・小豆の生産振興と経営所得の向上を図る。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (5)水田活用経営所得安定対策交付金		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地籍調査事業				
所管課	145	地籍調査課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市の民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資すると共に、併せて地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	5	地籍調査費
細目	1	本庁地籍調査費					
根拠条例等	国土調査法第6条の4(事業計画の実施等)						
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築						
H26年度事業の概要	平成26年度 地籍調査事業実施概要 ・榛原檜牧 第3期地区 (面積:64万㎡、筆数:473筆) 地籍図原図作成・面積測定・一筆地調査成果の閲覧 ・榛原檜牧 第4期地区 (面積:72万㎡、筆数:604筆) 地籍基準点測量・現地一筆地調査・一筆地測量 【榛原檜牧地区 地籍調査全体計画】 平成23年度 第1期地区 71万㎡ 平成24年度 第2期地区 97万㎡ 平成25年度 第3期地区 64万㎡ 平成26年度 第4期地区 72万㎡ 調査面積 合計 304万㎡ 地籍基準点測量・現地一筆地調査・一筆地測量				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手、現在調査完了56地区、調査中11地区、計67地区、総着手面積は、5,267万㎡、進捗率(着手率)は約22.6%。 調査完了地区では、この事業を実施したことにより、土地の保全が成され、下記の効果が得られる。 ①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物の管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進				分担金	
使用料							
国費							
県費			22,500				
市債							
その他							
一般財源			7,500				
H26予算額	A	30,000					
H25当初予算額	B	19,830					
H25現計予算額		19,830					
増減額	A-B	10,170					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	16,130	13,100	地籍調査事業費負担金 22,500千円				
従事職員数【人工】	1.55	1.50					
人件費(人工×8,000千円)	12,400	12,000					
総事業費:人件費含む(千円)	28,530	25,100					
活動指標名	実施面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	97.0	単位	万㎡	64.0	単位	万㎡	
単位当たりコスト(円)	294,124		392,188				
事業の目標	地籍調査未実施地区の早期完遂				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (4)地籍調査の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	農林道台帳整備委託事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農道および林道台帳を整備し、建設課所有の市道路台帳管理システム及び道路台帳と同様のデータベースにする。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費					
根拠条例等	道路法第28条						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	農道及び林道土地等調査事業 ・保有資料の整理 ・概略基本図作成 ・法務局調査(公図・地積測量図転写・連続図作成・登記調査等) ・現況素図作成(保有図重ね図・建設課道路現況図・税務課(参考)地番図・法務局調査結果割込図等) (概算事業費調査整備) 32路線調査費 30,296千円を26年度より年次的に実施する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農道及び林道を建設課所有の市道路台帳管理システムと同じ基本データにする事で、適正な維持管理を行うことができ、安全性、利便性の向上につながる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
					H26予算額	A 3,000	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額							
増減額	A-B 3,000						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	建設課所有の市道路台帳管理システム及び道路台帳と同様のデータベースにすることで、適正な維持管理を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道整備事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営事業で実施する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	6	農業土木費	
細目	1	農業土木費						
根拠条例等	土地改良法第91条第6項							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	県事業費 26,800,000円 工事内容 用地測量及び用地補償 負担割合 国50%、県35%、市15% 負担金 26,800,000円 × 15% = 4,020,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	中山間地域における農林業の生産力向上、利便性の向上を図り、地域住民生活の安定を図る。				分担金		
使用料								
国費								
県費								
市債						4,000		
その他								
一般財源						20		
H26予算額						A 4,020		
H25当初予算額	B 9,000							
H25現計予算額	9,000							
増減額	A-B ▲ 4,980							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		4,161	323					
従事職員数【人工】		0.02	0.02					
人件費(人工×8,000千円)		160	160					
総事業費:人件費含む(千円)		4,321	483					
活動指標名		受益面積						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		203 単位 ha	203 単位 ha					
単位当たりコスト(円)		21,286	2,379					
事業の目標	農業経営の合理化、農業生産力の向上や生活環境の利便性向上。					備考		
					<予算ポイント> 【重点事業】 5. 市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路改良と補修の実施			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	インターネットによる特産品等発信・販売事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	インターネットを利用し、宇陀市の特産品等を全国発信し、宇陀市のPRと産業の活性化を図る。		区分	No.	区分名			
			款	5	農林水産業費			
			項	1	農業費			
			目	8	産業企画費			
細目	1	産業企画費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化							
H26年度事業の概要	「JAPAN satisfaction guaranteed」に加盟し、商品の販売を行う。 ○月委託料 150,000円×12ヶ月+消費税8%(12,000円×12ヶ月)=1,944千円 ○旅費 92千円 ○事務費104千円 ○通信費 20千円		財源の内訳 (単位:千円)					
			分担金					
事業の成果	宇陀市の特産品等の全国発信と産業の活性化を図る。また、宇陀市HPへと誘導することにより、宇陀市のPRを図る。		使用料					
			国費					
			県費					
			市債					
			その他					
			一般財源	2,160				
			H26予算額	A	2,160			
			H25当初予算額	B				
H25現計予算額		2,681						
増減額	A-B	2,160						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		2,681	※H25予算は「まちづくり支援費」					
従事職員数【人工】		1.00						
人件費(人工×8,000千円)		8,000						
総事業費:人件費含む(千円)		10,681						
活動指標名	出店商品数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績	単位	20 単位 品						
単位当たりコスト(円)		534,050						
事業の目標	宇陀市の特産品等の販売を促進するとともに、宇陀市の魅力を発信する。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (4)インターネット(宇陀sg)による特産品等の発信・通販		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	特産品等認定・開発補助事業						
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算						
事業の目的	市内で生産された農林水産物等について認定基準を定め、特産品・名産品として認定することにより、消費者の信頼を高め普及と需要の拡大を図ることで地域産業の活性化に資する。 また、市内で生産された農林水産物を活用した、魅力ある特産品等の新規開発事業に補助金を交付する。		区分	No.	区分名				
			款	5	農林水産業費				
			項	1	農業費				
			目	8	産業企画費				
細目	1	産業企画費							
根拠条例等	「宇陀市特産品等認定に関する要綱」・「宇陀市特産品等開発補助事業に関する要綱」								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	【認定】 特産品・名産品について認定基準を定め、これに適合する商品に認定マークを表示することにより付加価値の向上に資する。 需用費 4千円		財源の内訳 (単位:千円)						
	【開発】 魅力ある商品の新規開発に係る必要最小限の費用を助成することで新たな地域ブランドの構築を図る。 特産品等開発事業補助金 1,000千円		分担金						
事業の成果	HP等を用いて情報発信を行い、地域産業の活性化を図る。 ・特産品 6品(毛皮革製品、吉野本葛、ダリア、磨き丸太、宇陀金ごぼう、大和茶) ・名産品 47品(和菓子、味噌、酒、醤油、加工品、工芸品など) ・開発 宇陀せんべい、石窯商品		使用料						
			国費						
			県費						
			市債						
			その他						
			一般財源	1,004					
			H26予算額	A	1,004				
			H25当初予算額	B	505				
H25現計予算額		505							
増減額	A-B	499							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	500	505	※H25予算は「まちづくり支援費」						
従事職員数【人工】	0.20	0.20							
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600							
総事業費:人件費含む(千円)	2,100	2,105							
活動指標名	認定数								
活動指標の算式	—								
活動指標の実績	38.0	5				単位	件	単位	件
単位当たりコスト(円)	55,263	421,000							
事業の目標	認定商品の販路の拡大と付加価値の向上を目指す。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (9)宇陀市特産品等認定・開発補助事業			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市産木材利用促進事業						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	木材需要の大部分を占める住宅工事を活性化させることにより、市内で生産された木材の利用を促進し、市内の木材・住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	2	林業費		
					目	2	林業振興費		
細目	1	林業振興費							
根拠条例等	宇陀市産木材利用促進事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	宇陀市産木材購入費の1/2かつ上限100,000円を、市ウッピース商品券により助成する。 新築による構造材の補助 2件×100,000円 増改築による内装材の補助 13件×100,000円 合計 15件 1,500,000円				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	市内の豊富な森林資源を住宅等へ利用することを促進し、また、市商品券による地域経済の活性化を図った。 平成24年度 7件 649千円 平成25年度10件 1,000千円				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	1,500			
					H26予算額	A 1,500			
					H25当初予算額	B 1,000			
H25現計予算額	1,000								
増減額	A-B 500								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		649	1,000						
従事職員数【人工】		0.03	0.03						
人件費(人工×8,000千円)		240	240						
総事業費:人件費含む(千円)		889	1,240						
活動指標名		申請件数							
活動指標の算式		-							
活動指標の実績		7	単位	件			10	単位	件
単位当たりコスト(円)		127,000	124,000						
事業の目標	平成26年度申請件数目標 構造材 2件 内装材 13件 合計 15件						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (3)宇陀市産木材利用促進助成制度	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	有害鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合(新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3名以上でわなが管理できる団体)に対し補助金を交付する。また、シカ・イノシシが群れで発生している地域に適した囲いワナ装置を導入し、捕獲効率の向上を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	取組事業1地区40,000円以内(継続は、20,000円) 新規 5地区×40,000円=200,000円 継続 3地区×20,000円=60,000円 小計 260,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成22年度 5地区 平成23年度 8地区(新規5地区、継続3地区) 平成24年度 6地区(新規3地区、継続3地区) 平成25年度暫定 6地区(新規3地区、継続3地区)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	260	
					一般財源		
					H26予算額	A 260	
H25当初予算額	B 260						
H25現計予算額	260						
増減額	A-B						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	200	260	地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立金)260千円				
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	1,800	1,860					
活動指標名	地区数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	6	単位 地区	6	単位 地区			
単位当たりコスト(円)	300,000		310,000				
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	大量捕獲装置導入取組事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	シカ・イノシシが群れで発生している地域であって、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合(新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3名以上で捕獲装置が管理できる団体)に対し、囲いわな式の捕獲装置購入補助金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	事業要望を取り、被害が多くシカ・イノシシが集団で行動している地域に対して大量捕獲装置一式(囲み柵、通信引き金、監視カメラ、電源ソーラ等)の購入経費を補助する。 970,000円/一式×3地区=2,910,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	夜間など野生獣の活動時間帯において、監視カメラにより囲いわなへの侵入状況を把握し、遠隔操作により出入口を閉鎖し捕獲するもので、安全かつ捕獲効率が非常に高いため、地域での適正頭数への調整が早く農林産物等への被害が抑えられる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,910	
					一般財源		
					H26予算額	A 2,910	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額							
増減額	A-B 2,910						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除個体処分手業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	鳥獣害による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会及び農家組合(共同取組)に対して補助金を交付する。捕獲したイノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会や農家組合等の団体(集落取組事業)に対し、イノシシ・シカ等の大型獣を衛生的に処理するための焼却等の処分費を補助し、有害鳥獣処分に係る労力の低減による捕獲意欲の向上と衛生的処分の推進を図る。 [焼却]室生ペット霊園との単価契約に基づく。 60kg以上:1頭30,000円 60kg未満:1頭25,000円 [埋葬] シカ・イノシシ3,000円以内、サル2,000円以内				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	集落取組において、捕獲後の処理に係る経費負担が軽減されることにより、捕獲実績の向上が図られ、更には有害獣を放置処理することなく、衛生的な処理により環境が保全される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	700	
					一般財源		
					H26予算額	A 700	
H25当初予算額	B 2,500						
H25現計予算額	2,500						
増減額	A-B ▲ 1,800						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		350	地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立金)700千円				
従事職員数【人工】		0.01					
人件費(人工×8,000千円)		80					
総事業費:人件費含む(千円)		430					
活動指標名	処理頭数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	単位	71 単位 頭					
単位当たりコスト(円)		6,056					
事業の目標	集落取組で捕獲したイノシシ・シカ等の大型獣の処分を衛生的に実施する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除ライセンス取得補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	有害鳥獣による被害の拡大を防ぐため、増えつつある野生獣の個体数を適正に管理する必要があるため、地域ぐるみで効果的かつ迅速な捕獲体制の構築に必要な捕獲資格技術を持つ狩猟者を増やす目的で、狩猟免許取得に必要な経費の一部を補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除ライセンス取得事業助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	狩猟免許新規取得のための経費の一部助成 10,000円/人×20人=200,000円 ※狩猟免許取得経費 17,000円(3年更新、手数料3,500円)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	新規取得者増加により地域での捕獲体制が整いつつある。 H21年度:11人 H22年度:7人 H23年度:27人 H24年度:19人				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	200	
					一般財源		
					H26予算額	A	200
					H25当初予算額	B	110
H25現計予算額	110						
増減額	A-B	90					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立金)200千円		
決算額又は決算見込額(千円)			190	110			
従事職員数【人工】			0.02	0.02			
人件費(人工×8,000千円)			160	160			
総事業費:人件費含む(千円)			350	270			
活動指標名			ライセンス取得者				
活動指標の算式			—				
活動指標の実績			19	11			
単位当たりコスト(円)			18,421	24,545			
事業の目標			地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減 違法捕獲の防止				
備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進				

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	有害鳥獣防除ライセンス継続補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	有害鳥獣による被害の拡大を防ぐため、増えつつある野生獣の個体数を適正に管理する必要があるため、地域ぐるみで効果的かつ迅速な捕獲体制の構築に必要な捕獲資格技術を持つ狩猟者を増やす対策を講じているが、ライセンス取得のみでは本人の個人用地のみの捕獲制限を受け、地域ぐるみでの活動や地域を越えての活動を促すうえで狩猟者登録を受ける必要がある。そのため、狩猟者の負担となっている高額な登録経費の一部を補助し、登録率の向上から地域ぐるみの捕獲体制整備を図る				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	ライセンス保持者及び新規ライセンス取得者の狩猟者登録に要する経費の一部を補助する。 補助額10,000円以内/人×100人=1,000,000円 ※狩猟者登録費用 わな=20,600円 銃 =25,900円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,000	
					一般財源		
					H26予算額	A 1,000	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 1,000						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		/					
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績				単位		単位	
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減。登録には保険料も含まれていることから、安心して業務に取り組める。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	鳥獣被害対策実施隊員報酬						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	捕獲等を適正かつ効果的に行うことができる者を任命し、捕獲による鳥獣被害の防止を図る。				区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	2	林業費		
					目	2	林業振興費		
細目	1	林業振興費							
根拠条例等	宇陀市鳥獣被害対策実施隊員に関する要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	宇陀市の特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例に基づき、駆除隊員へ報酬金を支払う。 40,000円×16名=640,000円 (大宇陀・菟田野・榛原・室生の4地域から各4名づつ)				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	実施隊委員任命により、捕獲頭数の増加に繋がった。 H21年度: イノシシ 103頭、シカ 123頭 H22年度: イノシシ 272頭、シカ 136頭 H23年度: イノシシ 59頭、シカ 78頭 サル 2頭 H24年度: イノシシ 92頭、シカ 68頭 サル 2頭				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	640			
					H26予算額	A 640			
					H25当初予算額	B 640			
H25現計予算額	640								
増減額	A-B								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	600	640							
従事職員数【人工】	0.20	0.20							
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600							
総事業費:人件費含む(千円)	2,200	2,240							
活動指標名	隊員数								
活動指標の算式	—								
活動指標の実績	16 単位 人	16 単位 人							
単位当たりコスト(円)	137,500	140,000							
事業の目標	効果的な捕獲により、鳥獣被害の軽減を図る。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣駆除事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害を防止するため、専門の技術・知識を備える猟友会へ駆除依頼を行い、機動力のある効果的な有害鳥獣の駆除を行う。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣駆除事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	捕獲報償金 イノシシ 1頭 3,000円 158頭×3,000円= 474,000円 オスシカ1頭 5,000円 120頭×5,000円= 600,000円 メスシカ1頭 8,000円 216頭×8,000円=1,728,000円 サル 1頭 20,000円 10頭×20,000円= 200,000円 ニホンジカ集中捕獲事業 銃砲所持者10名前後を同一地区に投入。 4回×100,000円/回=400,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	有害鳥獣を捕獲したことにより、農林産物等への被害軽減が図られた。 H21年度捕獲頭数: イノシシ158頭 シカ165頭 サル1頭 H22年度捕獲頭数: イノシシ415頭 シカ185頭 H23年度捕獲頭数: イノシシ101頭 シカ165頭 サル2頭 H24年度捕獲頭数: イノシシ192頭 シカ368頭 サル5頭 H25年度捕獲頭数: イノシシ140頭 シカ416頭 (暫定)				分担金 使用料 国費 県費 1,542 市債 その他 一般財源 1,860 H26予算額 A 3,402 H25当初予算額 B 2,279 H25現計予算額 2,279 増減額 A-B 1,123		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 森林植生保全事業補助金 1,242千円 ニホンジカ集中捕獲事業補助金 300千円			
決算額又は決算見込額(千円)		3,270	2,279					
従事職員数【人工】		0.02	0.03					
人件費(人工×8,000千円)		160	240					
総事業費:人件費含む(千円)		3,430	2,519					
活動指標名		捕獲頭数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		565	単位	頭		556	単位	頭
単位当たりコスト(円)		6,071		4,531				
事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	猟友会補助金						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	宇陀市猟友会へ依頼している有害鳥獣駆除の実施などにより、会員相互の連携強化や狩猟事故防止或いは猟銃の操作技術の向上等の研修や情報提供など、組織活動に対し運営補助を行う。				区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	2	林業費		
					目	2	林業振興費		
細目	1	林業振興費							
根拠条例等	宇陀市猟友会補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	銃・わなの操作技術向上研修 野生鳥獣の保護活動 狩猟技術の向上研修 鳥獣被害対策実施隊との連携 有害鳥獣駆除事業の実施 猟友会補助金 66,000円				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	有害鳥獣駆除事業の実施 鳥獣被害対策実施隊との連携 宇陀名張地域鳥獣防止広域対策協議会との連携等				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	66			
					H26予算額	A 66			
					H25当初予算額	B 66			
H25現計予算額	66								
増減額	A-B								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		66	66						
従事職員数【人工】		0.02	0.02						
人件費(人工×8,000千円)		160	160						
総事業費:人件費含む(千円)		226	226						
活動指標名		会員数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		86	単位	人			83	単位	人
単位当たりコスト(円)		2,628		2,723					
事業の目標	猟友会、地域農林家、行政との連携のとれた安全で効率的な有害鳥獣の駆除						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	ソフト事業(補助率:1/2 事業費440万円) ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 モンキードッグ育成 追払いグッズの配布 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等 ハード事業(補助率:定額 事業費1億円) 防除柵設置				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	鳥獣被害防止施設設置 40地域 135km アライグマ捕獲 28頭 ニホンザル位置情報発信 不要果樹伐採 研修会開催				分担金		
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源						1,100		
H26予算額	A	1,100						
H25当初予算額	B	1,100						
H25現計予算額		1,100						
増減額	A-B							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,100	1,100					
従事職員数【人工】		0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		2,700	2,700					
活動指標名		ニホンザル捕獲頭数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		5	単位	頭		5	単位	頭
単位当たりコスト(円)		540,000	540,000					
事業の目標	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐等促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取り組み(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業 例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。 市では市内森林組合が森林所有者の代理となって交付申請を行っている。 【H26年事業】 全体事業費 28,550千円 うち国庫 14,275千円 所有者負担 14,275千円 事業概要 間伐 A=80ha 作業道 L=3,000m				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	県補助事業「木材生産林育成整備事業」では対象とならない森林整備についても施業対象となるため、小規模山林所有者も比較的活用しやすい事業である。この事業により市内山林の森林整備を行うことにより、森林の持つ多面的機能の維持増進を図ることが出来る。 ※県補助事業では、間伐面積5ha以上、1haあたり10m ³ 以上の木材搬出がないと補助対象とならない。また、60年生以上の高齢級林も対象外である。当該事業では上記要件を満たさなくても事業実施可能。ただし、補助率は、県事業7割に対し5割となる。				使用料		
					国費	14,275	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H26予算額	A 14,276	
					H25当初予算額	B 7,661	
H25現計予算額	15,103						
増減額	A-B 6,615						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		2,321	15,103				
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		5,521	18,303				
活動指標名		間伐面積					
活動指標の算式							
活動指標の実績		15 単位 ha	93 単位 ha				
単位当たりコスト(円)		368,067	196,806				
事業の目標	地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市里山の広葉樹林再生事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	拡大造林政策により里山にまで植林されたスギ・ヒノキが利用されずに荒廃し、人家周辺の里山林の整備が放置されている。国、県補助の対象とならない、里山の人工林を整備する市民活動について、一般財源により補助を行い樹種転換を推進する。				区分 No.	区分名		
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	宇陀市里山の広葉樹林再生事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H26年度事業の概要	人家から50m程度までのスギ・ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、その費用を補助する。 新規 1事業地当たり 500,000円×2箇所=1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	土砂崩壊災害の防止、環境保全林・景観保全林や水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている機能回復やスギ・ヒノキ花粉飛散量の低減をも目指す。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,000		
					H26予算額	A 1,000		
					H25当初予算額	B 200		
H25現計予算額	200							
増減額	A-B 800							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		0	200					
従事職員数【人工】		0.01	0.01					
人件費(人工×8,000千円)		80	80					
総事業費:人件費含む(千円)		80	280					
活動指標名		申請件数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		0	単位	件		1	単位	件
単位当たりコスト(円)				280,000				
事業の目標	スギ・ヒノキの人工林について、20aの広葉樹林へと樹種転換を誘導する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (6)土砂災害予防のため、山林の樹種の転換の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	適時適切な森林施業が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林経営計画の作成を通じた森林整備の推進を図り、森林の保護・保全活動への支援を行う。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	4	森林整備地域活動支援事業費					
根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	森林経営計画の認定を受けた森林所有者等と市との間で協定を締結し、対象となる森林面積(積算基礎森林面積1haあたり4,000円を交付。 積算基礎森林面積 288ha 対象となる行為 森林の保護・保全活動(作業道修繕等) 288ha × 4,000円 = 1,152千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	森林経営計画の認定を受けた森林経営に意欲のある者に対し、交付金を有効活用し、林業振興と併せて森林の持つ多面的機能が十分発揮されるよう支援を行う。				使用料		
					国費		
					県費	864	
					市債		
					その他		
					一般財源	288	
					H26予算額	A	1,152
					H25当初予算額	B	15,841
H25現計予算額		15,841					
増減額	A-B	▲ 14,689					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		276	0		森林整備地域活動支援交付金 864千円		
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		3,476	3,200				
活動指標名	積算基礎森林面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	6,499	単位	ha	0	単位	ha	
単位当たりコスト(円)	535		0				
事業の目標	適時適切な施業実施を確保するため、その実施に不可欠な作業道整備等を支援する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。森林所有者の事業費負担なし(100%県費)。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費					
根拠条例等	奈良県森林環境税条例						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	事業概要	間伐面積 A=180ha			財源の内訳 (単位:千円)		
	事業対象	①人家周辺の山地災害防止に資する区域 ②集落水源の集水区域 ③近畿・東海自然歩道沿いのバッファゾーン ④室生赤目青山国定公園区域 ⑤市が環境保全に重要と位置づける区域			分担金		
事業の成果	事業内容	上記区域内で10年以上放置された人工林を対象に40%以上の間伐を実施			使用料		
	平成18年度～24年度の7ヶ年で838.31haの間伐を実施				国費		
	間伐実施面積				県費	71,424	
	H18年度 A= 93.40ha				市債		
	H19年度 A=138.76ha				その他		
	H20年度 A=148.93ha				一般財源	100	
	H21年度 A=101.06ha				H26予算額 A	71,524	
	H22年度 A= 90.53ha				H25当初予算額 B	82,727	
	H23年度 A=108.02ha				H25現計予算額	82,727	
	H24年度 A=157.61ha				増減額 A-B	▲ 11,203	
H25年度 A=177.10ha							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		53,409	65,083		森林環境税施業放置林整備事業委託金 71,424千円		
従事職員数【人工】		0.60	0.60				
人件費(人工×8,000千円)		4,800	4,800				
総事業費:人件費含む(千円)		58,209	69,883				
活動指標名		間伐実施面積					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		157	単位	ha	177	単位	ha
単位当たりコスト(円)		370,758	394,819				
事業の目標	奈良県森林環境税により実施している事業もH23年度から2期目(H23～27)に入り、今後も積極的に施業放置林の間伐を実施することで、市内山林の荒廃を阻止し森林の持つ健全な環境保全機能を回復させる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ふるさと復興協力隊事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	紀伊半島大水害からの復興活動等、地域協力活動を行う「ふるさと復興協力隊」を奈良県からの派遣を受ける。 業務としては、宇陀市内の一次産業である農林業の被害を最小限に抑えるよう猟友会や実施隊との連携を保ち各自治会等へ有害鳥獣被害防止対策の指導・啓発を行う。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	12	ふるさと復興協力隊事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	鳥獣被害防止計画に基づき市猟友会の協力を募り実施隊と連携していく。 旅費 110,000円(研修会参加旅費) 需用費 208,000円(消耗品、燃料費、車検整備) 役務費 64,000円(狩猟者登録手数料等) 使用料 1,090,000円(家賃借上料等) 負担金 20,000円(研修会参加負担) 公課費 9,000円(自動車重量税等) ※給与は県より直接支給				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	・ふるさと復興協力隊の活動に必要な住居及び資機材等の整備を行い、宇陀市内で居住 ・各集落での鳥獣防護指導、捕獲体制の整備、啓発 ・猟友会及び鳥獣被害対策実施隊との連携による捕獲指導 ・有害鳥獣防護柵設置の指導及び管理指導など				使用料		
					国費		
					県費	1,500	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H26予算額	A 1,501	
H25当初予算額	B 1,501						
H25現計予算額	1,501						
増減額	A-B						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	1,500	1,501					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	3,100	3,101					
活動指標名	捕獲頭数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	14 単位 頭	14 単位 頭					
単位当たりコスト(円)	221,429	221,500					
事業の目標	各集落での鳥獣防護指導、捕獲体制の整備、啓発を行う。また、猟友会及び鳥獣被害対策実施隊との連携による捕獲指導、さらに各集落において有害鳥獣防護柵設置の指導及び管理指導を行う。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県産材生産促進事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的 森林の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材(間伐材)の搬出及び利用促進を図るため、県が定める宇陀市内の森林組合を含む認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	86	県産材生産促進事業						
根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要 搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う認定事業体に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。 1m ³ あたり 県=2,000円 市=1,500円を補助 事業量 V=1,950m ³ 内訳 宇陀市森林組合 1,500m ³ 室生村森林組合 150m ³ 森田林業 300m ³					財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果 未利用となっている間伐材の搬出及び利用促進を図ることができた。 H22年度 V= 980m ³ H23年度 V=2,351m ³ H24年度 V=2,351m ³ H25年度 V=1,700m ³ ※宇陀市森林組合≒1,500m ³ 室生村森林組合≒200m ³					使用料			
					国費			
					県費	3,900		
					市債			
					その他			
					一般財源		2,925	
					H26予算額	A 6,825		
					H25当初予算額	B 5,950		
					H25現計予算額	5,950		
					増減額	A-B 875		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 県産材生産促進事業補助金 3,900千円			
決算額又は決算見込額(千円)		5,453	5,950					
従事職員数【人工】		0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)		8,653	9,150					
活動指標名		間伐材材積						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		2,351	単位	m ³		1,700	単位	m ³
単位当たりコスト(円)		3,681	5,382					
事業の目標 未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図ることを目標とする。						備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ウッピー商品券発行委託事業														
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算												
事業の目的	定住促進奨励金制度、住宅リフォーム助成制度、住宅用太陽光発電システム設置補助金制度、宇陀市産木材利用促進助成制度、出産祝い金支給事業、農産物品評会受賞者記念品に対し、市内事業者にのみ有効な宇陀市内流通商品券を発行し、市内における購買活動の増進、内需振興を図る。				区分 No.	区分名											
					款	6	商工費										
					項	1	商工費										
					目	1	商工振興費										
細目	1	本庁商工振興費															
根拠条例等	宇陀市商品券発行事業実施要綱																
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化																
H26年度事業の概要	委託先:宇陀商工会 市内流通商品券発行予定数:37,590枚(18,795,000円分) 予算概要				財源の内訳 (単位:千円)												
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">ウッピー商品券 (千円)</td> </tr> <tr> <td>商品券等印刷費</td> <td>1,085</td> </tr> <tr> <td>郵送料</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,235</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,500</td> </tr> </table>				ウッピー商品券 (千円)		商品券等印刷費	1,085	郵送料	80	事務費	1,235	雑費	100	合計	2,500	分担金
ウッピー商品券 (千円)																	
商品券等印刷費	1,085																
郵送料	80																
事務費	1,235																
雑費	100																
合計	2,500																
事業の成果	【使用状況:H25年12月末】 平成24年度事業分 発行金額 11,833,500円 利用状況 73店舗 11,760,500円 平成25年度事業分 発行金額 12,781,500円 利用状況 96店舗 8,706,500円 「ウッピー商品券」の利用により、市民の市内消費が促進され、市内経済の活性化が期待できる。				使用料												
					国費												
					県費												
					市債												
					その他												
					一般財源	2,500											
					H26予算額	A 2,500											
H25当初予算額	B 2,529																
H25現計予算額	2,652																
増減額	A-B ▲ 29																
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況														
決算額又は決算見込額(千円)	3,210	2,651															
従事職員数【人工】	0.30	0.30															
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400															
総事業費:人件費含む(千円)	5,610	5,051															
活動指標名	利用率																
活動指標の算式	商品券利用金額/交付金額(H25年12月末)																
活動指標の実績	99.4	68.1	単位	%	単位	%											
単位当たりコスト(円)	56,439	74,170															
事業の目標	宇陀市内流通商品券の発行により、購買活動を増進し、市内の地域経済の活性化を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (1)「ウッピー商品券」の発行											

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	(仮称)宇陀じまん市事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	本市における特産品や自慢の産品を集め、広く内外に推奨することにより地域産業の活性化を目指すとともに、地産地消を促進させ生産者の生産意欲の向上と地域産業の担い手づくりを目指す。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	宇陀じまん市事業概要 会場設営費 1,200,000円 余興費 200,000円 広告宣伝費 800,000円 警備費 100,000円 雑費 200,000円 合計 2,500,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 宇陀市観光協会等、各種団体との協働により、特産品や新鮮野菜等を集め、市内外に広く推奨することにより、地域産業の活性化、地産地消の促進、生産意欲の向上が期待できる。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					2,500		
H26予算額	A 2,500						
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 2,500						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	地域特産物等を活用し、地域産業の活性化、地産地消の促進、生産意欲の向上を目指す。				備考		
				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2)(仮称)宇陀じまん市の開催			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中小企業資金融資保証事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市内の中小企業者を対象に、事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を、奈良県信用保証協会と金融機関の協力を得て行い、資金調達の円滑化、企業の合理化及び本市中小企業の振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	融資枠 200,000,000円 中小企業資金融資保証料補給金 保証料の70%を補填 平成25年度融資分 1,220,000円 平成26年度融資分 1,240,000円 中小企業資金融資利子補給金 融資利率の1%を補填 平成25年度融資分 1,400,000円 平成26年度融資分 1,500,000円 消耗品 30,000円 郵送料 27,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	中小企業の事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を信用保証協会が公的な保証人となり、借入れを容易にし、また市が融資保証料と利子の一部を補給することで、資金調達の円滑化、企業の合理化及び安定運営が図られる。 ○平成25年度中小企業資金融資保証料補給及び利子補給利用事業者(H25.12現在) 運転資金・・・53事業者 設備資金・・・2事業者 ○融資額 189,400,000円 ○保証料補給予定額 800,000円 ○利子補給予定額 1,200,000円				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	5,417	
					H26予算額	A 5,417	
H25当初予算額	B 3,800						
H25現計予算額	3,800						
増減額	A-B 1,617						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		2,000					
従事職員数【人工】		0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		4,400					
活動指標名	融資率						
活動指標の算式	融資額/融資枠						
活動指標の実績	単位	94.7 単位 %					
単位当たりコスト(円)		46,463					
事業の目標	自治体が運営することにより、信用保証協会の補償が付き、低金利での融資が可能となり、中小企業の運転資金・設備資金の調達の円滑化を図り、企業の合理化及び安定運営を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (8)中小企業資金融資保証事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消費生活相談窓口開設事業																																																			
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算																																																	
事業の目的	多様な消費者被害、架空請求、振り込め詐欺の多発、食品における安全、安心をゆるがす事件が多発している。こうした問題に対応するため、県と連携し、安全、安心な消費生活実現のための相談窓口の強化に取り組み、消費者行政を展開する。				区分	No.	区分名																																															
					款	6	商工費																																															
					項	1	商工費																																															
					目	1	商工振興費																																															
細目	1	本庁商工振興費																																																				
根拠条例等																																																						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現																																																					
H26年度事業の概要	相談日:毎週月曜日 相談時間:13時から16時 相談員:1名 予算概要 賃金 476,000円 印刷製本費 100,000円 合計 576,000円				財源の内訳 (単位:千円)																																																	
	多様な消費者問題に関心をもってもらうとともに、相談員による確かな消費者情報の提供を行い、安全、安心な消費者生活を図る。 相談内容別件数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">相談内容</th> <th colspan="4">件数</th> </tr> <tr> <th>H25(H25.12月末)</th> <th>H24</th> <th>H23</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>店舗販売</td> <td>22</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>訪問販売</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>通信販売</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>マルチ商法</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電話勧誘</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他無店舗</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48</td> <td>40</td> <td>29</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>				相談内容	件数				H25(H25.12月末)	H24	H23	H22	店舗販売	22	13	9	8	訪問販売	7	4	5	7	通信販売	6	13	4	1	マルチ商法	0	1	0	1	電話勧誘	2	5	1	3	その他無店舗	2	2	3	4	不明	9	2	7	4	合計	48	40	29	28	分担金
相談内容						件数																																																
					H25(H25.12月末)	H24	H23	H22																																														
店舗販売					22	13	9	8																																														
訪問販売					7	4	5	7																																														
通信販売					6	13	4	1																																														
マルチ商法					0	1	0	1																																														
電話勧誘					2	5	1	3																																														
その他無店舗					2	2	3	4																																														
不明					9	2	7	4																																														
合計	48	40	29	28																																																		
使用料																																																						
国費																																																						
県費	100																																																					
市債																																																						
その他																																																						
一般財源	476																																																					
H26予算額	A	576																																																				
H25当初予算額	B	511																																																				
H25現計予算額		511																																																				
増減額	A-B	65																																																				
事業のコスト			平成24年度(実績)		平成25年度(見込)																																																	
決算額又は決算見込額(千円)			496		511																																																	
従事職員数【人工】			0.20		0.20																																																	
人件費(人工×8,000千円)			1,600		1,600																																																	
総事業費:人件費含む(千円)			2,096		2,111																																																	
活動指標名			件数																																																			
活動指標の算式			—																																																			
活動指標の実績			40	単位	件	55	単位	件																																														
単位当たりコスト(円)			52,400		38,382																																																	
特定財源の状況			市町村消費者行政活性化事業交付金 100千円																																																			
事業の目標	安全・安心な消費生活実現のため、他機関と連携し、相談窓口の強化に取り組む。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (7)消費者生活相談窓口開設事業																																																	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原(東吉野)観光振興協議会負担金				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成24年10月に奈良県東部振興計画が策定され、観光資源の有機的連携と周遊観光ネットワークの形成のため、「大和高原(東吉野)観光振興協議会」を設置し、観光客の来訪増加と地域の活性化を目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	2	観光費
細目	1	本庁観光費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H26年度事業の概要	大和高原(東吉野)観光振興協議会加入団体 宇陀市・山添村・曾爾村・御杖村・東吉野村・奈良県協議会事業費 7,000,000円(1/2奈良県負担) 市村負担金 3,500,000円 宇陀市負担金 2,295,000円 負担金額の算出 人口割 80% 均等割 20% 事業概要 パンフレット作成・観光キャンペーン・各種イベント参加				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	奈良県東部地域の美しい自然や豊富な歴史資源などを活用し、周遊型観光地としての魅力を高めることによって、自動車での周遊観光の促進による地域の活性化や滞在時間の増加、宿泊観光客の増加が図られる。 ・大和高原産業フェアの開催 ・観光雑誌「じゃらん」挟み込みパンフレット(春号)の作成 ・観光キャンペーンへの参加 ・ワークショップの開催				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,295	
					H26予算額	A 2,295	
H25当初予算額	B 2,295						
H25現計予算額	2,295						
増減額	A-B						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		2,295					
従事職員数【人工】		0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		4,695					
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	奈良県東部地域への広域からの魅力発信で、観光客の来訪増加と地域の活性化を促進する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1)大和高原(東吉野)観光振興協議会との連携	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	団体旅行誘致促進事業助成金				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市内への団体観光客の誘致のため、市内の宿泊施設及び市内の観光施設等を利用した団体旅行を実施する者に助成金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	2	観光費
細目	1	本庁観光費					
根拠条例等	宇陀市団体旅行誘致促進事業助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H26年度事業の概要	助成対象 1団体(貸切バス1台)の構成人数が20名以上であり、市内で宿泊又は観光施設等を2箇所以上伴う団体旅行商品に助成を行う。 助成対象・・・旅行業法に基づく登録旅行者 宿泊旅行・・・貸切バス1車につき30,000円 日帰り旅行・・・貸切バス1車につき10,000円 予算概要 宿泊助成金・・・30,000円×20車=600,000円 日帰り助成金・・・10,000円×250車=2,500,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	宇陀市内で宿泊又は市内の観光名所を2箇所以上伴う貸切バスを利用した団体旅行商品に対して助成を行うことにより、宇陀市への観光誘客の促進、滞在時間の延長が図られる。				分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 3,100 H26予算額 A 3,100 H25当初予算額 B 3,100 H25現計予算額 3,100 増減額 A-B		
事業の成果	事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況	
	決算額又は決算見込額(千円)		/		1,000		
	従事職員数【人工】				0.30		
	人件費(人工×8,000千円)				2,400		
	総事業費:人件費含む(千円)				3,400		
	活動指標名		台数				
	活動指標の算式		-				
活動指標の実績		単位	41	単位	台		
単位当たりコスト(円)				82,927			
事業の目標	市内宿泊施設への団体旅行者の誘客及び室生寺等の有名観光地を訪れる団体旅行者をそのまま市外に出さずに市内観光施設を周遊させることにより、観光の活性化を促進させる。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (5)団体旅行誘致促進事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ワールドメイプルパーク指定管理委託事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	ワールドメイプルパークはカエデを中心とした公園であり、カエデの生育管理の専門技術者がいるNPO法人に指定管理し自然体験や学習、観光施設など幅広く関連させ、地域の活性化を図る。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	2	観光費
細目	1	本庁観光費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H26年度事業の概要	指定管理者・・・NPO法人宇陀カエデの郷づくり 指定管理期間・・・平成25年4月1日～平成30年3月31日 管理施設・・・宇陀市菟田野古市場135番地 ワールドメイプルパーク 管理内容・・・施設の管理及び運営、設備の維持管理 カエデ等の樹木・種子の育成管理 施設の利活用向上 指定管理料・・・3,800,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成25年4月に開園したワールドメイプルパークの施設管理運営、カエデの樹木・種子の育成管理、施設の利活用向上を、カエデの育成管理の専門技術者がいる「NPO法人宇陀カエデの郷づくり」に指定管理することで、カエデの観察、育苗などの自然体験を通じ地域への流入人口の増加が図られた。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					3,800		
H26予算額	A 3,800						
H25当初予算額	B 3,800						
H25現計予算額	3,800						
増減額	A-B						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			3,800				
従事職員数【人工】			0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800				
総事業費:人件費含む(千円)			4,600				
活動指標名		来園者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績			20,000	単位 人			
単位当たりコスト(円)			230				
事業の目標	カエデや地元産品の販売、観光施設など幅広く関連させ、地域の活性化に取り組む。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1. にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (6)ワールドメイプルパークの指定管理		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ワールドメイプルパーク・カフェ運営委託事業									
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算							
事業の目的	菟田野地域で廃校となった木造の旧宇太小学校校舎と学校敷地を活用し、日本初の世界のカエデ公園(1,200種3,000本植栽(奈良カエデの郷ひらら)が平成25年4月28日に開園した。この施設を市の一つの観光拠点として活用するため、カフェ運営や地場産品の販売などを行い、にぎわいのある空間を作るとともに、地域雇用の創出を図る。				区分	No.	区分名					
					款	6	商工費					
					項	1	商工費					
					目	2	観光費					
細目	1	本庁観光費										
根拠条例等												
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興											
H26年度事業の概要	懐かしい木造校舎でカフェの運営、地場産品や地域特産品の直売所の運営 賃金:2,100,000円 社会保険料:257,856円 需用費(光熱水費):90,000円 使用料:30,000円 合計:2,477,856円 補助対象期間:平成26年4月1日～平成26年6月30日まで				財源の内訳 (単位:千円)							
					分担金		使用料		国費		県費	2,478
事業の成果	懐かしい木造校舎をリフォームしたカフェ物販スペースを創設運営委託することにより、メイプルパークに訪れた観光客の滞在時間の延長を促し、休憩時間の創出や販売している地元産品への関心を高めるとともに、4名の雇用創出が図られた。				市債		その他					
					一般財源							
					H26予算額	A	2,478	H25当初予算額	B			
					H25現計予算額		8,082	増減額	A-B	2,478		
					事業のコスト						特定財源の状況	
					決算額又は決算見込額(千円)	平成24年度(実績)		平成25年度(見込)		緊急雇用創出事業特別交付金 2,478千円		
従事職員数【人工】			8,082									
人件費(人工×8,000千円)			0.10									
総事業費:人件費含む(千円)			800									
活動指標名			利用者数									
活動指標の算式			-									
活動指標の実績			15,000	単位	人							
単位当たりコスト(円)			592									
事業の目標	宇陀市の観光拠点である当施設への更なる誘客及び滞在に寄与増進する事業として展開していく。リピーターにおいて再度来園したくなる地元産品の販売やカフェ事業を展開し、地域活性化、雇用の創出を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1. にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (7)ワールドメイプルパーク・カフェ運営委託事業						

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ふるさと復興協力隊員配置事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	奈良県が、地域協力活動に従事する人材を南部東部地域の市町村等に配置する「ふるさと復興協力隊員(1名)」の協力を得て、観光振興事業の企画や観光ルート等の発掘、調査、インターネットを活用した情報発信等、宇陀市の魅力をPRし、観光の発展と地域活性に繋げていく。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	2	観光費
細目	3	ふるさと復興協力隊事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H26年度事業の概要	ふるさと復興協力隊員配置事業 予算概要 (千円)				財源の内訳 (単位:千円)		
	旅費	74			分担金		
	需用費	142			使用料		
	役務費	72			国費		
	使用料・手数料	1,205			県費	1,500	
	公課費	8			市債		
合計	1,501			その他			
事業の成果	ふるさと復興協力隊員の活動により、宇陀市を外部の視点からみることで、新たな企画や、情報発信をとおして新しい宇陀市の魅力をPRし観光事業の発展、宇陀市の魅力のPRにつながる。 【活動状況】 ホームページの作成(英語版・日本語版) 観光ルート調査 県外での観光PR事業 各種イベント協力				一般財源	1	
					H26予算額	A	1,501
					H25当初予算額	B	1,501
					H25現計予算額		1,501
					増減額	A-B	
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,309	1,500	ふるさと復興協力隊事業委託金 1,500千円		
従事職員数【人工】			0.10	0.10			
人件費(人工×8,000千円)			800	800			
総事業費:人件費含む(千円)			2,109	2,300			
活動指標名			/				
活動指標の算式							
活動指標の実績							
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	宇陀の豊富な歴史資源等を最大限に活用し、地域の伝統文化と融合した宇陀の魅力をPRし、観光の発展と地域活性に繋げていく。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (8)ふるさと復興協力隊員配置事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	記紀万葉推進事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成24年は「古事記」が完成して1300年、さらに平成32年は「日本書紀」が完成して1300年となり、奈良県では、これらの歴史素材を活用した施策を推進している。宇陀市においても、記紀万葉プロジェクト推進庁内会議を立ち上げ、県とも連携し、記紀万葉集に関連づけた事業を展開し、誘客を図る。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	6	記紀万葉推進事業費
細目	1	記紀万葉推進事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H26年度事業の概要	○記紀万葉観光PR事業・・・786,000円 ○ウォークイベント・・・160,000円 ○講演会・・・220,000円 ○展示会・・・638,000円 ○PRグッズ作成費・・・1,096,000円 ○施設整備費・・・1,000,000円 ○周遊バス運行費・・・700,000円 ○記紀万葉冊子作成・・・400,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市の豊富な歴史的資源を活用し、宇陀市を訪れる人びとに歴史的魅力を発信し、誘客を促進することで、市の活性化や地域経済の振興が図られる。 【平成25年事業】 記紀万葉ウォークイベント「将軍が眠る山越えを行く」 東京まほろば館展示イベント 記紀万葉パンフレットの作成「壬申の乱」 PRグッズ作成 観光案内板整備 講演会、ウォークイベント、出土品等の展示等、宇陀の魅力を市内外に広くPRを行った。				使用料		
					国費		
					県費	350	
					市債		
					その他		
					一般財源	4,650	
					H26予算額	A 5,000	
H25当初予算額	B 5,000						
H25現計予算額	5,000						
増減額	A-B						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,977	5,000					
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	12,977	13,000					
活動指標名	参加者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	1,244	単位 人	1,500	単位 人			
単位当たりコスト(円)	10,432		8,667				
事業の目標	記紀万葉にとどまらず、宇陀市の豊富な歴史資源を最大限に活用し、地域の伝統文化と融合した宇陀の魅力を、市内外に広くPRし、観光の発展と地域活性につなげていく。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2)“記紀・万葉”宇陀市プロジェクトの推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持事業 道路舗装等維持補修工事							
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市道1, 687路線、総延長約747kmのうち、特に生活と密着した道路の維持補修を行い、道路利用者の安全性、利便性の向上を図る。				区分	No.	区分名			
					款	7	土木費			
					項	2	道路橋梁費			
					目	2	道路維持費			
細目	1	道路維持費								
根拠条例等	道路法42条(道路の維持または修繕)									
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備									
H26年度事業の概要	市道を、安心して利用できるよう道路整備を行う。特に、年々老朽化している舗装補修や道路側溝、街路灯の補修等を行う。道路舗装維持補修				財源の内訳 (単位:千円)					
					分担金					
事業の成果	市民の安全なネットワークの確保				使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	40,000				
					H26予算額	A	40,000			
					H25当初予算額	B	40,000			
H25現計予算額	40,000									
増減額	A-B	▲ 500								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		41,072	40,000							
従事職員数【人工】		0.70	0.70							
人件費(人工×8,000千円)		5,600	5,600							
総事業費:人件費含む(千円)		46,672	45,600							
活動指標名		整備延長								
活動指標の算式		整備延長/総事業費								
活動指標の実績		1,344	単位	m				1,400	単位	m
単位当たりコスト(円)		34,726	32,571							
事業の目標	誰もが安全安心で、生き生き暮らせる地域づくりの推進。							備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路改良と補修の実施	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路ストック総点検			
所管課	181	建設課	(建設部)			
事業の目的 市道橋梁の点検を行い道路の安全性及び道路の長寿命化を図る。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	7	土木費	
			項	2	道路橋梁費	
			目	2	道路維持費	
細目	1	道路維持費				
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)					
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H26年度事業の概要	道路ストックの総点検事業 ・橋梁点検 ・L=15m以下の橋梁(20基) ・第三者被害(3基)			財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 道路の安全性の確保及び長寿命化を図る。			分担金 使用料 国費 9,600 県費 市債 その他 一般財源 7,133 H26予算額 A 16,733 H25当初予算額 B H25現計予算額 67,000 増減額 A-B 16,733		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)			
決算額又は決算見込額(千円)			67,000			
従事職員数【人工】			0.30			
人件費(人工×8,000千円)			2,400			
総事業費:人件費含む(千円)			69,400			
活動指標名		点検済橋梁数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績			101	単位 基		
単位当たりコスト(円)			687,129			
事業の目標 市道橋梁の点検を行うことにより、安全性の確保及び道路の長寿命化を図る。		特定財源の状況 社会資本整備総合交付金 9,600千円				
		※H25現計予算額はH24からの繰越分				
事業の目標		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (10)道路ストック総点検事業				

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全施設整備事業						
所管課	181	建設課	(建設部)						
事業の目的 市道1, 687路線、総延長約747kmのうち、特に生活と密着した道路の防護柵、カーブミラーや区画線の維持補修を行い、道路利用者の安全確保を図る。					宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	7	土木費		
					項	2	道路橋梁費		
					目	2	道路維持費		
細目	3	交通安全施設整備費							
根拠条例等	道路法42条(道路の維持または修繕)								
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備								
H26年度事業の概要 市道の安全確保のため、カーブミラーの新設、修繕や道路防護柵(ガード レール)の新設、補修を行う。 また、道路面に於けるセンターライン等の区画線の塗り直しを行う。 公安修繕費 800千円 公安新設工事 5,200千円 計 6,000千円					財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果 市道利用者の安全確保。					使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源		6,000		
					H26予算額	A	6,000		
					H25当初予算額	B	6,000		
					H25現計予算額		6,000		
増減額	A-B								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		5,996	6,000						
従事職員数【人工】		0.10	0.10						
人件費(人工×8,000千円)		800	800						
総事業費:人件費含む(千円)		6,796	6,800						
活動指標名		整備箇所数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		50	単位	箇所			50	単位	箇所
単位当たりコスト(円)		135,920					136,000		
事業の目標 市道利用者の安全性、利便性の確保。							備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)防犯灯、交通安全施設の整備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	急傾斜地崩壊対策事業負担金							
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	奈良県土砂対策基本方針により、代替性のない避難箇所や自力で避難が困難な方が24時間入居している災害時要援護者施設関連を守る対策を優先的に実施する。				区分	No.	区分名			
					款	7	土木費			
					項	3	河川費			
					目	1	河川総務費			
細目	1	本庁河川総務費								
根拠条例等	奈良県土砂対策基本方針									
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現									
H26年度事業の概要	代替性のない避難施設を優先的に実施、				財源の内訳 (単位:千円)					
	菟田野下芳野地区(菟田野芳野地区体育館) 菟田野佐倉地区(菟田野農家高齢者創作館) 大宇陀野依地区(旧野依小学校)				分担金					
事業の成果	災害時の避難施設において、県施工により対策工事を行い、地域住民の安全を確保する				使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	6,053				
					H26予算額	A	6,053			
					H25当初予算額	B	4,200			
H25現計予算額		9,082								
増減額	A-B	▲ 3,024								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		8,064	9,082							
従事職員数【人工】		0.30	0.30							
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400							
総事業費:人件費含む(千円)		10,464	11,482							
活動指標名		箇所数								
活動指標の算式		—								
活動指標の実績		5	単位	箇所				5	単位	箇所
単位当たりコスト(円)		2,092,800	2,296,400							
事業の目標	奈良県土砂対策基本方針に基づき、避難施設において対策工事を行い、地域住民を土砂災害から守り、安全を確保する。							備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (11)急傾斜地崩壊対策事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原駅前活性化事業				
所管課	161	都市計画課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	地域の商店街と連携し、宇陀・大和高原の特産物の販売、地域の観光や特徴をPRする情報発信を空店舗を活用してまちおこしと賑わいのある空間を作るとともに、地域の雇用の創出を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費					
根拠条例等							
総合計画	総合計画 第5章 第1節 農林業の活性化、第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	平成26年度要望 5,246千円 人件費 4,344千円 その他 902千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	榛原駅周辺は、宇陀市の玄関口として地域住民や来訪者などが行き交う賑わいに溢れる地域であるが、人口の減少や商店街の空洞化、高齢化が進んでおり、交通拠点としての立地を活かした商業サービス機能の充実が必要である。今後(仮称)まちづくりだ会社を立ち上げるにより雇用の創出ができる。				使用料		
					国費	5,246	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A	5,246
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額		4,918					
増減額	A-B	5,246					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/		4,918		起業支援型地域緊急雇用創出事業 5,246千円		
従事職員数【人工】			0.50				
人件費(人工×8,000千円)			4,000				
総事業費:人件費含む(千円)			8,918				
活動指標名	調査件数(件)						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	280	単位	件		
単位当たりコスト(円)	/		31,850				
事業の目標			まちづくりの主役は地域を支える市民であり、まちづくりは市民と行政など多様な主体が協働して進めることが重要である。市民活動を支援し、協働によるまちづくりを展開していく必要がある。				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (6)榛原駅前活性化事業						

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅・建築物安全ストック形成事業			
所管課	161	都市計画課	(建設部)			
事業の目的 大規模地震発生時に被害が大きくなると予想される旧基準建築物について、耐震診断の実施により耐震性を把握し、耐震改修を行うことで既存木造住宅の安全性向上を推進する。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	7	土木費	
			項	4	都市計画費	
			目	1	都市計画総務費	
細目	1	本庁都市計画総務費				
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律 ・ 宇陀市耐震改修促進計画					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H26年度事業の概要	・既存木造住宅耐震改修支援事業 3戸×500千円=1,500千円 ・既存木造住宅耐震診断事業 10戸×45千円=450千円			財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 地震により耐震性が不十分な建築物の被害が軽減されることにより、仮設住宅やがれきの減少が図られ、早期の復旧・復興に寄与すること、また、避難路が確保されることなどから避難、救命、消火等の活動が速やかに行えることで、災害の拡大を防ぐことが出来、人的被害・物的被害を軽減できる。			分担金		
使用料						
国費				975		
県費				487		
市債						
その他						
一般財源				488		
H26予算額	A	1,950				
H25当初予算額	B	1,770				
H25現計予算額		1,950				
増減額	A-B	180				
事業のコスト			特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	1,160	平成24年度(実績)	1,950	国庫補助金 住宅建築物耐震改修等事業補助金 975千円		
従事職員数【人工】	0.10	平成25年度(見込)	0.20	県費補助金 奈良県既存木造住宅耐震診断支援事業補助金 487千円		
人件費(人工×8,000千円)	800		1,600			
総事業費:人件費含む(千円)	1,960		3,550			
活動指標名	軒数(戸)					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績	10	単位	戸	13	単位	
単位当たりコスト(円)	196,000			273,077		
事業の目標	地震時における人的被害等を軽減させるため、耐震性が不十分な住宅等の建築物の耐震化率を平成27年度までに90%にすることを目標とする。			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (9)既存木造住宅耐震診断・改修支援事業		


平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	平成榛原子供のもり公園費(バーベキュー施設整備)				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	当該公園の大きな集客施設であるバーベキュー施設を、簡易な雨除け改修を施し、利用者が天候を気にせず安心して利用ができるよう、更には利用率の向上と安定収入を図る。 施工には、市民協働の観点から、地元建築労働組合の協力を得て、組織の活動イベントの一環として実施する。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
細目	62	子供のもり公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H26年度事業の概要	15基のバーベキュー施設の内、当概年度において5基設置と炊事場5基を設置。 木造(地元産材)平屋建て(片屋根式) 原材料 171.7千円 ×10基=1,717千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	天候によるキャンセルを減らすことにより、安定した収入と利用者の利便性を図り、公園全体の利用向上に繋げる。 平成24年4月~9月の利用状況 予約数 1,068件 キャンセル数 356件 890,000円 実利用数 712件 1,780,000円 キャンセル割合 33% 平成25年4月~9月の利用状況 予約数 954件 キャンセル数 265件 662,500円 実利用数 689件 1,722,500円 キャンセル割合 28%				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,717	
				H26予算額	A 1,717		
				H25当初予算額	B 1,400		
				H25現計予算額	1,400		
				増減額	A-B 317		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,400				
従事職員数【人工】			0.02				
人件費(人工×8,000千円)			160				
総事業費:人件費含む(千円)			1,560				
活動指標名		整備率					
活動指標の算式		全体整備個数/整備済個数					
活動指標の実績		単位	50	単位 %			
単位当たりコスト(円)			31,200				
事業の目標	バーベキュー施設の安定的な収入と利用者の利便性を図り、公園全体の利活用を図る。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	東町西峠線道路改良事業					
所管課	161	都市計画課	(建設部)					
事業の目的 ・国道165号線萩原交差点の改修工事と合わせて、東町西峠線を開通することにより、天満台団地及び、ひのき坂団地からのアクセス強化と、榛見ヶ丘団地の定住促進、国道370号線菟田川どおりの渋滞緩和、市街地の道路交通網の整備促進を目的とする。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	4	社会資本整備推進事業費	
細目	1	社会資本整備総合交付金事業費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	・平成26年度予算額 465,212千円 ・工事 (道路改良L=80m ・ボックスカルバート) ・委託 (分筆登記・土質調査費) ・用地補償 (3軒) ・事務費			 平成26年度予定				
	・事業の成果 ・近鉄榛原駅北口へのアクセス強化と駅南広場の交通渋滞の緩和を図ると共に、歩行者の安全確保、火災時や地震時の避難路となる。 ・安全な道路及び歩道を整備することにより、高萩台自転車駐車場の利用度のアップが期待される。 ・平成26年度に奈良県宇陀土木事務所が国道165号線萩原交差点の改良を計画されている。事業完了に合わせて全線を開通することにより、渋滞緩和や、道路の環境整備が図られる。			財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 174,000 県費 市債 286,400 その他 一般財源 4,812 H26予算額 A 465,212 H25当初予算額 B H25現計予算額 640,700 増減額 A-B 465,212				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 社会資本整備総合交付金 174,000千円 合併特例債 286,400千円 ※H25現計予算額はH24からの繰越分			
決算額又は決算見込額(千円)		300,000	358,000					
従事職員数【人工】		2.00	2.00					
人件費(人工×8,000千円)		16,000	16,000					
総事業費:人件費含む(千円)		316,000	374,000					
活動指標名		進捗率%						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		62.0	単位 %	87		単位 %		
単位当たりコスト(円)		5,096,774	4,298,851					
事業の目標	・近鉄榛原駅を中心とした道路整備を行い、交通渋滞の緩和、定住促進、安全性、利便性の向上、災害時の避難路の確保等が図られ、安心・安全なまちづくりが図られる。			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路改良と補修の実施				

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安全・安心メール配信事業					
所管課	43	危機管理課	(総務部)					
事業の目的 携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	8	消防費	
					項	1	消防費	
					目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H26年度事業の概要 メール配信システム使用料 402千円 事業者のシステムを利用して、登録者に対して迅速かつ確実にメール配信を行う。					財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果 携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、安全・安心メール配信システムに登録した市民に対し、災害時における避難情報等の緊急情報や気象警報、火災情報、防犯情報等を配信するとともに、CATV自主放送(うだチャン11)との連動により、多くの市民への情報伝達を図り、市民の安全・安心を確保する。 また、聴覚障害者に対して、防災情報取得の第一の手段としての活用が期待される。 なお、災害発生時の迅速な対応を行うため、市職員及び消防団員の緊急招集に活用する。					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	402		
					H26予算額	A	402	
					H25当初予算額	B	391	
					H25現計予算額	391		
					増減額	A-B	11	
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)			391	391				
従事職員数【人工】			0.01	0.01				
人件費(人工×8,000千円)			80	80				
総事業費:人件費含む(千円)			471	471				
活動指標名			登録者数					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績			1,239	単位	人			
単位当たりコスト(円)			380	単位	人			
事業の目標			配信する情報を整理し、素早い配信に心がけるとともに、登録者の仕分け(市職員、消防団員、一般市民)を厳格にすることで、災害発生時の参集メールや消防団への指示通信のツールとしても活用したい。(平成26年2月現在発信者数:一般920人、関係者587人 計1,507人)					
備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (2)防災・防犯情報等メール配信事業					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	避難所設備強化事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	大規模災害等の発生に備えて、避難所の設備強化を図る。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
					細目	1	災害対策費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	災害時用簡易トイレ 避難所(小・中学校) 11箇所×2セット=22セット 避難所(小・中学校以外) 55箇所×1セット=55セット 合計 77セット、1,598千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	災害時のトイレ問題は、被災者にとって緊急かつ生命や健康にも影響する重要な課題であることを考慮し、全指定避難所へ簡易トイレを配置し、災害時の避難所における良好な生活環境を確保する。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他		1,598					
一般財源							
H26予算額	A	1,598					
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	1,598					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/		災害救助基金繰入金 1,598千円				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	宇陀市民の安全と安心を確保する。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (3)避難所設備強化事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立推進事業			
所管課	43	危機管理課 (総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。 このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。			区分	No.	区分名
				款	8	消防費
				項	1	消防費
				目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費				
根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H26年度事業の概要	従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、平成26年度末の結成率を70%以上とすることを旨とする。 平成25年度末結成率=60%見込み (結成率=自主防災組織加入世帯/宇陀市の総世帯数)			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	自主防災組織の結成は、地域で希薄となっている共助意識の高揚を図り、大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。 また、自主防災組織の結成促進は、大規模災害の発生時において公助の立ち遅れをカバーするものであり、地域の減災と災害時要援護者避難支援計画の効果的な実行は、自主防災組織の積極的な活動に期待するところが大きい。 自主防災組織訓練及び相談件数 H22年度= 51件 H23年度= 60件 H24年度= 62件 H25年度= 70件程度			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	500	
				H26予算額	A 500	
				H25当初予算額	B 500	
H25現計予算額	500					
増減額	A-B					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		654	240			
従事職員数【人工】		0.10	0.10			
人件費(人工×8,000千円)		800	800			
総事業費:人件費含む(千円)		1,454	1,040			
活動指標名	加入率					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	53.9	単位 %	60.0			単位 %
単位当たりコスト(円)		26,956	17,333			
事業の目標	宇陀市民の安全と安心を確保するため、自主防災組織の結成を促進すると共に消防団等との連携を強化し、災害発生時の地域の減災を目指す。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)自主防災組織設立の促進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織資機材購入補助事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	地域住民が災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子どもまで協力して安全で安心して暮らせる地域づくりの一環とする。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費					
根拠条例等	宇陀市自主防災組織資機材交付事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	自主防災組織を結成した組織に対して必要な資機材を備えさせるため、資機材の整備について「宇陀市自主防災組織資機材交付事業補助金交付要綱」に基づき一定の補助金を交付する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	交付する額は、当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1以下の金額、又は基本額5万円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のどちらか低い額を交付する。				分担金		
事業の成果	結成された自主防災組織に必要な資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		1,500
					H26予算額	A	1,500
					H25当初予算額	B	1,000
					H25現計予算額		1,700
					増減額	A-B	500
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,700				
従事職員数【人工】			0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800				
総事業費:人件費含む(千円)			2,500				
活動指標名		申請率					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績			15.85	単位 %			
単位当たりコスト(円)			157,729				
事業の目標	宇陀市民の安全と安心を確保する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (5)自主防災組織資機材購入補助事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業						
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。				区分	No.	区分名		
					款	9	教育費		
					項	1	教育総務費		
					目	2	事務局費		
細目	1	本庁事務局費							
根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱								
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実								
H26年度事業の概要	市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯であるもの。 入学支度金の支給(負担金、補助及び交付金) 高等学校又は専修学校 60,000円×17人 大学又は専門学校 120,000円×4人				財源の内訳 (単位:千円)				
	事業の成果	修学困難な生徒に対し修学奨励を行うことにより、市の教育環境づくりが図れる。				分担金			
使用料									
国費									
県費									
市債									
その他									
一般財源						1,500			
H26予算額	A	1,500							
H25当初予算額	B	1,500							
H25現計予算額		1,440							
増減額	A-B								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	2,040	1,440							
従事職員数【人工】	0.03	0.03							
人件費(人工×8,000千円)	240	240							
総事業費:人件費含む(千円)	2,280	1,680							
活動指標名	支給人数								
活動指標の算式	総事業費/支給人数								
活動指標の実績	25	単位				人	21	単位	人
単位当たりコスト(円)	91,200	80,000							
事業の目標	修学困難な生徒に修学奨励を行い教育環境の整備を図り、将来の宇陀市のまちづくり活動に積極的に取り組む意欲のある者を育てる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (12)子ども達の就園就学の経済的支援		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校安全安心メール配信システム運営事業					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムの運用を行う。 今後、研修会を重ね緊急時の対応などに正確且つ瞬時に情報伝達が行えるよう行政事務の改善を図る。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
細目	1	本庁事務局費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H26年度事業の概要	細節	科目	予算額	備考				
	賃金	臨時職員賃金	105千円	780円×7時間×18日+6,500円				
	使用料及び賃借料	機器使用料	538千円	44,820円×12ヶ月				
	合計		643千円					
事業の成果	保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムを運用したことにより、情報伝達が正確且つ瞬時に伝達でき業務の改善につながった。							
	財源の内訳 (単位:千円)							
	分担金							
	使用料							
	国費							
	県費							
	市債							
	その他							
一般財源		643						
H26予算額	A	643						
H25当初予算額	B	600						
H25現計予算額		624						
増減額	A-B	43						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	523	624						
従事職員数【人工】	0.10	0.10						
人件費(人工×8,000千円)	800	800						
総事業費:人件費含む(千円)	1,323	1,424						
活動指標名	登録者数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績	2,850.0	単位	人			2,958	単位	人
単位当たりコスト(円)	464	481						
事業の目標	加入率100%を目指す。							
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (1)学校安心安全メール配信事業							

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ようこそ！サイエンスラボ				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成25年度から実施の本事業は、宇陀市内の幼児、児童、生徒が科学(化学)への興味関心を高め、自然の事物・現象等についての理解を図り、科学(化学)的な見方や考え方を養う事を通して、学力向上に資する事を目的としている。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	5	教育センター事業費
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第3節「教育環境の整備・充実」						
H26年度事業の概要	平成25年度同様、理科教育の振興のため、県内スーパー・サイエンスハイスクール(SSH)である青翔高校の出前授業と、JAXA宇宙航空研究開発機構の「宇宙教育センター」による、宇宙を教材とし、学校と連携し魅力的な授業をつくる「学校教育支援事業」の活用を行う。さらに、平成26年度は、幼稚園、保育所児も対象に加え、科学(化学)に対する興味関心の喚起を幼児教育にも広める。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成25年度は市内中学校の科学部生徒を対象に青翔高校出前授業実施(約20名参加)。液体窒素を使った実験に対して、興味深く楽しく「化学」に親しむことができた。また、「2013宇陀子どもフェスタ」に参加。2つの実験(「液体窒素の実験」、「砂山の実験」)を行い100名以上の幼児、児童、生徒が参加し、科学(化学)実験に積極的に参加した。また、「JAXA学校支援事業」については、実施校3校枠へ小学校3校、中学校1校と枠を越える希望があり、4校実施する予定である。いずれの事業も宇陀市内小中学校の児童生徒に対して、科学(化学)に対する興味関心を高揚し、理科という教科に対しての学習意欲を大いに高めた。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	286	
					H26予算額	A	286
					H25当初予算額	B	283
H25現計予算額		283					
増減額	A-B	3					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		283					
従事職員数【人工】		0.05					
人件費(人工×8,000千円)		400					
総事業費:人件費含む(千円)		683					
活動指標名	実施回数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績		4	回				
単位当たりコスト(円)		170,750					
事業の目標	科学(化学)への興味関心を高め、科学(化学)的な見方や考え方を養い、学力向上を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (14)学校教育支援事業(ようこそ！サイエンスラボ)	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	スピーチコンテスト				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)				
事業の目的 宇陀市内各学校で行われている外国語活動や英語学習の成果を発表し交流することを通して、更に興味を持って取り組もうとする国際性豊かな児童・生徒を育成することを目的とする。					区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	5	教育センター事業費
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	第2回宇陀市英語スピーチコンテスト(小中高英語活動発表会)を実施する。 宇陀市内の小・中・高等学校よりスピーチコンテストへの参加者を募り、個人の部、複数の部において、スピーチ及びスキット(寸劇)のコンテストを実施する。小学校においてはスピーチの発表のみとし、中学校・高等学校は学習の成果を発表し交流を図る。				財源の内訳 (単位:千円)		
	平成24年度は「宇陀市プレ英語スピーチコンテスト」を実施。小学生2名、中学生26名、高校生6名が参加し、英語学習の成果を発表した。参加した生徒のアンケートには「とても楽しかった。小、中、高で集まってやるのはおもしろいなあと思った。」「スピーチコンテストに出ることができて、本当に良かった。また出たいと思っています。」とあり、保護者のアンケートでも「このような機会を与えていただきありがとうございます。今後このような会が開かれることを望みます。」との言葉をいただいた。平成25年度も「第1回宇陀市英語スピーチコンテスト」を11月に開催した。小学生6名、中学生14名、高校生6名が参加し、堂々と練習の成果を発表した。「去年よりレベルが上がっていて驚きました。これからも続けてください。」という感想をいただいた。英語学習の成果を交流し合うことで、更に興味を持ち学習意欲に繋がることを期待している。				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	62	
					H26予算額	A 62	
				H25当初予算額	B 59		
				H25現計予算額	59		
				増減額	A-B 3		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			59				
従事職員数【人工】			0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800				
総事業費:人件費含む(千円)			859				
活動指標名		参加者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績			45	単位			人
単位当たりコスト(円)			19,089				
事業の目標		コンテストに参加した児童生徒が更に外国語学習に意欲的に取り組み、広く宇陀市全体の外国語教育の一層の推進を目指す。					
		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 4. 子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	適応指導教室(はばたき)					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
細目	5	教育センター事業費						
根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H26年度事業の概要	平成25年度に引き続き、週2日(水・金、学校長期休業中は休み)開室を予定しており、児童生徒は、9時~14時40分まで在室している。指導員は、心理士2名。同時に相談業務も行い、必要により保護者と面接し、児童生徒の家庭での生活状況の把握、保護者へのケアも行う。学校との連携を密にするため必要に応じ訪問。教諭、スクールカウンセラー、はばたき指導員の連携をもち、子どもを見守っていく。学校へ復帰した児童生徒のフォローも定期的実施。学校長期休業中は、相談業務を重点的に行う。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	24年度は、正式通室6名、現在、24年の通室者が2名学校に戻ることが出来ている。のべ相談回数46回、通室回数150回になった。通室が増えたことにより、今後は、通室と相談業務を並行して行う必要がある。また、25年度において、夏季休暇期間に、はばたき教室卒業生の懇親会を開催、卒業生全員の参加があり、近況を報告してもらえた。現在自分たちのペースで高校に通学しているとの報告をうけた。今後、学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,154		
					H26予算額	A	2,154	
					H25当初予算額	B	1,600	
					H25現計予算額		1,600	
					増減額	A-B	554	
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	861	1,600						
従事職員数【人工】	0.30	0.30						
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400						
総事業費:人件費含む(千円)	3,261	4,000						
活動指標名	相談回数+通室回数+学校訪問							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績	196	単位	回			190	単位	回
単位当たりコスト(円)	16,638		21,053					
事業の目標	適応指導教室に来室することで、まずは心理的な居場所を確保し、学習機会を保障することや、学校だけでなく、将来大人になったときへの社会への適応を促すための助力となる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	教育相談(心理)					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	発達や不登校についての親や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行い少しでも解消すること。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
細目	5	教育センター事業費						
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H26年度事業の概要	臨床心理士による教育相談業務。保護者・学校・幼稚園・保育所の担任、子供で相談を受けることが可能なため、家庭だけ、学校だけでない、統一した子供への関わりや指導についてのアドバイスが可能である。必要に応じて発達検査を行い、結果を保護者へお知らせし、相談を進める。専門の相談員によるアドバイスがあるため、利用者から評価のが高く、幼稚園・保育所を卒園卒業しても、継続して相談を受けているケースが非常に多くなっているため、平成26年度も今までの良い状態を低下させることなく、事業を継続していく。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成24年度の教育相談件数133回実施した。知能検査を用い定期的に子どもの状態を把握し、保護者や教職員に対してアドバイスを行う。継続希望の方が非常に多い。平成25年度より臨床心理士による相談を毎週月曜日に固定し、月1回の奈良大学准教授による相談体制をとることが出来た。保護者の相談だけで予約がいっぱいになるので、教職員だけの相談は緊急時をのぞきお断りしているが、要望は多い。ニーズのある教職員に対しての相談をどうすすめるかと、相談に足が向かない保護者に対してどのようにするかが課題である。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,455		
					H26予算額	A	1,455	
					H25当初予算額	B	1,418	
H25現計予算額		1,418						
増減額	A-B	37						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	885	1,418						
従事職員数【人工】	0.40	0.40						
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200						
総事業費:人件費含む(千円)	4,085	4,618						
活動指標名	相談回数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	133	単位	回			130	単位	回
単位当たりコスト(円)	30,714		35,523					
事業の目標	現在相談に来られる保護者の方から、年度が変わっても、小・中に行っても相談が続けられることが良いとの声を聞いている。今後も継続していきたい。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国語活動指導助手設置事業 (市単独事業)					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	平成23年度から実施された「新学習指導要領」に基づき、小学校5～6年生の授業に外国語活動が取り入れられた。授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。外国語活動においては、音声を中心に慣れ親しませる活動を通じて、積極的コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
細目	7	外国語早期指導費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第4章第3節 教育環境の整備・充実							
H26年度事業の概要	平成23年度から実施された「新学習指導要領」では、年間35時間の外国語活動が導入された。 市単独事業として、昨年度に引き続き、外国語活動をスムーズに導入できる助手を宇陀市独自で設置する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成25年度の取り組みについての各校からの報告 * ネイティブの発音が児童に力をつけている。 * 英語の聞き取りが進む。 * 外国人との交流は、外国語学習の大いなる動機付けになる。 * 英語だけでなく異文化についても具体的に学べる。 ※教師の英語力の向上につながる				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,671		
					H26予算額	A 2,671		
					H25当初予算額	B 2,255		
H25現計予算額	2,255							
増減額	A-B 416							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		2,052	2,255					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		2,852	3,055					
活動指標名		対象学級数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		24	単位	学級		21	単位	学級
単位当たりコスト(円)		118,833	145,476					
事業の目標	異文化に触れ国際感覚豊かな人材育成を目指す。 平成26年度 第5学年…12学級 第6学年…11学級					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	通級指導教室(ほほえみ)					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもに応じた特別な支援を行う。 ②ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている就学前児に、適切で専門的な指導(保護者や教職員に対しても)を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、生き生きとして社会生活を送れるように支援する。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	2	小学校費	
					目	1	学校管理費	
細目	12	通級指導教室費						
根拠条例等	学校教育法施行規則第140条:宇陀市通級指導教室設置要領							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H26年度事業の概要	通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、それぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。宇陀市立榛原小学校内に教室を置き、自校及び他校の児童生徒が個々に応じて通級する。平成24年度より県費講師1名が配置された。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成24年度は相談件数 99件、相談回数691回。正式通級者が12名となる。保護者や教職員からも、宇陀市で教室が出来て本当によかったとの声がある。幼稚園で通級を受け、小学校で入級しているが、保護者が相談を継続して受けたり、小学校の教諭も一緒に、指導のアドバイスをうけることで、より適切な指導が可能となり、成果が出てきていると喜ばれている。市療育教室卒業後の相談場所を求めて来られる方も多く、今後も安定的に継続して運営を行い、子どもたちへの教育支援を保障していきたい。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	254		
					H26予算額	A	254	
					H25当初予算額	B	224	
H25現計予算額		224						
増減額	A-B	30						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		3,916	224					
従事職員数【人工】		0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		6,316	2,624					
活動指標名		相談回数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		691	単位	回		550	単位	回
単位当たりコスト(円)		9,140		4,771				
事業の目標	県費職員になったことにより、近隣市町村からも通級希望が来られる。今後も受入体制を整え、より充実した支援として広めていく。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業(小学校)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費					
根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H26年度事業の概要	■特別支援就学奨励費				財源の内訳 (単位:千円)		
	項目	単価	人数	予算額	分担金		
	給食費(1~6年)	22,000	40	880,000	使用料		
	修学旅行(6年)	10,300	5	51,500	国費		481
	学用品(1年)	5,550	12	66,600	県費		
	学用品・通学用品(2~6年)	6,635	28	185,780	市債		
	新入学用品(1年)	9,950	12	119,400	その他		
	校外学習(宿有り)	1,735	13	22,555	一般財源		7,709
校外学習(宿なし)	755	40	30,200	H26予算額	A	8,190	
計			1,356,035	H25当初予算額	B	8,502	
事業の成果	経済的理由によって就学困難な児童の解消				H25 現計予算額 8,502		
	■要保護及び準要保護児童就学奨励費 要保護				H25 増減額 A-B ▲ 312		
	項目	単価	人数	予算額			
	修学旅行(6年)	20,600	1	20,600			
	医療費	12,000	1	12,000			
	準要保護						
	項目	単価	人数	予算額			
	給食費(1~6年)	44,000	101	4,444,000			
	修学旅行(6年)	20,600	21	432,600			
	学用品(1年)	11,100	16	177,600			
	学用品・通学用品(2~6年)	13,270	85	1,127,950			
	新入学用品(1年)	19,900	16	318,400			
校外学習(宿有り)	3,470	39	135,330				
校外学習(宿なし)	1,510	101	152,510				
医療費	12,000	1	12,000				
計			6,832,990				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		8,003	7,399		特別支援教育就学奨励費補助金 474千円		
従事職員数【人工】		0.10	0.10		要保護生徒援助費補助金 7千円		
人件費(人工×8,000千円)		800	800				
総事業費:人件費含む(千円)		8,803	8,199				
活動指標名		支給人数					
活動指標の算式		総事業費/支給人数					
活動指標の実績		145	単位	人	142	単位	人
単位当たりコスト(円)		60,710		57,739			
事業の目標	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する事を目標とする。					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (12)子ども達の就園就学の経済的支援	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業(中学校)																																																																																	
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)																																																																																	
事業の目的 経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。					宇陀市一般会計予算																																																																															
					区分	No.	区分名																																																																													
					款	9	教育費																																																																													
					項	3	中学校費																																																																													
					目	2	教育振興費																																																																													
細目	1	本庁中学校教育振興費																																																																																		
根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱																																																																																			
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																																																																																			
H26年度事業の概要	■特別支援就学奨励費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単価</th> <th>人数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食費(1~3年)</td> <td>24,475</td> <td>17</td> <td>416,075</td> </tr> <tr> <td>修学旅行(3年)</td> <td>27,950</td> <td>8</td> <td>223,600</td> </tr> <tr> <td>学用品(1年)</td> <td>10,850</td> <td>4</td> <td>43,400</td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品(2~3年)</td> <td>11,935</td> <td>13</td> <td>155,155</td> </tr> <tr> <td>新入学用品(1年)</td> <td>11,450</td> <td>4</td> <td>45,800</td> </tr> <tr> <td>校外学習(宿有り)</td> <td>2,920</td> <td>4</td> <td>11,680</td> </tr> <tr> <td>校外学習(宿なし)</td> <td>1,090</td> <td>17</td> <td>18,530</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>914,240</td> </tr> </tbody> </table>				項目	単価	人数	予算額	給食費(1~3年)	24,475	17	416,075	修学旅行(3年)	27,950	8	223,600	学用品(1年)	10,850	4	43,400	学用品・通学用品(2~3年)	11,935	13	155,155	新入学用品(1年)	11,450	4	45,800	校外学習(宿有り)	2,920	4	11,680	校外学習(宿なし)	1,090	17	18,530	計			914,240	財源の内訳 (単位:千円)																																											
	項目	単価	人数	予算額																																																																																
給食費(1~3年)	24,475	17	416,075																																																																																	
修学旅行(3年)	27,950	8	223,600																																																																																	
学用品(1年)	10,850	4	43,400																																																																																	
学用品・通学用品(2~3年)	11,935	13	155,155																																																																																	
新入学用品(1年)	11,450	4	45,800																																																																																	
校外学習(宿有り)	2,920	4	11,680																																																																																	
校外学習(宿なし)	1,090	17	18,530																																																																																	
計			914,240																																																																																	
事業の成果	経済的理由によって就学困難な生徒の解消 ■要保護及び準要保護児童就学援助費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単価</th> <th>人数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修学旅行(3年)</td> <td>55,900</td> <td>3</td> <td>167,700</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>12,000</td> <td>1</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td colspan="4">準要保護</td> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>単価</th> <th>人数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>給食費(1~3年)</td> <td>48,950</td> <td>71</td> <td>3,475,450</td> </tr> <tr> <td>修学旅行(3年)</td> <td>55,900</td> <td>20</td> <td>1,118,000</td> </tr> <tr> <td>学用品(1年)</td> <td>21,700</td> <td>26</td> <td>564,200</td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品(2~3年)</td> <td>23,870</td> <td>45</td> <td>1,074,150</td> </tr> <tr> <td>新入学用品(1年)</td> <td>22,900</td> <td>26</td> <td>595,400</td> </tr> <tr> <td>校外学習(宿有り)</td> <td>5,840</td> <td>26</td> <td>151,840</td> </tr> <tr> <td>校外学習(宿なし)</td> <td>2,180</td> <td>71</td> <td>154,780</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>12,000</td> <td>1</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>7,325,520</td> </tr> </tbody> </table>				項目	単価	人数	予算額	修学旅行(3年)	55,900	3	167,700	医療費	12,000	1	12,000	準要保護				項目	単価	人数	予算額	給食費(1~3年)	48,950	71	3,475,450	修学旅行(3年)	55,900	20	1,118,000	学用品(1年)	21,700	26	564,200	学用品・通学用品(2~3年)	23,870	45	1,074,150	新入学用品(1年)	22,900	26	595,400	校外学習(宿有り)	5,840	26	151,840	校外学習(宿なし)	2,180	71	154,780	医療費	12,000	1	12,000	計			7,325,520	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,864</td> </tr> <tr> <td>H26予算額</td> <td>A 8,241</td> </tr> <tr> <td>H25当初予算額</td> <td>B 9,150</td> </tr> <tr> <td>H25現計予算額</td> <td>9,150</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>A-B ▲ 909</td> </tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費	377	県費		市債		その他		一般財源	7,864	H26予算額	A 8,241	H25当初予算額	B 9,150	H25現計予算額	9,150	増減額	A-B ▲ 909
	項目	単価	人数	予算額																																																																																
	修学旅行(3年)	55,900	3	167,700																																																																																
	医療費	12,000	1	12,000																																																																																
	準要保護																																																																																			
	項目	単価	人数	予算額																																																																																
	給食費(1~3年)	48,950	71	3,475,450																																																																																
	修学旅行(3年)	55,900	20	1,118,000																																																																																
	学用品(1年)	21,700	26	564,200																																																																																
	学用品・通学用品(2~3年)	23,870	45	1,074,150																																																																																
新入学用品(1年)	22,900	26	595,400																																																																																	
校外学習(宿有り)	5,840	26	151,840																																																																																	
校外学習(宿なし)	2,180	71	154,780																																																																																	
医療費	12,000	1	12,000																																																																																	
計			7,325,520																																																																																	
分担金																																																																																				
使用料																																																																																				
国費	377																																																																																			
県費																																																																																				
市債																																																																																				
その他																																																																																				
一般財源	7,864																																																																																			
H26予算額	A 8,241																																																																																			
H25当初予算額	B 9,150																																																																																			
H25現計予算額	9,150																																																																																			
増減額	A-B ▲ 909																																																																																			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)																																																																																	
決算額又は決算見込額(千円)		8,605	7,691																																																																																	
従事職員数【人工】		0.10	0.10																																																																																	
人件費(人工×8,000千円)		800	800																																																																																	
総事業費:人件費含む(千円)		9,405	8,491																																																																																	
活動指標名		支給人数																																																																																		
活動指標の算式		総事業費/支給人数																																																																																		
活動指標の実績		99	単位	人	88																																																																															
単位当たりコスト(円)		95,000	96,489																																																																																	
事業の目標		経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する事を目標とする。																																																																																		
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (12)子ども達の就園就学の経済的支援																																																																																		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国青年招致事業						
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)						
事業の目的 市内4中学校にALTを配置し、英語教育の普及を図り、国際的視野を高める。					宇陀市一般会計予算 区分 No. 区分名				
					款	9	教育費		
					項	3	中学校費		
					目	3	外国青年招致事業費		
					細目	1	外国青年招致事業費		
根拠条例等									
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実								
H26年度事業の概要	(財)自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国人青年招致事業(JETプログラム)」から派遣されたALT(2人)を市内4中学校に配置する。				財源の内訳 (単位:千円)				
事業の成果	授業でネイティブスピーカーを活用することにより、外国語教育が充実している。				分担金				
					使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	9,209			
					H26予算額	A 9,209			
H25当初予算額	B 9,093								
H25現計予算額	9,093								
増減額	A-B 116								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	9,211	9,093							
従事職員数【人工】	0.40	0.40							
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200							
総事業費:人件費含む(千円)	12,411	12,293							
活動指標名	配置人員								
活動指標の算式									
活動指標の実績	2 単位 人	2 単位 人							
単位当たりコスト(円)	6,205,500	6,146,500							
事業の目標	国際性豊かな人材の育成を図る。					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名 幼稚園保育料援助事業					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市立幼稚園の一層の普及充実を図るため、生活保護世帯、市民税非課税世帯及び市民税所得割非課税世帯等に対し、保育料支払いの経済的負担を軽減するために行なう。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	4	幼稚園費
					目	1	幼稚園費
細目	1	本庁幼稚園費					
根拠条例等	宇陀市立幼稚園保育料徴収条例第5条、同施行規則第4条						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備充実						
H26年度事業の概要	全保護者に事業内容案内を配布し、保護者からの申請により、減免を行なう。扶助費 926,000円※歳入の補助基準額926,000÷3×0.7				財源の内訳 (単位:千円)		
	72,000×6人	432,000	生活保護者等の全額免除者		分担金		
	20,000×6人	120,000	第1子		使用料		
	46,000×2人	92,000	2子以上の就園の第2子		国費	216	
	72,000×0人	0	2子以上の就園の第3子		県費		
	33,000×2人	66,000	兄弟が小学校低学年の第2子		市債		
72,000×3人	216,000	兄弟が小学校低学年の第3子		その他			
事業の成果	平成25年度減免認定予定者 13名 家庭の経済的負担軽減を図るため、第1子から減免を実施して、平成22年度からは兄・姉が小学校低学年にいる第2子の保護者まで範囲を広げ、幼稚園利用保護者負担の経済的軽減を図っている。 小学校就学前の保育所入所者以外の幼児に、家庭の経済的な理由で幼稚園就園を断念することなく、幼稚園教育を受ける機会を設けた。				一般財源	710	
					H26予算額	A 926	
					H25当初予算額	B 848	
					H25現計予算額	848	
					増減額	A-B 78	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		452	462		幼稚園就園奨励費補助金 216千円		
従事職員数【人工】		0.45	0.45				
人件費(人工×8,000千円)		3,600	3,600				
総事業費:人件費含む(千円)		4,052	4,062				
活動指標名		減免認定者数					
活動指標の算式		総事業費/減免認定者数					
活動指標の実績		11	単位	人	15	単位	人
単位当たりコスト(円)		368,364		270,800			
事業の目標	幼児教育の充実を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (12)子ども達の就園就学の経済的支援	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金事業																																																		
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																																																
事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。				区分	No.	区分名																																														
					款	9	教育費																																														
					項	5	社会教育費																																														
					目	3	青少年活動費																																														
					細目	1	本庁青少年活動費																																														
根拠条例等	宇陀市社会教育振興事業補助金交付要綱																																																				
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実																																																				
H26年度事業の概要	実項委員会補助金 750千円				財源の内訳 (単位:千円)																																																
	<table border="1"> <tr><td>報償費</td><td>10</td><td>謝礼</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>634</td><td>材料費等</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>35</td><td>郵送料等</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>46</td><td>音響委託等</td></tr> <tr><td>使用賃借料</td><td>15</td><td>会場使用料</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>10</td><td>予備費</td></tr> <tr><td>合計</td><td>750</td><td></td></tr> </table>				報償費	10	謝礼	需用費	634	材料費等	役務費	35	郵送料等	委託料	46	音響委託等	使用賃借料	15	会場使用料	予備費	10	予備費	合計	750		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>750</td></tr> <tr><td>H26予算額</td><td>A</td><td>750</td></tr> <tr><td>H25当初予算額</td><td>B</td><td>650</td></tr> <tr><td>H25現計予算額</td><td></td><td>650</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>A-B</td><td>100</td></tr> </table>			分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	750	H26予算額	A	750	H25当初予算額	B	650	H25現計予算額		650	増減額	A-B
報償費	10	謝礼																																																			
需用費	634	材料費等																																																			
役務費	35	郵送料等																																																			
委託料	46	音響委託等																																																			
使用賃借料	15	会場使用料																																																			
予備費	10	予備費																																																			
合計	750																																																				
分担金																																																					
使用料																																																					
国費																																																					
県費																																																					
市債																																																					
その他																																																					
一般財源	750																																																				
H26予算額	A	750																																																			
H25当初予算額	B	650																																																			
H25現計予算額		650																																																			
増減額	A-B	100																																																			
事業の成果	子どもフェスタ2013(H25年度) 参加者 約1,600人 テーマ つながれ心! ひろがれ笑顔! 内容 紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト タイムトンネル・音楽コンサート・人形劇 ※雨天のため一部内容を縮小																																																				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																																																
決算額又は決算見込額(千円)		600	650																																																		
従事職員数【人工】		0.30	0.20																																																		
人件費(人工×8,000千円)		2,400	1,600																																																		
総事業費:人件費含む(千円)		3,000	2,250																																																		
活動指標名		参加人数																																																			
活動指標の算式		-																																																			
活動指標の実績		1,500	単位	人				1,600	単位	人																																											
単位当たりコスト(円)		2,000	1,406																																																		
事業の目標		子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。						<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (15)“宇陀子どもフェスタ2014”開催費(実行委員会補助金)																																													

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校・地域パートナーシップ事業																										
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																								
事業の目的	青少年の規範意識や社会性の低下が社会現象となり、その要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等があり、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的とする。				区分 No.	区分名																							
					款	9	教育費																						
					項	5	社会教育費																						
					目	3	青少年活動費																						
細目	1	本庁青少年活動費																											
根拠条例等																													
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実																												
H26年度事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>報償費</td> <td>774</td> <td>講師等謝金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>8</td> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>1,211</td> <td>消耗品費</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">役務費</td> <td>82</td> <td>郵送料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>154</td> <td>傷害保険</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,229</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				報償費	774	講師等謝金		旅費	8	旅費		需用費	1,211	消耗品費		役務費	82	郵送料		154	傷害保険		合計	2,229			財源の内訳 (単位:千円)	
	報償費	774	講師等謝金																										
	旅費	8	旅費																										
	需用費	1,211	消耗品費																										
	役務費	82	郵送料																										
		154	傷害保険																										
合計	2,229																												
				分担金																									
				使用料																									
				国費																									
				県費	1,484																								
				市債																									
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども活動支援事業(H24) 4中学校区・8小学校区 学習支援活動・登下校安全指導・環境整備等 ●放課後子ども教室(H24) 1小学校区1教室 各教室年間53回開催 工作教室、おやつ作り、読み聞かせ、施設訪問 				その他																								
					一般財源	745																							
					H26予算額	A	2,229																						
					H25当初予算額	B	1,674																						
					H25現計予算額		1,674																						
					増減額	A-B	555																						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 学校・地域パートナーシップ事業補助金 1,484千円																								
決算額又は決算見込額(千円)			618	1,674																									
従事職員数【人工】			0.05	0.05																									
人件費(人工×8,000千円)			400	400																									
総事業費:人件費含む(千円)			1,018	2,074																									
活動指標名			学校数																										
活動指標の算式			-																										
活動指標の実績			12 単位 校	12 単位 校																									
単位当たりコスト(円)			84,833	172,833																									
事業の目標	未来を担う子どもたちを健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。				<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進																								

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	指定文化財保存事業(施設)					
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	市全体の文化財保護事業をおこなう、国・県・市指定文化財の保存修理、設備点検環境整備の実施に伴う補助金の交付を行う。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	4	文化財保護費	
細目	1	本庁文化財保護費						
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用							
H26年度事業の概要	指定文化財所有者の防災設備点検等、建造物保存修理、環境整備等の経費軽減を図る。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	○文化財補助金(14件) 文化財の管理、修理、復旧、公開、調査、その他文化財の保存及び活用等の経費並びに防犯上緊急の措置を講じる為の経費(国費・県費を控除した額)を補助するもの。 補助金額 金 2,864千円				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源		2,864	
					H26予算額	A	2,864	
					H25当初予算額	B	989	
H25現計予算額		3,656						
増減額	A-B	1,875						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			4,223	3,307				
従事職員数【人工】			0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800	800				
総事業費:人件費含む(千円)			5,023	4,107				
活動指標名			補助増減率					
活動指標の算式			現年補助予算額/前年補助予算額					
活動指標の実績			144.0	単位	%	86	単位	%
単位当たりコスト(円)			34,882		47,756			
事業の目標	指定文化財を後世に残していくために、引き続いて所有者等と連携しながら文化財の適切な保護・管理を実施する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	指定文化財保存事業(民俗)						
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)						
事業の目的	市内にある指定無形民俗文化財の、伝承事業等の実施に伴う補助金の交付を行う。				宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	9	教育費		
					項	5	社会教育費		
					目	4	文化財保護費		
細目	1	本庁文化財保護費							
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用								
H26年度事業の概要	各地域の歴史、風土のなかで育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存又後継者育成を担っている。				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	○文化財愛護団体等補助金 ・市指定文化財伝承補助金(4件) 「大野いさめ踊り」、「室生獅子舞」、「竜口獅子舞」、「田口獅子舞」 補助金額 金 120,000円				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	120			
					H26予算額	A	120		
					H25当初予算額	B	120		
H25現計予算額		120							
増減額	A-B								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	150	120							
従事職員数【人工】	0.10	0.10							
人件費(人工×8,000千円)	800	800							
総事業費:人件費含む(千円)	950	920							
活動指標名	補助増減率								
活動指標の算式	現年補助予算額/前年補助予算額								
活動指標の実績	144.0	単位 %				86	単位 %		
単位当たりコスト(円)	6,597					10,698			
事業の目標	指定無形民俗文化財を後世に残していくために、保持団体と連携しながら事業を継続する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備 備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名		文化財ボランティア養成講座事業		
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)			
事業の目的		市内には、数多くの国・県・市指定の有形文化財をはじめ、地域の暮らしの中で大切に受け継がれてきた貴重な無形文化財が存在する。これらの貴重な文化財の保護と活用を図り、さらに文化財を後世に引き継いでいくため「文化財ボランティア」を養成する。 また、文化財ボランティアの活動を通じて宇陀市の歴史と文化を市民に再認識していただくとともに、文化財愛護思想の高揚と地域文化財の保護、顕彰に資することを目的とする。			宇陀市一般会計予算 区分 No. 区分名 款 9 教育費 項 5 社会教育費 目 4 文化財保護費 細目 1 本庁文化財保護費	
根拠条例等	文化財ボランティア養成講座実施要項					
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用					
H26年度事業の概要	本年度は、上級講座として平成22年度からの受講者を対象に開講し、文化財の知識等を高める講座を開講する。 報償金 10千円			財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 10 H26予算額 A 10 H25当初予算額 B 10 H25現計予算額 10 増減額 A-B		
事業の成果	平成22年度から継続して講座を開講しており、毎年平均10名から15名の受講生に参加して頂いて宇陀市の歴史、市内に点在する有形文化財や伝承されている無形文化財について学んでいただいている。 この事業の実施により、文化財保存の重要性と活用の必要性が理解いただけ、文化財に対する知識高揚の一助となっているものと考えている。					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	10	10				
従事職員数【人工】	0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)	800	800				
総事業費:人件費含む(千円)	810	810				
活動指標名	登録者数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績	14	単位	人	14	単位	
単位当たりコスト(円)	57,857		57,857			
事業の目標	今後は、ボランティア養成講座を修了された方々を市に登録していただき、文化財の「指導ボランティア」や文化講演会等の「運営ボランティア」などとして活動してもらうことを目標とする。併せて文化財という貴重な財産について、受講者から市民へ情報発信をしていただくとともに、文化財について広く市民に周知していただく。			<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	天然記念物保存事業 向淵スズラン群落再生事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	室生向淵にあるスズランの自生群落は、自生の南限地として国の天然記念物に指定されている。 このスズラン群落の保存管理計画を策定し、併せて現状調査等を実施する。 また、当該保存管理計画に基づき管理目標を定めて観察と管理をおこなうとともに、一般来訪者に公開することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
					細目	3	天然記念物保存事業費
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	平成26年度は、向淵スズラン群落再生事業指導委員会の指導のもとに、文化庁文化財調査官の現地指導、スズラン現状調査、増殖試験等の事業を実施する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	天然記念物に指定された当時(S5. 11)には約3万㎡の指定地に、密生した場所でも1㎡あたり平均45株しかなかった。この事業の実施に伴い平成9年には約500㎡の中に約5,500株が生育するようになり、さらに平成21年調査では、217㎡の中に約29,000株が生育。生育密度は「オクシバ」地区で約119株/㎡、「タヌキヤブ」地区で約136株/㎡と増加してきている。 このように個体数及び密度は増加傾向にあるものの、外来種である「ドイツスズラン」の混在も確認され、その都度除去して固有種の確保が可能となった。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	710	
					H26予算額	A 710	
					H25当初予算額	B 4,002	
					H25現計予算額	4,002	
					増減額	A-B ▲ 3,292	
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	9,750	4,002					
従事職員数【人工】	0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)	400	400					
総事業費:人件費含む(千円)	10,150	4,402					
活動指標名	株数密度増減割合						
活動指標の算式	前年生育密度/現年生育密度						
活動指標の実績	110	単位 %	105			単位 %	
単位当たりコスト(円)	92,273	41,924					
事業の目標	国指定の天然記念物向淵スズラン群落を管理することにより、指定理由である自生の南限としての価値を維持すると共に、一般に広く公開することにより市の活性化に資することを目標とする。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市松山重伝建地区の歴史的町並みの特性を回復、維持するため、重伝建審議会においてその方策を検討し、伝建地区内の重要な構成要素である伝統的建造物(伝建物)の「修理」、及びそれ以外の建造物(非伝建物)の「修景」に対して補助金の交付をおこなって、修理と修景を共に推進することにより、町並みの価値を維持し、高めることを目的とし、併せて地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備を行い、これらをもって市民が誇りと愛着をもったまちづくりの実行に資することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費					
根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	平成26年度においては、「修理」に対する補助9件、「修景」に対する補助1件等の事業を予定している。				資源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の成果	修理・修景補助については、申請のあった物件について選定委員会を開催し、緊急度や効果の高いものについて順位をつけて採択をし、予算の範囲内で年間4～6件の工事に補助を行っている。 建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、申請件数も年々増加して待機状態が続いている状況にある。 また上欄の事業概要のほかにも、折に触れて先進地研修やまちづくり講座等を開催して住民への啓発活動を行っているため、本事業に対する住民の理解は年ごとに高まっている。				国費	18,451	
					県費	3,690	
					市債		
					その他		
					一般財源	15,231	
					H26予算額	A 37,372	
					H25当初予算額	B 34,096	
					H25現計予算額	34,096	
増減額	A-B 3,276						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	34,760	34,096	国宝重要文化財保存整備費補助金 18,451千円				
従事職員数【人工】	1.00	1.00	文化財保存事業補助金 3,690千円				
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	42,760	42,096					
活動指標名	補助件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	5	単位 件	7	単位 件			
単位当たりコスト(円)	8,552,000		6,013,714				
事業の目標	宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)は、奈良県下の3ヶ所のうちのひとつであり、昭和戦前に建築された建築物が数多く残り、「商家町」としての貴重な歴史的景観を形成している。 この歴史的景観を後世に引き継ぐとともに、宇陀松山城跡と伝建地区を一体的に捉えて整備することにより、当該地域のみならず宇陀市の活性化に資することを目的とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。 城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H26年度事業の概要	平成26年度は、 (1)天守郭・天守郭周辺部の保存整備実施設計 (2)南西虎口部(雀門周辺)、南東虎口部(大門)の発掘調査報告書の刊行 (3)松山城跡管理業務の実施を計画している。				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	平成18年7月に国史跡指定を受た面積は67,667㎡と広大であり、そのうち総石垣つくりの約22,450㎡の公有化を実施している。 整備範囲は公有化を行った範囲を中心に、城跡への登城道部分を対象としている。 遺構内容・城割りの状況と範囲・石垣等の崩落箇所等の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めることで貴重な歴史資料とすることができる。				分担金	
					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,480	
					H26予算額	A 1,480	
					H25当初予算額	B 9,834	
					H25現計予算額	9,834	
					増減額	A-B ▲ 8,354	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		6,261	9,834				
従事職員数【人工】		1.20	1.20				
人件費(人工×8,000千円)		9,600	9,600				
総事業費:人件費含む(千円)		15,861	19,434				
活動指標名		進捗率					
活動指標の算式		出来高工事費/全体事業費					
活動指標の実績		16	単位	%	20	単位	%
単位当たりコスト(円)		991,313		971,700			
事業の目標	宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。 これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国重文・片岡家文書調査事業					
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	国指定重要文化財の片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当該地域の歴史を考える上において重要な史料であることが判明している。 片岡家に所蔵される文書は約1万点を数え、これら文書の詳細な調査を実施し、整理したうえで次代へ引き継げるようにするためこの事業を実施するものである。 調査後の価値判断によっては国または県指定文化財の指定を検討する。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	4	文化財保護費	
					細目	25	片岡家文書調査事業費	
根拠条例等	文化財保護法							
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用							
H26年度事業の概要	平成26年度は、片岡家に伝わる約1万点の文書(史料)を詳細調査し、すべての文書を写真撮影するなどの整理を継続するものである。 また当該文書調査の詳細については、文化庁、奈良県教育委員会事務局、片岡家文書調査指導委員会の指導を得て実施する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	片岡家文書の調査により、中世から近世における宇陀地域の支配者の支配状況の確認が可能となることが期待される。 また、近代における地方自治の状況も明らかになるのではないかと期待されるところである。				使用料			
					国費	1,500		
					県費	90		
					市債			
					その他			
					一般財源	1,416		
					H26予算額	A 3,006		
					H25当初予算額	B 3,002		
					H25現計予算額	3,002		
					増減額	A-B 4		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		3,001	3,002					
従事職員数【人工】		0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)		400	400					
総事業費:人件費含む(千円)		3,401	3,402					
活動指標名		進捗率						
活動指標の算式		整理済文書数/全体文書数(概数)						
活動指標の実績		25	単位	%		25	単位	%
単位当たりコスト(円)		136,040		136,080				
事業の目標	片岡家は中世、室町時代から連続と続く旧家であり、そこに受け継がれてきた各種文書を調査することは、宇陀地域の詳細な歴史を確認することに他ならない。 調査結果は、「片岡家文書調査報告書」として取りまとめて出版することにより宇陀市の一級資料とすると共に、定期的に一般公開をおこなうことにより市の活性化に資することを目標とする。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校・地域パートナーシップ事業					
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	青少年の規範意識や社会性の低下が社会現象となり、その要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等があり、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的とする。				区分 No.	区分名		
					款	9	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	7	人権教育推進費	
細目	1	人権教育推進費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第4章 第1節 誰もが尊重される共生のまちづくり							
H26年度事業の概要	放課後子ども教室(小学校) (千円)				財源の内訳 (単位:千円)			
	報償費	146	教育活動推進員謝金 教育活動サポーター謝金		分担金			
	需用費	164	消耗品費、印刷製本費		使用料			
	役務費	67	郵送料、手数料		国費			
合計	377			県費	251			
事業の成果	●平成24年度学校・地域連携事業(放課後子ども教室推進事業) 大宇陀地域 年間20日実施【奉仕活動・ボランティア活動・学習活動】 菟田野地域 年間70日実施【チャング・人権学習・学習活動】 榛原地域 年間30日実施【人権学習・チャング・多文化学習】 室生地域 年間21日実施【自主学習会・再発見体験学習】				市債			
					その他			
					一般財源	126		
					H26予算額	A 377		
					H25 当初予算額	B 285		
					H25 現計予算額	285		
				増減額	A-B 92			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		215	285					
従事職員数【人工】		0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		2,615	2,685					
活動指標名		学校数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		4	単位	校		4	単位	校
単位当たりコスト(円)		653,750	671,250					
事業の目標		未来を担う子どもたちを健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	夏休みラジオ体操事業																									
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																							
事業の目的	「いつでも」・「どこでも」・「だれも」ができるラジオ体操を通じて、市民が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまち、ウェルネスシティ宇陀市の実現を目指す。				区分	No.	区分名																					
					款	9	教育費																					
					項	6	保健体育費																					
					目	1	保健体育総務費																					
細目	4	ウェルネスシティ推進費																										
根拠条例等																												
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実																											
H26年度事業の概要	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">需用費</td> <td>50</td> <td>消耗品代</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>広報チラシ印刷代</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>医薬品代</td> </tr> <tr> <td>108</td> <td>参加者飲料水代</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>53</td> <td>傷害保険料他</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>321</td> <td></td> </tr> </table>				需用費	50	消耗品代	100	広報チラシ印刷代	10	医薬品代	108	参加者飲料水代	役務費	53	傷害保険料他	合計	321		財源の内訳 (単位:千円)								
	需用費	50	消耗品代																									
100		広報チラシ印刷代																										
10		医薬品代																										
108		参加者飲料水代																										
役務費	53	傷害保険料他																										
合計	321																											
事業の成果	宇陀市内において、夏休み期間中に夏期市内巡回ラジオ体操会を市内5会場にて実施。 第1回会場7月20日(土)伊那佐文化センター駐車場 参加者約250名 第2回会場7月27日(土)室生運動場 参加者約80名 第3回会場8月3日(土)菟田野農林センター駐車場 参加者約50名 第4回会場8月10日(土)大宇陀ふれあい交流広場 参加者約70名 第5回会場8月17日(土)榛原天満台公園 参加者約150名 5会場において、約600名の参加をいただいた。				<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td>H26予算額</td> <td>A 321</td> </tr> <tr> <td>H25当初予算額</td> <td>B 240</td> </tr> <tr> <td>H25現計予算額</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>A-B 81</td> </tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	321	H26予算額	A 321	H25当初予算額	B 240	H25現計予算額	240	増減額	A-B 81
分担金																												
使用料																												
国費																												
県費																												
市債																												
その他																												
一般財源	321																											
H26予算額	A 321																											
H25当初予算額	B 240																											
H25現計予算額	240																											
増減額	A-B 81																											
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																								
決算額又は決算見込額(千円)		145																										
従事職員数【人工】		0.10																										
人件費(人工×8,000千円)		800																										
総事業費:人件費含む(千円)		945																										
活動指標名	参加者数																											
活動指標の算式	-																											
活動指標の実績		単位	600	単位	人																							
単位当たりコスト(円)		1,575																										
事業の目標	夏休み期間中に「ラジオ体操デー」を設定し、ラジオ体操会を開催することでラジオ体操の普及を図り、小中学校はもちろんのこと、職場や家庭、公園や広場、田畑で、誰もが、いつでも・どこでもラジオ体操を楽しんでいる元気な街「ウェルネスシティ宇陀市」を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)「ウェルネスシティ推進」事業																						

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	大人のための運動教室等充実事業										
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算								
事業の目的	運動を始めたいと思っている人、又は運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に開催することで運動の習慣化へとつなげていく。				区分	No.	区分名						
					款	9	教育費						
					項	6	保健体育費						
					目	2	体育施設費						
細目	4	ウェルネスシティ推進費											
根拠条例等													
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進												
H26年度事業の概要	宇陀市民の40歳～69歳以下の男女を対象とした運動教室の実施。				財源の内訳 (単位:千円)								
					分担金								
事業の成果	<table border="1"> <tr> <td>講師謝礼</td> <td>1,210</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,345</td> </tr> </table>				講師謝礼	1,210	消耗品費	135	計	1,345	使用料		
					講師謝礼	1,210							
					消耗品費	135							
					計	1,345							
					国費								
					県費								
					市債								
					その他	1,345							
					一般財源								
					H26予算額	A	1,345						
H25当初予算額	B												
H25現計予算額													
増減額	A-B	1,345											
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況									
決算額又は決算見込額(千円)	/		受講料 1,345千円										
従事職員数【人工】													
人件費(人工×8,000千円)													
総事業費:人件費含む(千円)													
活動指標名													
活動指標の算式													
活動指標の実績		単位		単位									
単位当たりコスト(円)													
事業の目標	適切な継続指導が実施できる事業と、運動を始めたいと思った時にすぐ始めることができる体制づくりを目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業							

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	給食食材放射能検査事業		
所管課	621	学校給食センター (教育委員会事務局)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	学校給食は、身体の発育期にある児童生徒にバランスのとれた栄養のある食事を提供し、このことにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図るものである。更なる安心・安全を図るため給食用食材の放射能検査を実施するものである。		区分	No.	区分名
			款	9	教育費
			項	7	学校給食費
			目	1	学校給食費
			細目	1	学校給食費
根拠条例等	「宇陀市立学校給食センター条例」				
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実				
H26年度事業の概要	給食食材放射能検査料 108千円		財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 給食食材について検査を実施することにより、学校給食センターが提供する給食の安心・安全性の確保を図る。		分担金		
使用料					
国費					
県費			108		
市債					
その他					
一般財源					
H26予算額			A	108	
H25当初予算額			B	105	
H25現計予算額				105	
増減額	A-B	3			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額(千円)			105		
従事職員数【人工】			0.01		
人件費(人工×8,000千円)			80		
総事業費:人件費含む(千円)			185		
活動指標名		食材検査回数			
活動指標の算式		-			
活動指標の実績			10	回	
単位当たりコスト(円)			18,500		
事業の目標	安心・安全な給食を提供するため、給食食材の安全性の確保を図る。			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)給食食材放射能検査事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公債費償還(元金)					
所管課	61	財政課	(企画財政部)					
事業の目的	宇陀市が過去に発行した地方債、または、前年度発行見込額に対する償還額の適正な管理を行う。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	11	公債費	
					項	1	公債費	
目	1	元金						
細目	1	元金						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第6章 第4節 行財政改革の推進							
H26年度事業の概要	(千円)				財源の内訳 (単位:千円)			
		元金			分担金			
	旧 大 宇 陀	358,767		使用料				
	旧 菟 田 野	276,758		国 費				
	旧 榛 原	584,962		県 費				
	旧 室 生	502,729		市 債				
	宇 陀 市	1,277,801		その他	28,300			
	計	3,001,017		一般財源	2,972,717			
事業の成果	当該年度発行額を年間償還額以下に抑制しているため年々減少している。					H26予算額	A	3,001,017
						H25当初予算額	B	3,051,388
						H25現計予算額		3,051,388
						増減額	A-B	▲ 50,371
						事業のコスト		
決算額又は決算見込額(千円)			3,069,914	3,051,388	減債基金 28,300千円			
従事職員数【人工】			0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)			1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)			3,071,514	3,052,988				
活動指標名			市民一人当たりの償還額					
活動指標の算式			償還元金/国勢調査人口					
活動指標の実績			34,227	単位	人	34,227	単位	人
単位当たりコスト(円)			89,740			89,198		
事業の目標	平成28年度で32億円(元利合計)を目指す。					備考	<予算案のポイント>	
							【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (2)歳出面からの改革改善の取り組み	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公債費償還(利子)																								
所管課	61	財政課	(企画財政部)																								
事業の目的	宇陀市が過去に発行した地方債、または、前年度発行見込額に対する償還額の適正な管理を行う。				宇陀市一般会計予算																						
					区分	No.	区分名																				
					款	11	公債費																				
					項	1	公債費																				
目	2	利子																									
細目	1	利子																									
根拠条例等																											
総合計画	基本計画 第6章 第4節 行財政改革の推進																										
H26年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(千円)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">利子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧大宇陀</td> <td>33,821</td> </tr> <tr> <td>旧菟田野</td> <td>30,082</td> </tr> <tr> <td>旧榛原</td> <td>55,005</td> </tr> <tr> <td>旧室生</td> <td>39,536</td> </tr> <tr> <td>宇陀市</td> <td>182,189</td> </tr> <tr> <td>据置利子</td> <td>70,160</td> </tr> <tr> <td>一時借入金</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>繰替運用利子</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>413,793</td> </tr> </tbody> </table>			(千円)		利子		旧大宇陀	33,821	旧菟田野	30,082	旧榛原	55,005	旧室生	39,536	宇陀市	182,189	据置利子	70,160	一時借入金	1,000	繰替運用利子	2,000	計	413,793	財源の内訳 (単位:千円)	
	(千円)																										
利子																											
旧大宇陀	33,821																										
旧菟田野	30,082																										
旧榛原	55,005																										
旧室生	39,536																										
宇陀市	182,189																										
据置利子	70,160																										
一時借入金	1,000																										
繰替運用利子	2,000																										
計	413,793																										
事業の成果	当該年度発行額を年間償還額以下に抑制しているため減少傾向にある。				分担金																						
					使用料																						
					国費																						
					県費	1,887																					
					市債																						
					その他																						
					一般財源	411,906																					
					H26予算額	A 413,793																					
H25当初予算額	B 457,781																										
H25現計予算額	457,781																										
増減額	A-B ▲ 43,988																										
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況																								
決算額又は決算見込額(千円)	433,110	457,781	同和対策事業債利子補給金 1,887千円																								
従事職員数【人工】	0.20	0.20																									
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600																									
総事業費:人件費含む(千円)	434,710	459,381																									
活動指標名	市民一人当たりの償還額																										
活動指標の算式	償還利子/国勢調査人口																										
活動指標の実績	34,227.0	単位	人	34,227	単位	人																					
単位当たりコスト(円)	12,701		13,422																								
事業の目標	平成28年度で32億円(元利合計)を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (2)歳出面からの改革改善の取組み																					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計他

事業区分	継続	事業名	コンビニエンスストア収納事業					
所管課	62	税務課他	(企画財政部他)		宇陀市予算			
事業の目的	コンビニエンスストアでの市税等の収納を可能にすることにより、市民をはじめ市外・県外の納税者の皆様が、土・日曜日、祝祭日、早朝・夜間など、いつでもどこでも24時間市税等を自主納付できる環境を整備する。				区分	No.	区分名	
					款			
					項			
					目			
					細目			
根拠条例等	地方税法、宇陀市税条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上							
H26年度事業の概要	・コンビニ収納手数料 税務課分(一般会計) 60円×15,000件×1.08=972,000円 公営住宅課分(一般会計) 60円×240件×1.08=15,552円 国民健康保険事業特別会計分 60円×4,000件×1.08=259,200円 介護保険事業特別会計分 60円×1,000件×1.08=64,800円 後期高齢者医療事業特別会計分 60円×1,200件×1.08=77,760円 ・コンビニ収納に係る回線使用料 徴収対策課分(一般会計) 7,000円×12ヶ月=84,000円 水道事業特別会計(簡易水道事業特別会計及び下水道事業特別会計を含む) 60円×6,100件×1.08=395,280円				財源の内訳 (単位:千円)			
	コンビニ収納の導入により、早期納付のための利便性を高め、現年度納付の納期内納付を推進することにより、滞納を未然に防止させていくことが期待される。 また、合併前より行ってきた定期訪問徴収から自主納付を奨励し、定期的訪問徴収職員のコスト削減を図る。 水道事業(簡易水道事業及び下水道事業含む)は、平成26年度より事業開始。それ以外は、平成25年度より事業開始(平成24年度は導入費用のみ)。				分担金			
事業の成果					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,869		
				H26予算額	A	1,869		
				H25当初予算額	B	1,459		
				H25現計予算額		1,459		
				増減額	A-B	410		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		4,400	1,110					
従事職員数【人工】		0.20	0.35					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	2,800					
総事業費:人件費含む(千円)		6,000	3,910					
活動指標名		コンビニ収納件数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		0	単位	件		17,611	単位	件
単位当たりコスト(円)						222		
事業の目標	自主納付の推進と市税等の納期内納付の奨励及び徴収率のアップをめざす。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (1)歳入面からの改革改善の取り組み	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 住宅新築資金等貸付事業特別会計

事業区分	継続	事業名	住宅新築資金等貸付事業																									
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)			宇陀市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算																						
事業の目的	歴史的・社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境改善を図るため、旧町村条例に基づき貸付けを行った「住宅新築資金」「宅地取得資金」「住宅改修資金」について、貸付けを行った資金を公正で適正かつ効率的に回収すること。						区分	No.	区分名																			
							款																					
							項																					
							目																					
							細目																					
根拠条例等	奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組規約第3条																											
総合計画	基本計画 第4章 第1節 誰もが尊重される共生のまちづくり																											
H26年度事業の概要	貸付制度(新築・宅地・住宅改修)は、平成13年度で廃止されたが、その後の償還等に係る事務を行っている。公正で効率的に償還を進める為、平成17年に設立された奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合に加入し、債権回収は管理組合が行い、その会計処理を行う為、特別会計で処理している。						財源の内訳 (単位:千円)																					
	回収管理組合負担金 5,870千円 事務費 24千円 公債費(元金) 31,398千円 公債費(利子) 3,108千円						分担金																					
事業の成果	平成24年度貸付金回収状況 (単位:千円)						使用料																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現年度</th> <th colspan="2">滞納繰越</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">未済額</th> </tr> <tr> <th>調定</th> <th>収入</th> <th>調定</th> <th>収入</th> <th>調定</th> <th>収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37,432</td> <td>17,714</td> <td>534,826</td> <td>16,817</td> <td>572,258</td> <td>34,531</td> <td>513,859</td> </tr> </tbody> </table>						現年度		滞納繰越		合計		未済額	調定	収入	調定	収入	調定	収入	37,432	17,714	534,826	16,817	572,258	34,531	513,859	国費	
	現年度		滞納繰越		合計		未済額																					
	調定	収入	調定	収入	調定	収入																						
	37,432	17,714	534,826	16,817	572,258	34,531	513,859																					
							県費	1																				
							市債	.																				
							その他	40,399																				
							一般財源																					
							H26予算額	A 40,400																				
						H25当初予算額	B 42,100																					
						H25現計予算額	413,254																					
						増減額	A-B ▲ 1,700																					
事業のコスト		平成24年度(実績)		平成25年度(見込)		特定財源の状況																						
決算額又は決算見込額(千円)		427,446		407,257		償還推進費補助金 1千円																						
従事職員数【人工】		0.30		0.30		一般会計繰入金 5,870千円																						
人件費(人工×8,000千円)		2,400		2,400		回収管理組合返戻金 34,529千円																						
総事業費:人件費含む(千円)		429,846		409,657																								
活動指標名		住宅新築資金等貸付金残債残高																										
活動指標の算式		—																										
活動指標の実績		655,090	単位 千円	607,947	単位 千円																							
単位当たりコスト(円)		656		674																								
事業の目標	奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合と連携を取りながら、効率的な償還を推進する。						備考																					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 営霊苑事業特別会計

事業区分	継続	事業名	霊苑事業				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市営霊苑事業特別会計予算		
事業の目的	宇陀市赤人霊苑は、昭和57年4月に開苑以後、平成15年に拡張工事を行い、全体で1,103区画、4,128聖地の永代使用の公募を行っている。 赤人霊苑は、墓地にとって最も重要な永続性が保証され、永代使用料や年間管理費が比較的安く、使用者が安心して利用できるよう霊苑の運営を行う。				区分	No.	区分名
					款		
					項		
					目		
					細目		
根拠条例等	宇陀市営霊苑条例						
総合計画	基本計画 第1章 第2節 生活環境の整備						
H26年度事業の概要	霊苑の使用者が増加するような啓発活動を行い、利用者が安心して使用できるように、墓地の適正な管理及び周辺の清掃等環境美化を促進する。 職員給与等.....9,500千円 需用費.....437千円 役務費..... 166千円 委託料.....603千円 使用料及び賃借料..... 5千円 積立金.....169千円 償還金及び利子及び割引料.....920千円 予備費.....500千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度末において使用区画数は、865区画であり約78%の使用率となっている。				使用料	4,896	
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	168	
					一般財源	7,236	
					H26予算額	A 12,300	
					H25当初予算額	B 28,421	
H25現計予算額	28,421						
増減額	A-B ▲ 16,121						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	16,650	23,382					
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)	16,650	23,382					
活動指標名	使用区画数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	869	単位	区画	865		単位	区画
単位当たりコスト(円)	19,160			27,031			
事業の目標	墓地使用者の立場になって管理運営を行い、安心して気持ちよく使用できる霊苑運営を行う。そして、啓発活動を通じて使用率の向上を目指す。					備考	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 土地取得事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市土地取得事業特別会計
------	----	-----	----------------------

所管課	45	管財課	(総務部)	宇陀市土地取得事業特別会計予算
-----	----	-----	-------	-----------------

事業の目的	土地取得事業特別会計は、宇陀市土地開発公社の健全化計画に基づき、計画的に公社の先行取得土地の買い戻しを行い、市土地開発公社の経営を健全化することを目的として平成19年6月に設置。			区分	No.	区分名
	款	1	公債費	項	1	公債費
	目			目		
	細目			細目		

根拠条例等	宇陀市特別会計設置条例
総合計画	

H26年度事業の概要	平成26年度償還額 (千円)						財源の内訳 (単位:千円)			
	用地名	所在	借入年度	元金	利息	合計	分担金			
	幼稚園用地	橋原 長峯	H19	12,636	1,157	13,793	使用料			
	駐車場用地	橋原 下井足	H19	35,100	3,213	38,313	国費			
	多目的駐車場用地(2)	菟田野 松井	H20	0	627	627	県費			
	総合運動公園駐車場等整備事業用地	室生 大野	H20	0	3,697	3,697	市債			
	観光駐車場整備事業用地(1)	大宇陀 下竹・春日	H20	0	1,376	1,376	その他	106,000		
	観光駐車場整備事業用地(2)	大宇陀 下竹	H20	0	714	714	一般財源			
	保健福祉医療ゾーン用地	橋原 萩原元萩原	H21	43,350	4,129	47,479	H26予算額	A 106,000		
	一時借入金利息	-	-	-	1	1	H25当初予算額	B 108,400		
※H20年度借入分については最終年度で元金を償還						91,086	14,914	106,000	H25現計予算額	142,657
							増減額	A-B ▲ 2,400		

事業の成果	土地取得事業特別会計						公社保有地	
	土地取得			土地売却				
	年度	用地(件)	金額(千円)	用地(件)	金額(千円)	用地(件)	金額(千円)	
	H18					17	1,679,702	
	H19	4	595,456			13	1,091,342	
	H20	5	372,873			8	713,264	
	H21	1	346,807			5	286,584	
	H22			1	132,061	2	34,356	
	H23			1	81,351			
	H24					3	45,903	
H25			1	34,257	2	34,356		

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	88,194	142,657	一般会計繰入金 106,000千円	
従事職員数【人工】	0.20	0.20		
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600		
総事業費:人件費含む(千円)	89,794	144,257		
活動指標名	人口(国勢調査人口)			
活動指標の算式	-			
活動指標の実績	34,227	単位 人	34,227	単位 人
単位当たりコスト(円)	2,623		4,215	

事業の目標	市土地開発公社健全化計画の用地買戻しに対する国の財政支援はH22年度で終了した。一部保有地を残したが土地開発公社の経営健全化に所期の成果を上げた。 今後は、土地取得時に借り入れた公共用地先行取得事業債の償還と保有土地を売却する。	備考
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	療養諸費給付事業																																		
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算																																
事業の目的	国民健康保険被保険者が安心して疾病・負傷により医療行為を受けられ、適切に保険給付を行うことを目的とする。				区分 No. 区分名																																
	款	2	保険給付費																																		
	項	1	療養諸費																																		
	目 細目																																				
根拠条例等	国民健康保険法、宇陀市国民健康保険条例																																				
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																																				
H26年度事業の概要	国保連合会からの請求に基づき、国保被保険者の入院、入院外、調剤、歯科、食事療養等に係る費用から一部負担金を除いた概ね7割を療養給付費として支払うとともに、その審査支払いに係る手数料を支払う。また、柔道整復施術、補装具等の購入に係る費用の一部を支給する。 ・一般被保険者療養給付費・・・2,244,872千円 ・一般被保険者療養費・・・26,981千円 ・退職被保険者等療養給付費・・・276,808千円 ・退職被保険者等療養費・・・2,611千円 ・審査支払手数料・・・8,238千円				財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 502,398 県費 96,481 市債 その他 1,470,775 一般財源 489,856 H26予算額 A 2,559,510 H25当初予算額 B 2,582,712 H25現計予算額 2,582,712 増減額 A-B ▲ 23,202																																
	事業の成果	医療費のうち概ね7割を保険給付費として保険者が負担することにより、国民健康保険加入者が安心して医療を受けられるようになった。																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">被平均数</td> <td>一般</td> <td>9,946</td> <td>9,769</td> <td>9,750</td> </tr> <tr> <td>退職等</td> <td>1,015</td> <td>1,065</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>10,961</td> <td>10,834</td> <td>10,700</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">の1 給人 付あ った 費等</td> <td>一般被保険者療養給付費</td> <td>225,611</td> <td>226,164</td> <td>232,214</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費</td> <td>2,832</td> <td>3,137</td> <td>2,950</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養給付費</td> <td>229,417</td> <td>234,085</td> <td>259,701</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養費</td> <td>3,411</td> <td>3,191</td> <td>3,044</td> </tr> </tbody> </table>				H23	H24	H25(見込)	被平均数	一般	9,946	9,769	9,750	退職等	1,015	1,065	950	計		10,961	10,834	10,700	の1 給人 付あ った 費等	一般被保険者療養給付費	225,611	226,164	232,214	一般被保険者療養費	2,832	3,137	2,950	退職被保険者等療養給付費	229,417	234,085	259,701	退職被保険者等療養費	3,411	3,191	3,044
		H23	H24	H25(見込)																																	
被平均数	一般	9,946	9,769	9,750																																	
	退職等	1,015	1,065	950																																	
計		10,961	10,834	10,700																																	
の1 給人 付あ った 費等	一般被保険者療養給付費	225,611	226,164	232,214																																	
	一般被保険者療養費	2,832	3,137	2,950																																	
	退職被保険者等療養給付費	229,417	234,085	259,701																																	
	退職被保険者等療養費	3,411	3,191	3,044																																	
事業のコスト	平成24年度(実績)		平成25年度(見込)		特定財源の状況																																
決算額又は決算見込額(千円)	2,500,820		2,550,512		療養給付費等負担金 356,440千円																																
従事職員数【人工】	0.88		0.88		財政調整交付金(国) 145,958千円																																
人件費(人工×8,000千円)	7,040		7,040		財政調整交付金(県) 96,481千円																																
総事業費:人件費含む(千円)	2,507,860		2,557,552		前期高齢者交付金(支払基金) 1,095,680千円																																
活動指標名	被保険者数				療養給付費等交付金(支払基金) 278,757千円																																
活動指標の算式	-				一般会計繰入金 92,688千円																																
活動指標の実績	10,834	単位 人	10,700	単位 人	諸収入等(第三者納付金等) 3,650千円																																
単位当たりコスト(円)	231,481		239,024																																		
事業の目標	国民健康保険制度は医療保険制度の最後の砦であり、誰もが安心して医療が受けられ、健康で生き生きとした社会の実現をめざす。				備考																																

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	高額療養費支払事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算		
事業の目的	国民健康保険の加入者が高額な医療費を支払った場合に、その経済的負担を軽減するために負担限度額を超えた金額を支払う。				区分 No.:	区分名	
					款	2	保険給付費
					項	2	高額療養費
					目		
細目							
根拠条例等	国民健康保険法						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	高額療養費は、高額医療に該当した国保加入者に対して通知し、申請があった者に対して1ヶ月の負担限度額を超えて支払った金額を支給する。また、高額介護合算療養費は、介護保険を受けている方が介護と医療で年間負担額を超えて支払った場合に支給するもので、国保連合会からの対象者リストに基づき通知し、申請のあった者に支払う。 ・一般高額療養費……273,493千円 ・一般介護合算療養費……274千円 ・退職高額療養費……44,972千円 ・退職介護合算療養費……45千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	高額療養費は、高額な自己負担を軽減するもので、加入者が安心して医療にかかれるように支援することによって、早期検査治療をしやすくするもので、重症化する前の治療によって将来的な医療費の抑制に繋げられる。 ○1人あたり的高額療養費(介護合算療養費込み)				使用料		
					国費	59,087	
					県費	11,627	
					市債		
					その他	247,963	
					一般財源	107	
					H26予算額	A 318,784	
					H25当初予算額	B 340,717	
					H25現計予算額	340,717	
					増減額	A-B ▲ 21,933	
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	318,535	313,493		療養給付費等負担金(国) 42,940千円			
従事職員数【人工】	0.85	0.85		財政調整交付金(国) 16,147千円			
人件費(人工×8,000千円)	6,800	6,800		財政調整交付金(県) 11,627千円			
総事業費:人件費含む(千円)	325,335	320,293		療養給付費等交付金(支払基金) 44,910千円			
活動指標名	被保険者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	10,834	単位	人	10,700	単位	人	
単位当たりコスト(円)	30,029		29,934				
事業の目標					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	出産育児諸費支払事業	
------	----	-----	-------------------	--

所管課	101	保険年金課	(市民環境部)	宇陀市国民健康保険事業特別会計予算
-----	-----	-------	---------	-------------------

事業の目的	国民健康保険被保険者の出産に際し、その費用の一部を助成することで経済的負担を軽減する。			区分	No.	区分名
	款	2	保険給付費	項	4	出産育児諸費
	目			細目		

根拠条例等	国民健康保険法、宇陀市国民健康保険条例			
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち			

H26年度事業の概要	1児につき42万円(産科医療保障制度加入医療機関でない場合は、39万円)を、直接支払制度利用者分は国保連合会に(併せて審査支払手数料を支払う。)、直接支払制度未利用者分または直接支払制度利用者のうち出産費用が42万円(産科医療保障制度に未加入の医療機関の場合は39万円)に満たなかった分(差額分)を申請者に支払う。 <平成26年度予算> ・出産育児一時金……13,860千円(42万円×33人) ・出産育児一時金支払手数料…8千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の成果	出産時の多額の経済的負担を助成することで、安心して産める環境づくりが出来た。 <支払件数> 平成22年度……33件 平成23年度……34件 平成24年度……36件 平成25年度(見込)……34件		分担金
			使用料	
		国費		
		県費		
		市債		
		その他	9,240	
		一般財源	4,628	
		H26予算額	A	13,868
		H25当初予算額	B	14,288
		H25現計予算額		14,288
		増減額	A-B	▲ 420

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	15,068	14,288	一般会計繰入金 9,240千円	
従事職員数【人工】	0.14	0.14		
人件費(人工×8,000千円)	1,120	1,120		
総事業費:人件費含む(千円)	16,188	15,408		
活動指標名	被保険者数			
活動指標の算式	—			
活動指標の実績	10,834	単位	人	10,700
単位当たりコスト(円)	1,494	単位	人	1,440

事業の目標		備考	
-------	--	----	--

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	葬祭費支払事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算		
事業の目的	国民健康保健被保険者が死亡した場合に、葬祭費を支給することで、葬儀を執り行った方の費用軽減を図る。				区分 No.	区分名	
					款	2	保険給付費
					項	5	葬祭諸費
					目		
細目							
根拠条例等	国民健康保険法、宇陀市国民健康保険条例						
総合計画							
H26年度事業の概要	国民健康保険被保険者の方が死亡した場合、申請によって葬儀を行った方に葬祭費として3万円を支給する。 <平成26年度予算> @30,000円×7.5人×12月=2,700,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	○葬祭費支払件数 平成22年度・・・64件 平成23年度・・・75件 平成24年度・・・66件 平成25年度(見込)・・・67件				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,700	
					H26予算額	A 2,700	
					H25当初予算額	B 2,520	
H25現計予算額	2,520						
増減額	A-B 180						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	1,980	2,010					
従事職員数【人工】	0.38	0.38					
人件費(人工×8,000千円)	3,040	3,040					
総事業費:人件費含む(千円)	5,020	5,050					
活動指標名	被保険者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	10,834	10,700					
単位当たりコスト(円)	463	472					
事業の目標						備考	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	後期高齢者支援金事業
------	----	-----	-------------------

所管課	101	保険年金課 (市民環境部)	宇陀市国民健康保険事業特別会計予算
-----	-----	---------------	-------------------

事業の目的	後期高齢者医療制度の安定的な運営のため、国民健康保険など現役世代の保険者が一定の財政支援を行う。		区分 No.	区分名
	款	3	後期高齢者支援金等	
	項	1	後期高齢者支援金等	
	目			
	細目			

根拠条例等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律		
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実		

H26年度事業の概要	75歳以上の方などを対象とした後期高齢者医療制度においては、医療給付費のうち、約10%を後期高齢者の方の保険料で賄い、残りの1/2を現役世代の保険者が支払基金を通じて、それぞれの被保険者数に応じて負担する。なお、基金への支払額はその年度の概算額に前々年度の精算額を加減して支払う。また、支援金の支払事務処理に関する費用も支払基金に支払う。 ・H26年度支援額(H26年度概算額+H24年度精算額) 591,398,248円-14,083,188円=577,316千円 ・H26年度事務手数料 44千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の成果	後期高齢者医療制度に財政的支援をすることで、後期高齢者医療制度の継続的な運営に寄与している。 ■支出状況 平成22年度 435,794千円(支援金)+58千円(事務費) 平成23年度 485,086千円(支援金)+48千円(事務費) 平成24年度 535,001千円(支援金)+41千円(事務費) 平成25年度(見込) 558,325千円(支援金)+46千円(事務費)		分担金
使用料				
国費		233,955		
県費		45,774		
市債				
その他		219,464		
一般財源		78,167		
H26予算額		A	577,360	
H25当初予算額	B	560,539		
H25現計予算額		560,539		
増減額	A-B	16,821		

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	535,042	558,371	療養給付費等負担金(国) 162,751千円	
従事職員数【人工】	0.02	0.02	財政調整交付金(国) 71,204千円	
人件費(人工×8,000千円)	160	160	財政調整交付金(県) 45,774千円	
総事業費:人件費含む(千円)	535,202	558,531	療養給付費等交付金(支払基金) 50,000千円	
活動指標名	被保険者数			前期高齢者交付金 132,033千円
活動指標の算式	—			一般会計繰入金 37,431千円
活動指標の実績	10,834	単位 人	10,700	単位 人
単位当たりコスト (円)	49,400		52,199	

事業の目標		備考	
-------	--	----	--

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護納付金				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算		
事業の目的	国保に加入している介護保険第2号被保険者に係る介護納付金を社会保険診療報酬支払基金に支払うことで、介護保険制度の安定的な運営と社会保障制度の維持を図る。				区分 No.	区分名	
					款	6	介護納付金
					項	1	介護納付金
					目		
細目							
根拠条例等	国民健康保険法、介護保険法						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	国民健康保険被保険者で介護保険第2号被保険者(40歳～64歳)に係る保険料分として社会保険診療報酬支払基金へ毎月拠出金を納付する。なお、本納付金は、国民健康保険税に加え、国・県支出金等を財源としている。 平成26年度納付額＝平成26年度概算額＋平成24年度精算額 270,219,109円－6,517,918円＝263,702千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	■支出状況 平成22年度 202,214,304円 平成23年度 219,028,439円 平成24年度 239,490,916円 平成25年度見込 234,069,441円				分担金	
使用料							
国費		123,648					
県費		23,184					
市債							
その他		12,202					
一般財源		104,668					
H26予算額		A 263,702					
H25当初予算額	B 256,457						
H25現計予算額	256,457						
増減額	A-B 7,245						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	239,491	234,070	療養給付費等負担金(国) 82,432千円				
従事職員数【人工】	0.02	0.02	財政調整交付金(国) 41,216千円				
人件費(人工×8,000千円)	160	160	財政調整交付金(県) 23,184千円				
総事業費:人件費含む(千円)	239,651	234,230	一般会計繰入金 12,202千円				
活動指標名	介護保険第2号被保険者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	4,008	単位 人	3,960	単位 人			
単位当たりコスト(円)	59,793		59,149				
事業の目標					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	共同事業拠出金																																											
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算																																									
事業の目的	高額な医療費の発生が市町村の国保財政に与える影響を緩和し、市町村間の財政の平準化、保険財政の安定化を図るため、県内市町村が一定の割合により国保連合会へ拠出し合い、高額な医療費が発生した市町村に一定の割合で交付される再保険制度である。				区分	No.	区分名																																							
					款	7	共同事業拠出金																																							
					項	1	共同事業拠出金																																							
					目																																									
細目																																														
根拠条例等	国民健康保険法																																													
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																																													
H26年度事業の概要	拠出金には一般被保険者の1件80万円以上の医療費に対応する高額医療共同事業拠出金と、20万円以上80万円までの医療費に対応する保険財政共同安定化事業拠出金がある。また、退職被保険者なのに一般被保険者となっている方に保険証区分変更手続きを案内するために、国保連合会に「年金受給者リスト」の打ち出し費用を支払っている。 ・高額医療費共同事業拠出金 118,591千円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 381,605千円 ・その他の共同事業(年金リスト分) 2千円				財源の内訳 (単位:千円)																																									
					分担金																																									
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高額共同事業事業拠出金</td> <td>94,442,807</td> <td>112,691,038</td> <td>114,104,769</td> </tr> <tr> <td>保険財政共同事業拠出金</td> <td>353,170,724</td> <td>387,025,369</td> <td>388,762,744</td> </tr> <tr> <td>その他の共同事業</td> <td>1,600</td> <td>1,152</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高額拠出金国庫負担金</td> <td>23,610,701</td> <td>28,172,759</td> <td>28,526,192</td> </tr> <tr> <td>高額拠出金県費負担金</td> <td>23,610,701</td> <td>28,172,759</td> <td>28,526,192</td> </tr> <tr> <td>高額共同事業交付金</td> <td>96,126,352</td> <td>83,029,618</td> <td>80,920,000</td> </tr> <tr> <td>保険財政共同事業交付金</td> <td>363,333,516</td> <td>384,752,696</td> <td>368,007,000</td> </tr> </tbody> </table>					H23	H24	H25(見込)	歳出				高額共同事業事業拠出金	94,442,807	112,691,038	114,104,769	保険財政共同事業拠出金	353,170,724	387,025,369	388,762,744	その他の共同事業	1,600	1,152	1,300	歳入				高額拠出金国庫負担金	23,610,701	28,172,759	28,526,192	高額拠出金県費負担金	23,610,701	28,172,759	28,526,192	高額共同事業交付金	96,126,352	83,029,618	80,920,000	保険財政共同事業交付金	363,333,516	384,752,696	368,007,000	使用料	
						H23	H24	H25(見込)																																						
					歳出																																									
					高額共同事業事業拠出金	94,442,807	112,691,038	114,104,769																																						
					保険財政共同事業拠出金	353,170,724	387,025,369	388,762,744																																						
					その他の共同事業	1,600	1,152	1,300																																						
					歳入																																									
					高額拠出金国庫負担金	23,610,701	28,172,759	28,526,192																																						
					高額拠出金県費負担金	23,610,701	28,172,759	28,526,192																																						
					高額共同事業交付金	96,126,352	83,029,618	80,920,000																																						
保険財政共同事業交付金	363,333,516	384,752,696	368,007,000																																											
国費		29,647																																												
県費		29,647																																												
市債																																														
その他		298,670																																												
一般財源		142,234																																												
H26予算額	A	500,198																																												
H25当初予算額	B	500,197																																												
H25現計予算額		500,197																																												
増減額	A-B	1																																												
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況																																											
決算額又は決算見込額(千円)	499,719	502,870	高額医療費共同事業負担金(国) 29,647千円																																											
従事職員数【人工】	0.07	0.07	高額医療費共同事業負担金(県) 29,647千円																																											
人件費(人工×8,000千円)	560	560	高額医療費共同事業交付金(国保連) 25,491千円																																											
総事業費:人件費含む(千円)	500,279	503,430	保険財政共同安定化事業交付金(国保連) 273,177千円																																											
活動指標名	被保険者数																																													
活動指標の算式	—																																													
活動指標の実績	9,769	単位 人	9,750	単位 人	一般会計繰入金 2千円																																									
単位当たりコスト(円)	51,211		51,634																																											
事業の目標					備考																																									

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	保健事業費																																												
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算																																										
事業の目的	病気の早期発見・早期治療や医療レセプトの再点検、また、運動習慣を身につけることで、健康の保持増進、医療費の適正化・削減を図り、健全な国保運営に資することを目的とする。				区分	No.	区分名																																								
					款	8	保健事業費																																								
					項	1	保健事業費																																								
					目																																										
細目																																															
根拠条例等																																															
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																																														
H26年度事業の概要	◆平成26年度の主な事業 ・人間ドック・脳ドック助成事業 6,171千円 ・ジェネリック薬品差額通知・希望カード作成 363千円 ・医療レセプトの点検 2,308千円 ・医療費通知 2,208千円 ・結核・精神レセ調査(新規) 1,000千円 ・うだ体操リニューアル(新規) 318千円 ・健康チェック事業(新規) 103千円 ・その他運動教室委託事業等 4,511千円				財源の内訳 (単位:千円)																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック受診者数</td> <td>148</td> <td>154</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>脳ドック受診者数</td> <td>72</td> <td>78</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>医療費通知件数(年6回)</td> <td>28,885</td> <td>28,543</td> <td>28,474</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック差額通知件数</td> <td>124</td> <td>833</td> <td>2,359</td> </tr> </tbody> </table>					H23	H24	H25(見込)	人間ドック受診者数	148	154	150	脳ドック受診者数	72	78	80	医療費通知件数(年6回)	28,885	28,543	28,474	ジェネリック差額通知件数	124	833	2,359	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td>2,215</td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td>6,824</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,486</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,457</td> </tr> <tr> <td>H26予算額</td> <td>A 16,982</td> </tr> <tr> <td>H25当初予算額</td> <td>B 16,952</td> </tr> <tr> <td>H25現計予算額</td> <td>16,952</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>A-B 30</td> </tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費	2,215	県費	6,824	市債		その他	1,486	一般財源	6,457	H26予算額	A 16,982	H25当初予算額	B 16,952	H25現計予算額	16,952	増減額
	H23	H24	H25(見込)																																												
人間ドック受診者数	148	154	150																																												
脳ドック受診者数	72	78	80																																												
医療費通知件数(年6回)	28,885	28,543	28,474																																												
ジェネリック差額通知件数	124	833	2,359																																												
分担金																																															
使用料																																															
国費	2,215																																														
県費	6,824																																														
市債																																															
その他	1,486																																														
一般財源	6,457																																														
H26予算額	A 16,982																																														
H25当初予算額	B 16,952																																														
H25現計予算額	16,952																																														
増減額	A-B 30																																														
事業の成果	事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況																																										
	決算額又は決算見込額(千円)		10,624	11,954																																											
	従事職員数【人工】		0.02	0.02																																											
	人件費(人工×8,000千円)		160	160																																											
	総事業費:人件費含む(千円)		10,784	12,114																																											
	活動指標名	被保険者数																																													
	活動指標の算式	—																																													
	活動指標の実績	10,834	単位 人	10,700		単位 人																																									
単位当たりコスト(円)	995		1,132																																												
事業の目標	医療費の抑制・適正化を図るとともに、生活習慣病の予防と健康で明るい社会を実現する。				備考																																										

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	特定健康診査・特定保健指導事業			
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)			
宇陀市国民健康保険事業特別会計予算						
事業の目的	健康診査の実施により、メタボリックシンドローム該当者及びその予備群を早期に発見し、保健指導を行うことで、生活習慣病を予防し、将来的な医療費の適正化と抑制を図ることを目的とする。			区分	No.	
				区分名		
				款	8	保健事業費
				項	2	特定健康診査等事業費
目						
細目						
根拠条例等	高齢者の医療の確保に関する法律					
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進					
H26年度事業の概要	保健センターでの集団健診を中心に、健診受診率の向上を目指し、下記の施策を遂行する。 ・電話や文書による受診勧奨 ・節目年齢無料健診 ・歯周病検診の実施 ・さらかとヘルシー教室の実施 ・お早め健診(35歳～39歳) ・運動教室利用助成(新規)			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果				使用料		
				国費	3,717	
				県費	13,873	
				市債		
				その他	2,132	
				一般財源	4,248	
				H26予算額	A 23,970	
				H25当初予算額	B 21,185	
				H25現計予算額	21,185	
				増減額	A-B 2,785	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)			
決算額又は決算見込額(千円)		32,266	18,166			
従事職員数【人工】		1.96	1.96			
人件費(人工×8,000千円)		15,680	15,680			
総事業費:人件費含む(千円)		47,946	33,846			
活動指標名	被保険者数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	10,834	単位 人	10,700	単位 人		
単位当たりコスト(円)	4,426		3,163			
事業の目標						
備考						

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計

事業区分	新規	事業名	大人のための運動教室利用助成事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計予算		
事業の目的	保健指導要支援者などに、運動教室に参加する費用を助成することで、経済的負担を軽減し、運動教室に参加しやすい環境づくりを図り、保健指導の効果を高めることができる。				区分 No.	区分名	
					款	8	保健事業費
					項	2	特定健康診査等事業費
					目	1	特定健康診査等事業費
細目	2	特定保健指導費					
根拠条例等	高齢者の医療の確保に関する法律						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	大人のための運動教室に参加して健康づくりをした場合に、その利用費を助成する。 特定健診受診者：月1,000円を助成 要保健指導対象者：利用額の全額(月3,000円)を助成				財源の内訳 (単位：千円)		
					分担金		
事業の成果	使用料						
	国費						
	県費	792					
	市債						
	その他						
	一般財源						
	H26予算額	A 792					
	H25当初予算額	B					
H25現計予算額							
増減額	A-B 792						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	\diagdown						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費：人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びを抑制する。				備考		
	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業						

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 国民健康保険事業特別会計(直診)

事業区分	継続	事業名	宇陀市国民健康保険直営診療所事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市国民健康保険事業特別会計(直診)予算		
事業の目的	国民健康保険法の規定に基づき、国民健康保険の被保険者等住民に対し療養の給付を行うため、宇陀市国民健康保険直営診療所を設置する。 過疎化・高齢化が進む医療過疎地域であり、交通の便も悪く総合的な診療を行う宇陀市立病院に行くにも不便であるため、へき地診療所において一次診療をおこない、早期に病気の原因を見極めて、高度な医療が必要な場合は、宇陀市立病院と連携を図り、早期治療が出来るよう医療体制の充実を促進する。 また、往診等を行う事により、在宅医療の充実を図る。				区分 No.	区分名	
					款		
					項		
					目		
細目							
根拠条例等	宇陀市国民健康保険直営診療所条例・宇陀市国民健康保険直営診療所管理運営規則						
総合計画	基本計画 第2章第2節 地域医療の充実						
H26年度事業の概要	単位:千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	歳入		歳出		分担金		
	診療収入	120,380	総務費	72,950	使用料		
	使用料及び手数料	700	医療費	75,788	国費		
	県支出金	344	公債費	1,253	県費		
	繰入金	25,953	予備費	209	市債		
	繰越金	1			その他		
諸収入	2,822			一般財源			
計	150,200	計	150,200	H26予算額 A	150,200		
事業の成果	H24		H23		H25	当初予算額 B	159,000
	診療収入	106,009,736 円	112,755,822 円	H25	現計予算額	159,000	
	使用料及び手数料	503,662 円	646,960 円	増減額	A-B	▲ 8,800	
	諸収入(除補助金等は除く)	25,106,608 円	27,463,966 円				
	その他	14,165,476 円	4,135,879 円				
	歳入合計	145,785,482 円	145,002,627 円				
	総務費	70,038,019 円	67,511,835 円				
	医療費	74,285,298 円	73,155,052 円				
	公債費	1,190,608 円	1,190,608 円				
	予備費	0 円	0 円				
歳出合計	145,513,925 円	141,857,495 円					
差引	271,557 円	3,145,132 円					
患者数(東里)	4,300 人	4,343 人					
患者数(田口)	3,930 人	4,114 人					
計	8,230 人	8,457 人					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	145,514	159,000	奈良県へき地医療対策費補助金 344千円				
従事職員数【人工】			一般会計繰入金 15,453千円				
人件費(人工×8,000千円)			長寿社会ソフト事業交付金 564千円				
総事業費:人件費含む(千円)	145,514	159,000					
活動指標名	患者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	8,700	単位 人	8,700	単位 人			
単位当たりコスト(円)	16,726		18,276				
事業の目標	医療過疎地域における医療体制の充実 高齢社会における安心・安全の地域づくりの推進				備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	認定事務費				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市介護保険事業特別会計予算		
事業の目的	介護保険の認定申請を行ったものに対し、訪問員等による訪問調査と調査票の作成、主治医意見書の作成依頼を行い、介護認定審査会(桜井宇陀広域連合)への判定依頼を行う。介護認定審査会で判定するために必要な資料を作成し、迅速・適正な介護認定を行う。				区分 No.	区分名	
					款	1	総務費
					項	3	介護認定審査会費
					目		
細目							
根拠条例等	介護保険法						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	・平成26年度予算積算概要 広域連合関係負担金 16,089千円 需用費 554千円 役務費(主治医意見書等) 12,950千円 委託料 5,288千円 公課費 8千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	調査の情報提供が円滑・適正に行われるよう介護認定審査会に至るまでの業務を迅速に行う。				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	34,889	
					一般財源		
					H26予算額 A	34,889	
				H25当初予算額 B	34,340		
				H25現計予算額	34,340		
				増減額 A-B	549		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		36,939	34,340		一般会計繰入金 34,889千円		
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		40,139	37,540				
活動指標名		申請者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		2,700	単位	人	2,440	単位	人
単位当たりコスト(円)		14,866			15,385		
事業の目標	介護保険運営の効率化・適正化に努める。				備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護保険給付事業																																					
所管課	127	介護福祉課 (健康福祉部)	宇陀市介護保険事業特別会計予算																																					
事業の目的	介護認定を受けた方が、自立した生活を営むことができるよう、必要な介護サービスを利用した際に係る費用の9割を市町村が負担し、生活の向上・福祉の増進を図る。			区分	No.	区分名																																		
				款	2	保険給付費																																		
				項																																				
				目																																				
細目																																								
根拠条例等	介護保険法																																							
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち																																							
H26年度事業の概要	・平成26年度予算積算概要			財源の内訳 (単位:千円)																																				
	<table border="1"> <tr><td>19 負担金補助及び交付金</td><td></td></tr> <tr><td>介護サービス等諸費</td><td>3,088,328</td></tr> <tr><td>介護予防サービス等費</td><td>275,008</td></tr> <tr><td>高額介護サービス費</td><td>75,007</td></tr> <tr><td>高額医療合算介護サービス費</td><td>8,123</td></tr> <tr><td>特定入所者介護サービス費</td><td>207,192</td></tr> <tr><td>その他諸費</td><td>4,127</td></tr> </table>			19 負担金補助及び交付金		介護サービス等諸費	3,088,328	介護予防サービス等費	275,008	高額介護サービス費	75,007	高額医療合算介護サービス費	8,123	特定入所者介護サービス費	207,192	その他諸費	4,127	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>878,265</td></tr> <tr><td>県費</td><td>551,197</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,517,982</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>710,341</td></tr> <tr><td>H26予算額</td><td>A 3,657,785</td></tr> <tr><td>H25当初予算額</td><td>B 3,302,352</td></tr> <tr><td>H25現計予算額</td><td>3,302,352</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>A- 355,433</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費	878,265	県費	551,197	市債		その他	1,517,982	一般財源	710,341	H26予算額	A 3,657,785	H25当初予算額	B 3,302,352	H25現計予算額	3,302,352	増減額
19 負担金補助及び交付金																																								
介護サービス等諸費	3,088,328																																							
介護予防サービス等費	275,008																																							
高額介護サービス費	75,007																																							
高額医療合算介護サービス費	8,123																																							
特定入所者介護サービス費	207,192																																							
その他諸費	4,127																																							
分担金																																								
使用料																																								
国費	878,265																																							
県費	551,197																																							
市債																																								
その他	1,517,982																																							
一般財源	710,341																																							
H26予算額	A 3,657,785																																							
H25当初予算額	B 3,302,352																																							
H25現計予算額	3,302,352																																							
増減額	A- 355,433																																							
事業の成果	介護給付費に係る介護報酬の審査を国保連合会に委託し、給付管理票のチェックなど給付の適正化を行う。																																							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																																			
決算額又は決算見込額(千円)		3,085,539	3,302,352																																					
従事職員数【人工】		2.00	2.00																																					
人件費(人工×8,000千円)		16,000	16,000																																					
総事業費:人件費含む(千円)		3,101,539	3,318,352																																					
活動指標名		認定者数																																						
活動指標の算式		-																																						
活動指標の実績		2,352	単位	人		2,284	単位	人																																
単位当たりコスト(円)		1,318,682	1,452,869																																					
事業の目標	要介護者に対する介護給付費の適正化に努める。					備考																																		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	地域支援事業					
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市介護保険事業特別会計予算			
事業の目的	高齢者が要支援・要介護になることを予防し、自立した日常生活を営めるように支援し、介護予防の普及を行う。				区分 No. 区分名			
	款	4	地域支援事業費					
	項	1	介護予防事業費					
	目							
	細目							
根拠条例等	介護保険法第115条の44							
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち							
H26年度事業の概要	・平成26年度予算積算概要 介護予防二次予防事業 14,471千円 (要介護・要支援予備軍を対象として生活機能評価や、通所型・訪問型介護予防として、運動機能向上、口腔機能向上、栄養改善を実施する。) 介護予防一次予防事業 4,744千円 (介護予防として、ぬくもりサロン、脳いきいき教室、認知症予防教室、住民グループ活動支援等を実施する。)				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	介護保険における要支援・要介護者が、介護予防事業を実施することで、住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことを支援する。				分担金		
				使用料				
				国費 4,803				
				県費 2,401				
				市債				
				その他 8,351				
				一般財源 3,660				
				H26予算額 A 19,215				
				H25当初予算額 B 19,932				
				H25現計予算額 19,932				
				増減額 A-B ▲ 717				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		18,880	19,932					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		19,680	20,732					
活動指標名		参加人数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		1,818	単位	人		2,160	単位	人
単位当たりコスト(円)		10,825	9,598					
事業の目標		二次予防、一次予防者に対する地域支援事業の適正化に努める				備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	地域支援事業(ウエルネス事業)				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市介護保険事業特別会計予算		
事業の目的	高齢者が積極的に社会参加することにより、健康増進や体力づくりのみならず、人とのふれあいを深め、快適に且つ楽しく安全に取り組める介護予防を目的とした介護予防フィットネス事業。(介護状態に陥らないようにする。)				区分 No.	区分名	
					款	4	地域支援事業費
					項	1	介護予防事業費
					目	2	一次予防事業費
細目	3	ウエルネス推進費					
根拠条例等	介護保険法						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	・平成26年度予算積算概要 フィットネス事業として、レットコードや体操・水中運動を行い健康づくりの推進を行う。 報償費 800千円 委託料 3,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	介護給付や医療費の抑制に繋がる。				分担金	
使用料							
国費		950					
県費		475					
市債							
その他		1,577					
一般財源		798					
H26予算額		A	3,800				
H25当初予算額	B	2,625					
H25現計予算額		2,625					
増減額	A-B	1,175					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 国費:地域支援事業交付金 950千円 県費:地域支援事業交付金 475千円 基金:地域支援事業交付金 1,102千円 介護予防事業繰入金 475千円		
決算額又は決算見込額(千円)		2,500					
従事職員数【人工】		0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800					
総事業費:人件費含む(千円)		3,300					
活動指標名	参加人数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	250	単位 人			
単位当たりコスト(円)		13,200					
事業の目標	要支援者に対する介護給付費の適正化に努める。					<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウエルネスシティ推進”事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	包括支援事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市介護保険事業特別会計予算		
事業の目的	地域実情に応じた相談支援やきめ細やかな情報提供を行うことや、高齢者の虐待防止や、権利擁護の推進、認知症対策の推進等、必要なサービスが提供されるようにケアマネージャが指導する。				区分	No.	区分名
					款	4	地域支援事業費
					項	2	包括的支援事業・任意事業費
					目		
細目							
根拠条例等	介護保険法第115条の45						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	・平成26年度予算積算概要 地域包括支援センター委託料 41,443千円 介護相談員派遣事業 1,298千円 配食サービス 4,200千円 家族介護用品支給事業 1,193千円 家族介護交流事業 155千円 成年後見人制度利用支援事業 925千円 給付適正化事業 607千円 住宅改修支援事業 120千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	地域包括支援センター(社会福祉協議会)に委託することにより、高齢者の生活を支援する。				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費	19,726	
					県費	9,863	
					市債		
					その他	9,863	
					一般財源	10,489	
					H26予算額	A 49,941	
					H25当初予算額	B 50,003	
				H25現計予算額	50,003		
				増減額	A-B ▲ 62		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		53,989	50,003		国費:地域支援事業交付金 19,726千円		
従事職員数【人工】		0.10	0.10		県費:地域支援事業交付金 9,863千円		
人件費(人工×8,000千円)		800	800		一般会計繰入金 9,863千円		
総事業費:人件費含む(千円)		54,789	50,803				
活動指標名		65歳以上人口					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		10,780	単位	人	10,919	単位	
単位当たりコスト(円)		5,082			4,653		
事業の目標					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等見守り支援事業(コールセンター方式)				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市介護保険事業特別会計予算		
事業の目的	ひとり暮らし高齢者の自宅に緊急通報機器を設置する事により、高齢者等の日常生活における緊急事態の発生時において速やかに救助活動を行い当該高齢者等の安全を確保するとともに、定期的な安否確認、相談など専門知識を有するオペレータによる適切な指導を行うことにより、当該高齢者等の在宅生活の支援を行いその日常生活に対する不安感の解消を図ることを目的とする				区分	No.	区分名
					款	4	地域支援事業費
					項	2	包括的支援事業・任意事業費
					目	2	任意事業費
細目	1	任意事業費					
根拠条例等	介護保険法第115条の45						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	・平成26年度予算積算概要 高齢者等見守り支援事業(センター方式) 850千円 (IP電話でも緊急通報装置対応可、24時間対応、お元気コール、相談内容や回数を月次報告)				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	安否確認と日常生活に対する不安感の解消を図る。				分担金	
				使用料			
				国費	336		
				県費	168		
				市債			
				その他	168		
				一般財源	178		
				H26予算額	A 850		
				H25当初予算額	708		
				H25現計予算額	708		
				増減額	A-B 142		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		576	708		国費:地域支援事業交付金 336千円		
従事職員数【人工】		0.10	0.10		県費:地域支援事業交付金 168千円		
人件費(人工×8,000千円)		800	800		一般会計繰入金 168千円		
総事業費:人件費含む(千円)		1,376	1,508				
活動指標名		緊急通報装置貸与数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		41	単位	件数	50	単位	件数
単位当たりコスト(円)		33,561		30,160			
事業の目標	高齢者の安否確認と日常生活の不安解消。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (5)高齢者等見守り支援事業 (コールセンター方式)	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 後期高齢者医療事業特別会計

事業区分	継続	事業名	後期高齢者医療広域連合納付金																							
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市後期高齢者医療事業特別会計予算																					
事業の目的	75歳以上(一定の障害がある場合は65歳以上)の後期高齢者の適正な医療の確保を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名																				
					款	2	後期高齢者医療広域連合納付金																			
					項	1	後期高齢者医療広域連合納付金																			
					目	1	後期高齢者医療広域連合納付金																			
細目	1	後期高齢者医療広域連合納付金																								
根拠条例等	高齢者の医療の確保に関する法律																									
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち																									
H26年度事業の概要	高齢者の医療の確保に関する法律第105条により、徴収した保険料・延滞金及び低所得者に係る保険料軽減分(一般会計より繰入。県3/4の補助あり。)、広域連合事務費負担金(一般会計より繰入)を奈良県後期高齢者医療広域連合に納付する。 <内容> ・保険料納付金……………294,459千円 ・基盤安定繰入分(保険料軽減分)納付金……………108,045千円 ・広域連合事務費負担金納付金……………17,642千円				財源の内訳 (単位:千円)																					
					分担金																					
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険料納付金</td> <td>245,751,968</td> <td>271,576,874</td> <td>277,726,754</td> </tr> <tr> <td>保険基盤安定負担金納付金</td> <td>87,654,720</td> <td>96,326,083</td> <td>97,367,000</td> </tr> <tr> <td>広域連合共通経費負担金納付金</td> <td>21,051,000</td> <td>19,117,000</td> <td>18,890,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>354,457,688</td> <td>387,019,957</td> <td>393,983,754</td> </tr> </tbody> </table> (単位:円)				内容	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	保険料納付金	245,751,968	271,576,874	277,726,754	保険基盤安定負担金納付金	87,654,720	96,326,083	97,367,000	広域連合共通経費負担金納付金	21,051,000	19,117,000	18,890,000	計	354,457,688	387,019,957	393,983,754	使用料	
					内容	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)																		
					保険料納付金	245,751,968	271,576,874	277,726,754																		
					保険基盤安定負担金納付金	87,654,720	96,326,083	97,367,000																		
					広域連合共通経費負担金納付金	21,051,000	19,117,000	18,890,000																		
					計	354,457,688	387,019,957	393,983,754																		
					国費																					
県費																										
市債																										
その他	420,146																									
一般財源																										
H26予算額		A	420,146																							
H25当初予算額		B	396,642																							
H25現計予算額			396,642																							
増減額		A-B	23,504																							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況																						
決算額又は決算見込額(千円)	387,020	393,984	徴収保険料			294,459千円																				
従事職員数【人工】	0.24	0.24	一般会計繰入金			125,687千円																				
人件費(人工×8,000千円)	1,920	1,920																								
総事業費:人件費含む(千円)	388,940	395,904																								
活動指標名	被保険者数																									
活動指標の算式	-																									
活動指標の実績	5,640	単位 人	5,750			単位 人																				
単位当たりコスト(円)	68,961		68,853																							
事業の目標						備考																				

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 後期高齢者医療事業特別会計

事業区分	継続	事業名	後期高齢者健康診査受託事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市後期高齢者医療事業特別会計予算		
事業の目的	奈良県後期高齢者医療広域連合より委託を受け、宇陀市に在住する後期高齢者の健康増進と生活習慣病の早期発見のため、健康診査事業を実施している。				区分	No.	区分名
					款	3	保健事業費
					項	1	健康保持増進事業費
					目	1	健康診査費
細目	1	健康診査費					
根拠条例等	高齢者の医療の確保に関する法律						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	○受診案内・・・がん検診の案内などと共に4月に健診案内を受診券を同封して個別通知。広報掲載なども行う。 ○受診を希望する者は、市内の医療機関で個別受診の方法で自己負担金500円を支払って受診する。 ○健診内容は、問診・身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査・医師の診察に加え、平成25年度から貧血・心電図検査も追加。 ○事業終了後、広域連合に費用請求をする。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		7,758
					一般財源		
					H26予算額	A	7,758
					H25当初予算額	B	4,514
					H25現計予算額		4,514
					増減額	A-	3,244
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		3,228	3,883		一般会計繰入金 147千円 雑入(保健事業委受託金) 7,611千円		
従事職員数【人工】		0.44	0.44				
人件費(人工×8,000千円)		3,520	3,520				
総事業費:人件費含む(千円)		6,748	7,403				
活動指標名		健診受診者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		304	単位	人	350	単位	人
単位当たりコスト(円)		22,197		21,151			
事業の目標					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	簡易水道事業(管理費全般)				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算		
事業の目的	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。給水人口12,702人(平成25年12月末)の加入者に安心・安全・安定した飲料水の供給を目指して水道施設の管理運営を行っている。				区分	No.	区分名
					款	1	総務費
					項	1	総務管理費
					目	1	総務管理費
細目	1	総務管理費					
根拠条例等	宇陀市簡易水道事業等に関する条例、宇陀市簡易水道事業給水条例						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	①賃金 2,712千円 ②需用費 53,778千円 ③役務費 14,194千円 ④委託料 17,248千円 ⑤使用料 8,414千円 ⑥原材料費 79,853千円 ⑦負担金 130,740千円 ⑧積立金 15,489千円 ⑨公課費 11,369千円 ⑩その他の費用(報酬、旅費、償還金等) 1,187千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	管理費の削減を目指して予算編成を行ったが浄水施設・機械等の修繕の増加及び県水受水費の増加が見込まれることから対前年度26,373千円増となった。				分担金		
使用料							
事業の成果					国費		
					県費	15,235	
					市債		
					その他	19,911	
					一般財源	299,838	
					H26予算額	A 334,984	
					H25当初予算額	B 306,736	
H25現計予算額	315,907						
増減額	A-B 28,248						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	297,663	315,907					
従事職員数【人工】	/		/				
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)	297,663	315,907					
活動指標名	年間総配水量						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	1,389,690	単位	m ³	1,410,523		単位	m ³
単位当たりコスト(円)	214		224				
事業の目標	今後とも安心・安全・安定した飲料水を供給するとともに経費削減を図るとともに、現在8種類の料金体系の統一を行い、一般会計からの繰入金金の減少に努める。					備考	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	菟田野松井地区下水道枝線布設工事に伴う水道管移設工事			
所管課	501	水道部総務課 (水道局)	宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	下水道課において、松井地区下水道枝線工事を実施するに伴い、水道管が支障になることから、仮設工事を行う。尚、下水道工事完了後本設工事を行い安定した上水の供給を図る。			区分	No.	区分名
				款	1	総務費
				項	2	施設整備費
				目	1	施設整備費
			細目	10	施設整備費	
根拠条例等	水道法第15条					
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備					
H26年度事業の概要	仮設工事 レンタル管Φ100 L=150m 不断水仕切弁Φ100 2基 本設工事Φ100 L=140m 給水戸数 4戸			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	仮設工事を実施することにより、工事中の断水等を未然に防ぎ安定した水の供給が図れる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他	7,000	
				一般財源		
				H26予算額	A 7,000	
				H25当初予算額	B	
H25現計予算額						
増減額	A-B 7,000					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)				施設基金繰入金 2,800千円 移設補償費 4,200千円		
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績		単位		単位		
単位当たりコスト (円)						
事業の目標	簡易水道の安定供給。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくりを目指す。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (2)水道給水区域の拡大	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	県道上笠間三本松停車場線改良工事に伴う水道管移設工事			
所管課	501	水道部総務課 (水道局)	宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	奈良県において、室生三本松地内県道上笠間三本松停車場線(三本松駅付近)の改良工事を平成24年度より実施しておりますが、平成26年度においても別工区で改良工事を実施するに当たり、市管理水道管が支障になることから工事実施前に仮設工事を行うとともに、改良工事完了後本設を行う。			区分	No.	区分名
				款	1	総務費
				項	2	施設整備費
				目	1	施設整備費
			細目	10	施設整備費	
根拠条例等	水道法第15条					
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道整備					
H26年度事業の概要	仮設工事 レンタル管 φ100 L=280m 配水管 φ100 L=200m			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	奈良県宇陀土木において行う改良工事に合わせて水道管の埋設を行う事により維持管理が容易になるとともに、安定した上水の供給が図られる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債	3,600	
				その他	3,400	
				一般財源		
				H26予算額	A 7,000	
				H25当初予算額	B 9,400	
				H25現計予算額	9,400	
増減額	A-B ▲ 2,400					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,791	3,476	移設補償費	3,400千円		
従事職員数【人工】	0.10	0.10	過疎債	1,800千円		
人件費(人工×8,000千円)	800	800	簡水債	1,800千円		
総事業費:人件費含む(千円)	5,591	4,276				
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	実施済事業費/全体事業費					
活動指標の実績	31.4	単位 %	54.1	単位 %		
単位当たりコスト (円)	178,057		79,039			
事業の目標	簡易水道の安定供給。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (2)水道給水区域の拡大	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	施設整備費(その他)			
所管課	501	水道部総務課 (水道局)	宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	簡易水道整備事業の円滑化を図る。			区分	No.	区分名
				款	1	総務費
				項	2	施設整備費
				目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費				
根拠条例等	水道法第15条					
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備					
H26年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・積算システム用パソコンリース ・奈良県簡易水道協会事業負担金 			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易水道事業を実施するにあたり、職員による設計積算を容易にし、委託料の減につながる。 ・国庫補助を円滑に受けることができる。 			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他	785	
				一般財源	343	
				H26予算額	A 1,128	
				H25当初予算額	B 975	
H25現計予算額	975					
増減額	A-B 153					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	498	499				
従事職員数【人工】	0.05	0.05				
人件費(人工×8,000千円)	400	400				
総事業費:人件費含む(千円)	898	899				
活動指標名	/					
活動指標の算式						
活動指標の実績			単位	単位		
単位当たりコスト (円)						
事業の目標	円滑な簡易水道事業の進捗			備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	公債費(元金・利子)				
所管課	501	水道部総務課 (水道局)	宇陀市簡易水道事業特別会計予算				
事業の目的	水道法に基づき宇陀市においても水道事業を実施、未普及地域解消及び施設充実のために起こした起債の償還を行っている。			区分	No.	区分名	
				款	2	公債費	
				項	1	公債費	
				目			
				細目			
根拠条例等	「宇陀市簡易水道事業等に関する条例」「宇陀市簡易水道事業給水条例」						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	【元金】			財源の内訳 (単位:千円)			
	長期起債償還金(簡易水道事業分) 209,694千円 長期起債償還金(飲料水供給事業分) 115千円 【利子】 簡易水道事業分(既借入額分) 58,414千円 簡易水道事業分(新規借入分) 5,859千円 飲料水供給事業分 5千円 一時借入金分 1千円			分担金			
事業の成果	事業費の圧縮、起債残高の減少により25年度予算より14,041千円の減額の見込み			使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	274,088		
				H26予算額	A 274,088		
				H25当初予算額	B 288,129		
H25現計予算額	288,129						
増減額	A-B ▲ 14,041						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		289,032	288,129				
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)		800	800				
総事業費:人件費含む(千円)		289,832	288,929				
活動指標名		給水人口					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		13,016 単位 人	12,702 単位 人				
単位当たりコスト (円)		22,267	22,747				
事業の目標	整備事業が償還額を上回らないよう計画的に実施し、償還金減少に努める。					備考	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	下水道総務費																																													
所管課	162	下水道課	(水道局)		宇陀市下水道事業特別会計予算																																											
事業の目的	●下水道展開催 下水道のしくみや役割を知ってもらうため、市内小中学校に夏休みの課題として作品を募集宇陀川浄化センターと協力し応募された作品を展示する。 ●宇陀川流域下水道建設負担金 奈良県が行う、国庫補助事業の補助裏負担分と、県単独事業の合計額のうち1/8を宇陀市が負担する。				区分	No.	区分名																																									
	款	1	下水道費																																													
	項	1	下水道費																																													
	目	1	下水道総務費																																													
細目	1	下水道総務費																																														
根拠条例等	下水道法31条の2(市町村の負担金)																																															
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備																																															
H26年度事業の概要	主な事業 職員人件費(1名分) 9,439千円 下水道展開催経費 60千円 宇陀川流域下水道建設負担金 42,050千円 委託料(夜間当直・複合機保守点検) 1,070千円 水道局庁舎電気代 494千円 旅費(流域下水道移管関係) 90千円 日本下水道協会等負担金 178千円 その他 1,600千円				財源の内訳 (単位:千円)																																											
					分担金																																											
事業の成果	●下水道展示作品内訳				使用料	11,421																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポスター</td> <td>23</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>習字</td> <td>476</td> <td>525</td> <td>478</td> <td>329</td> <td>366</td> </tr> <tr> <td>標語</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>作文</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>500</td> <td>538</td> <td>488</td> <td>340</td> <td>376</td> </tr> </tbody> </table>					21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	ポスター	23	8	9	7	8	習字	476	525	478	329	366	標語	1	5	1	4	1	作文	0	0	0	0	1	新聞	0	0	0	0	0	計	500	538	488	340	376	国費	
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																																										
	ポスター	23	8	9	7	8																																										
	習字	476	525	478	329	366																																										
	標語	1	5	1	4	1																																										
	作文	0	0	0	0	1																																										
	新聞	0	0	0	0	0																																										
計	500	538	488	340	376																																											
●宇陀川流域下水道建設負担金 補助事業分 746,200千円 - 国負担455,000千円 - 県負担金254,800千円 = 36,400千円(市負担金)・・・A 単独事業分 45,200千円 × 1/8 = 5,650千円・・・B A+B=42,050千円				県費																																												
				市債	42,000																																											
				その他																																												
				一般財源	1,560																																											
				H26予算額	A 54,981																																											
				H25当初予算額	B 30,698																																											
				H25現計予算額	46,911																																											
				増減額	A-B 24,283																																											
事業のコスト		平成24年度(実績)		平成25年度(見込)																																												
決算額又は決算見込額(千円)		24,850		45,411																																												
従事職員数【人工】																																																
人件費(人工×8,000千円)																																																
総事業費:人件費含む(千円)		24,850		45,411																																												
活動指標名		供用区域面積																																														
活動指標の算式		-																																														
活動指標の実績		721	単位	ha	721	単位	ha																																									
単位当たりコスト(円)		34,466		62,983																																												
事業の目標		下水道展を通じ下水道に対する理解と関心を深め、下水道の普及と活用を促進する。 また、宇陀川流域下水道事業にかかる幹線管渠の整備や処理場施設の整備を年次的に行い、施設の長寿命化を図る(県事業に対する市負担金)。				備考																																										

※H25現計予算額のうち、16,213千円はH24からの繰越分

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	下水道管理費					
所管課	162	下水道課	(水道局)		宇陀市下水道事業特別会計予算			
事業の目的	●維持管理 管渠、マンホール、中継ポンプ場及びマンホールポンプ場等の下水道施設が正常に運転できるように点検及び維持補修を行うと共に新規あるいは改築された宅内配管の検査を行う。 ●流域下水道維持管理費負担金 宇陀川浄化センターでの処理経費に係る費用等を、有収水量により算出し、県に支払う。				区分 No. 区分名			
	款	1	下水道費					
	項	1	下水道費					
	目	2	下水道管理費					
細目	1	下水道管理費・公共						
根拠条例等	宇陀市下水道条例							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H26年度事業の概要	主な事業 職員人件費(3名分) 28,154千円 維持管理経費 49,495千円 雨水幹線維持管理経費 557千円 修繕費 7,500千円 流域下水道維持管理負担金 130,853千円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	定期的な保守点検により、大きな故障を未然に防ぎ補修することで、老朽化が進みながらも耐用している。 ●26年修繕箇所 第1中継ポンプ場高圧受電設備及び主ポンプ人孔鉄蓋 自動通報装置 マンホールポンプフロートスイッチ及び交互リレー 等 ●雨水幹線の維持管理を通じ雨水排水の機能確保に努める。				使用料	203,970		
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	189		
					一般財源	12,400		
					H26予算額 A	216,559		
					H25当初予算額 B	234,764		
				H25現計予算額	234,764			
				増減額 A-B	▲ 18,205			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		196,298	208,336					
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)		196,298	208,336					
活動指標名		供用区域面積						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		721.0	単位	ha		721	単位	ha
単位当たりコスト(円)		272,258	288,954					
事業の目標	定期的な保守点検や計画的な補修により、維持管理費の増大を緩和する。					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	公共下水道建設費(事務費等)		
所管課	162	下水道課	(水道局)		
事業の目的	公共下水道建設費に係る事務費				宇陀市下水道事業特別会計予算
	区分	No.	区分名		
	款	1	下水道費		
	項	2	公共下水道建設費		
目	1	公共下水道建設費			
細目	1	公共下水道・補助			
根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱				
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備				
H26年度事業の概要	主な事業 人件費(2名分) 19,444千円 旅費 30千円 需用費 530千円 役務費 89千円 使用料及び賃借料 715千円 備品購入費 122千円 公課費 30千円				財源の内訳 (単位:千円)
	事業の成果	分担金			
使用料					
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源		20,960			
H26予算額	A	20,960			
H25当初予算額	B	21,669			
H25現計予算額	21,669				
増減額	A-B	▲ 709			
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	20,379	21,669		一般会計繰入金 20,960千円	
従事職員数【人工】	/		/		
人件費(人工×8,000千円)	/		/		
総事業費:人件費含む(千円)	20,379	21,669			
活動指標名	供用区域面積				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績	721.0	単位	ha	721	単位 ha
単位当たりコスト(円)	28,265			30,054	
事業の目標	地域の实情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施すると共に事故の未然防止及びライフスタイルコストの最小を図ることを目的に施設の健全度点検調査により計画を策定し、良好な生活環境を確保する。				備考

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	菟田野松井地区枝線工事				
所管課	162	下水道課	(水道局)		宇陀市下水道事業特別会計予算		
事業の目的	市街化区域内の未整備区域を普及促進し、供用可能箇所を拡大する。				区分 No.	区分名	
					款	1	下水道費
					項	2	公共下水道建設費
					目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助					
根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第4期 上下水道の整備						
H26年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業(国交省) 全体計画年度 H25年度~26年度 全体計画の概要 下水道管渠布設工事 工事延長L=128.3m H26年度の事業費 17,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	市街化区域内の下水道未整備区域の解消。				分担金	
				使用料			
				国費	5,500		
				県費			
				市債	11,500		
				その他			
				一般財源			
				H26予算額	A 17,000		
				H25 当初予算額	B 8,000		
				H25 現計予算額	8,000		
				増減額	A-B 9,000		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			4,000		社会資本整備総合交付金 5,500千円		
従事職員数【人工】			0.19		公共下水道債 5,800千円		
人件費(人工×8,000千円)			1,520		過疎債 5,700千円		
総事業費:人件費含む(千円)			5,520				
活動指標名		進捗率					
活動指標の算式		実施済事業費/全体事業費					
活動指標の実績			単位	19.0	単位	%	
単位当たりコスト(円)			290,526				
事業の目標	地域の实情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施する。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (3)下水道施設の維持補修を中心とした事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	公債費(元金・利子)		
所管課	162	下水道課	(水道局)		宇陀市下水道事業特別会計予算
事業の目的	起債償還金(元金・利子)				区分 No. 区分名
	款	2	公債費		
	項	1	公債費		
	目				
細目					
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備				
H26年度事業の概要	償還額 公共下水道事業債 415,710千円 流域下水道事業債 46,170千円 特定環境保全公共下水道事業債 40,106千円 資本費平準化債 82,307千円 過疎対策事業債 6,907千円 一時借入金利子 200千円				財源の内訳 (単位:千円)
	事業の成果				
				使用料 44,051	
				国費	
				県費	
				市債 215,300	
				その他	
				一般財源 332,049	
				H26予算額 A 591,400	
				H25当初予算額 B 588,369	
				H25現計予算額 588,369	
				増減額 A-B 3,031	
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	581,885	584,069		資本費平準化債 215,300千円 一般会計繰入金 332,049千円 使用料 44,051千円	
従事職員数【人工】					
人件費(人工×8,000千円)					
総事業費:人件費含む(千円)	581,885	584,069			
活動指標名	下水道接続人口				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績	17,555	単位	人	17,181	単位 人
単位当たりコスト(円)	33,146		33,995		
事業の目標					備考

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市保養センター事業特別会計

事業区分	継続	事業名	保養センター美榛苑事業 収益的収支	
------	----	-----	--------------------------	--

所管課	146	商工観光課	(農林商工部)	宇陀市予算	
-----	-----	-------	---------	-------	--

事業の目的	宇陀市地域周辺の観光資源や良質の温泉を活用し、滞在型観光の拠点施設としてPRすることで、市外の観光客を誘客するとともに、高齢者の福祉施設また地域の雇用の場、地元業者との連携による地域経済の拠点とする。管理運営については、指定管理者制度を導入し、指定管理者による効率的、効果的な運営を行う。			区分	No.	区分名
	款					
	項					
	目					
	細目					

根拠条例等	宇陀市保養センター美榛苑管理条例				
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実				

H26年度事業の概要	予算概要 減価償却費 38,663千円 資産減耗費 230千円 支払利息及び企業債取扱諸費 3,018千円 (うち企業債利息:1,598千円 一時借入金利息:1,233千円) 消費税 2,060千円 雑支出 510千円 特別損失 10千円 予備費 131,496千円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	平成24年度美榛苑利用状況 宿泊者数:18,855名 宴会者数:21,535名 レストラン:24,796名 日帰り入浴者数:61,352名(市内内60歳以上30,613名) 一時借入金残高(平成25年度末予定) 1,233,000千円			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		33,314
				一般財源		142,673
				H26予算額	A	175,987
				H25当初予算額	B	63,270
			H25現計予算額		131,184	
			増減額	A-B	112,717	

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	58,107	47,631	指定管理者納付金 30,857千円 携帯電話アンテナ設置料 1,982千円			
従事職員数【人工】	0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)	800	800				
総事業費:人件費含む(千円)	58,907	48,431				
活動指標名	施設利用者数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績	126,538	単位	人	126,000	単位	人
単位当たりコスト(円)	466			384		

事業の目標	宿泊客数の減少や景気の要因により厳しい運営状況であるが、宇陀市地域周辺の観光資源や良質の温泉を活用し、滞在型観光の拠点施設としてPRし、市外の観光客を誘客するとともに、高齢者の福祉施設、また地域の雇用の場、地元業者との連携による地域経済の拠点とすることで、地域の活性化を図る。	備考	
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	--

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市保養センター事業特別会計

事業区分	継続	事業名	保養センター美榛苑事業 資本的収支					
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算			
事業の目的	宇陀市地域周辺の観光資源や良質の温泉を活用し、滞在型観光の拠点施設としてPRすることで、市外の観光客を誘客するとともに、高齢者の福祉施設また地域の雇用の場、地元業者との連携による地域経済の拠点とする。管理運営については、指定管理者制度を導入し、指定管理者による効率的、効果的な運営を行う。				区分	No.	区分名	
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	宇陀市保養センター美榛苑管理条例							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実							
H26年度事業の概要	予算概要 企業債償還元金 24,514千円 バスリース代 1,018千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	企業債の状況 (円)				分担金			
事業の成果					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	25,532		
				H26予算額	A 25,532			
				H25当初予算額	B 70,060			
				H25現計予算額	70,060			
				増減額	A-B ▲ 44,528			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		103,828	70,060					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		104,628	70,860					
活動指標名		施設利用者数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		126,538	単位	126,000			単位	人
単位当たりコスト(円)		827	562					
事業の目標		宿泊客数の減少や景気の要因により厳しい運営状況であるが、宇陀市地域周辺の観光資源や良質の温泉を活用し、滞在型観光の拠点施設としてPRし、市外の観光客を誘客するとともに、高齢者の福祉施設、また地域の雇用の場、地元業者との連携による地域経済の拠点とすることで、地域の活性化を図る。						
		備考						

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	ウェルネスシティ宇陀市健康啓発事業			
所管課	庶務課・経営企画課 (宇陀市立病院)		宇陀市立病院事業特別会計予算			
事業の目的	今後、更に進展する少子高齢化社会において、健康寿命を伸ばし、高齢になっても地域で元気に暮らせる健康長寿のまちづくりを目指した「ウェルネスシティ宇陀市」実現の一翼を担うため、市立病院主催の各種健康啓発事業を実施する。			区分	No.	区分名
				款	1	病院事業費用
				項	1	医業費用
				目	3	経費
細目						
根拠条例等						
総合計画						
H26年度事業の概要	・医療セミナー ・医療講演会 ・糖尿病教室 ・自主放送によるテレビ健康講座 ・病院開院60周年記念事業 ・看護の日イベント			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	市立病院が、健康増進に役立つ情報発信を積極的に行うことにより、市民が医療・健康に関する正しい知識および好ましい生活習慣を習得し、健康を保持・増進するための行動を実行、あるいは、健康にとってよくない行動をやめるなどの行動変容につながる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	1,391	
				H26予算額	A 1,391	
				H25当初予算額	B 100	
H25現計予算額	350					
増減額	A-B 1,291					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		98	346			
従事職員数【人工】		0.04	0.08			
人件費(人工×8,000千円)		320	640			
総事業費:人件費含む(千円)		418	986			
活動指標名		医療セミナー・講演会参加人数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績		233 単位 人	520 単位 人			
単位当たりコスト (円)		1,794	1,896			
事業の目標	今後も健康啓発事業を継続的に実施し、医療分野だけでなく健康増進にも役立つ情報発信を積極的に行い、地域に貢献する公的病院を目指す。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (4)健康啓発事業の実施	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業(収益的収入及び支出)			
所管課	経営企画課	宇陀市立病院	宇陀市立病院事業特別会計予算			
事業の目的	住み慣れた地域において、安心で必要な医療のサービスが受けられる提供体制の充実が求められており、医師不足など地域医療を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、地域の医療需要に対応し、安定的な収益を確保するために、常勤医師の確保を最重要課題として位置づけ、また、前年度に引き続いて、医業経営コンサルタントを活用し、中長期的な視野に立った経営改善及び人事考課制度の導入に取り組み、赤字の解消を目指す。			区分	No.	区分名
				款		
				項		
				目		
				細目		
根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例					
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実					
H26年度事業の概要	・病床数 176床 ・年間患者数 ・入院 51,100人(1日平均 140人) ・外来 102,060人(1日平均 420人) ・収益的収入 3,379,000千円(対前年度 3%減) (前年度予算額 3,478,200千円) ・収益的支出 3,980,000千円(対前年度 7%増) (前年度予算額 3,728,200千円)			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	・平成24年度決算状況(決算統計) ・年間入院患者数 43,969人(1日平均 120人) ・年間外来患者数 101,339人(1日平均 417人) ・収益的収入 3,317,715千円 ・収益的支出 4,246,404千円 差引 △ 928,689千円 ・平成25年度決算見込み ・入院収益は、前年より18%増の見込み ・平成25年1月から院外処方に移行したことや、常勤医師の人員減により、外来収益が約38%の減収となる見込み			使用料		
				国費		
				県費	1,000	
				市債		
				その他	447,305	
				一般財源	2,930,695	
				H26予算額	A 3,379,000	
				H25当初予算額	B 3,478,200	
H25現計予算額	3,478,200					
増減額	A-B ▲ 99,200					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	4,246,404	3,215,727	収益的収入 県補助金 1,000千円 一般会計補助金 77,390千円 ・一般会計負担金 249,351千円 ・資本費繰入益 120,564千円			
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)	4,246,404	3,215,727				
活動指標名	病床利用率					
活動指標の算式	年延入院患者数/年延病床数					
活動指標の実績	68.4	単位 %	70.0	単位 %		
単位当たりコスト(円)						
事業の目標	・病床利用率の向上を目指す。 ・医業経営コンサルタントの経営改善実行支援による収益向上及び人件費、材料費、経費等コスト削減をさらに進める。 ・医師を含めた医療職の人事考課制度導入を推進する。 ・回収困難な未収金については、業務を法律事務所に委託し、回収の強化を図る。			備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市立病院事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市立病院事業(資本的収入及び支出)				
所管課	経営企画課		宇陀市立病院		宇陀市立病院事業特別会計予算		
事業の目的	「地域住民がいつでも安心して必要とする医療サービスを受けられるように、医療水準の維持、向上に努め、愛され、信頼される病院」を基本方針とし、平成21年度から着手した新病院建設事業は、平成25年4月に完成した。 今後も奈良県東和地域の中核病院としての役割を果たすべく、高度医療機器の導入・既存機器の更新を行う。				区分	No.	区分名
					款		
					項		
					目		
細目							
根拠条例等	宇陀市病院事業の設置等に関する条例						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H26年度事業の概要	・資本的収入 21,600千円(対前年度 93%減) (前年度予算額 319,770千円) ・資本的支出 315,590千円(対前年度 32%減) (前年度予算額 463,329千円) ・事業内容(支出) ・建設改良費 43,200千円 ・企業債償還金 263,300千円 ・長期貸付金 9,090千円 ・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。				財源の内訳 (単位:千円)		
	宇陀市立病院は、昭和29年の開院以来、地域の中核的な医療機関としてその役割を担い、また将来においても地域医療の確保及び医療水準の向上と、課せられた役割と使命には大きなものがある。 高度医療機器の整備を推進することにより、住民の幅広い医療ニーズに対応できる医療機関としての機能と役割を担うことが可能となる。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他					21,600		
一般財源							
H26予算額	A	21,600					
H25当初予算額	B	319,770					
H25現計予算額		462,342					
増減額	A-B	▲ 298,170					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 資本的収入 一般会計負担金 21,600千円 ※H25現計予算額のうち、142,572千円はH24からの繰越分		
決算額又は決算見込額(千円)			1,691,538	458,158			
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)			1,691,538	458,158			
活動指標名			新病院建設事業の進捗率				
活動指標の算式			各年度末執行額/全体事業費				
活動指標の実績			95.7	単位 %		100.0	単位 %
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	施設・設備の整備により、快適で利便性の高い院内環境の整備を行う。					備考	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(収益的収入及び支出)				
所管課		庶務課	介護老人保健施設さんとおびあ様原	宇陀市介護老人保健施設事業特別会計			
事業の目的	・要介護高齢者の自立を支援し、その家庭生活への復帰を目指すためのリハビリ機能を備えた施設として、平成11年に開設。 ・利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を図り総合的に援助を行う。 ・市総合計画後期基本計画における市民が安心して暮らせるまちづくりのため、介護老人保健施設の役割を果たすとともに、介護・福祉・医療の各機関と連携し、事業の実現を目指す。						
	区分	No.	区分名				
	款		/				
	項						
	目						
細目							
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例						
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち						
H26年度事業の概要	・入所定員 100人 ・通所定員 25人 ・年間入所予定者数 35,818人、1日平均 98.1人 ・ " 通所予定者数 4,758人、1日平均 19.5人 ・収入 528,000千円、対前年度 1.5%増 (内、長期前受金戻入益 4,600千円) ・支出 572,000千円、対前年度10.0%増 (内、特別損失 41,500千円(退職給付・賞与引当金)) ※()内は、新会計基準へ移行に伴う経過措置。			財源の内訳 (単位:千円)			
	・平成24年度決算状況 ・年間入所者数 34,501人、1日平均 94.5人 ・年間通所者数 4,190人、1日平均 17.2人 ・収益的収入 496,876千円 ・収益的支出 501,981千円 差引 △ 5,105千円 ・平成25年度経過 入所者数は前年度と比較増加しているが、通所者数は伸び悩んでいる。収益は、在宅復帰強化型や入所率が貢献し上半期決算では前年度を上回る。支出は前年度をわずかに下回っている。下半期においてもこの傾向を維持し、健全経営を目指す。			介護報酬 444,800 利用料 69,100 国費 県費 繰入金 2,136 事業外収益等 14,464 特別損失 41,500 H26予算額 A 572,000 H25当初予算額 B 520,000 H25現計予算額 520,000 増減額 A-B 52,000			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		501,981	502,500				
従事職員数【人工】		/					
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)		501,981	502,500				
活動指標名		利用者数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		38,691	単位	人		38,700	単位
単位当たりコスト(円)		12,974		12,984			
事業の目標	・宇陀市唯一の介護老人保健施設として、質の高い介護サービスを提供していく。 ・人件費率が高く経営は厳しい状況にある。経費の節減を更に進める。				備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(資本的収入及び支出)					
所管課		庶務課	介護老人保健施設さんとぴあ榛原		宇陀市介護老人保健施設事業特別会計			
事業の目的	・施設・設備を良好な状態で維持し、施設介護サービスを安定して提供する。 ・企業債償還を安定して行うため、減債積立を行う。				区分 No.	区分名		
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例							
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち							
H26年度事業の概要	・資本的収入 10千円 ・資本的支出 52,000千円 (前年度同額) ・事業内容(支出) ・器具及び備品更新等 2,150千円 ・企業債償還金 49,850千円 ・収入の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんする。				財源の内訳 (単位:千円)			
	・平成24年度決算状況 ・資本的収入 0千円 ・資本的支出 52,086千円 ・事業内容 ・通所送迎車 1台3,757千円、企業債元金償還48,329千円 ・企業債現在高 853,683千円(平成25年3月) ・企業債償還最終年 平成40年度 ・平成25年度経過 ・資本的収入 200千円 ・資本的支出 50,950千円 ・事業内容 備品購入及び企業債元金償還				分担金			
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
事業の成果					一般財源	52,000		
					H26予算額 A	52,000		
					H25当初予算額 B	52,000		
					H25現計予算額	52,000		
増減額	A-B							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	52,086	50,950						
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)	52,086	50,950						
活動指標名	利用者数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績	38,691	38,700						
単位当たりコスト(円)	1,346	1,316						
事業の目標	・設備については、耐用年数が経過したものから、順次計画的に入れ替えていく。但し、保守点検や修繕等で延命が図れるものについては、状況を見て判断する。 ・起債は計画的に償還していく。					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	水道事業(収益的収入及び支出)					
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市予算			
事業の目的	水道法に基づき、水道事業を実施。利用者に安心、安全、安定した飲料水の供給を目指して施設の管理運営を実施する。				区分	No.	区分名	
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	水道法第15条、宇陀市水道事業の設置等に関する条例							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H26年度事業の概要	(1)営業費用 ①原水及び浄水費227,910千円 ②配水及び浄水費26,368千円 ③受託工事費 10千円 ④総係費 85,399千円 ⑤減価償却費 212,311千円 ⑥資産減耗費 20,100千円 ⑦その他営業費用 2,000千円 (2)営業外費用 ①支払利息 24,296千円 ②消費税 20,000千円 ③雑支出 5,216千円 (3)特別損失 13,390千円 (4)予備費 1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	水道水の安定供給				分担金			
事業の成果					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	638,000		
					H26予算額 A	638,000		
				H25当初予算額 B	517,000			
				H25現計予算額	517,000			
				増減額 A-B	121,000			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		493,661	517,000					
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)		493,661	517,000					
活動指標名		年間総配水量						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		1,774	単位	千m ³		1,789	単位	千m ³
単位当たりコスト(円)		278,276	288,988					
事業の目標	経費節減を図りながら、水道水を安定供給すべく経営を行っていく。					備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	水道事業(資本的収入及び支出)						
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市予算				
事業の目的	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。 水道水の安定供給を目指して整備工事を実施。				区分	No.	区分名		
					款				
					項				
					目				
細目									
根拠条例等	水道法第15条 宇陀市水道事業の設置等に関する条例								
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備								
H26年度事業の概要	(1)営業設備費 ①量水器購入費 2,963千円 ②機械器具購入費 843千円 (2)水道建設事業費 ①人件費 21,001千円 ②事務費等 551千円 ③リース資産購入費 1,577千円 (3)企業債償還金 59,712千円				財源の内訳 (単位:千円)				
	事業により、水道水の安定的な供給と未普及地域の解消。				分担金				
事業の成果					使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	86,647			
					H26予算額	A 86,647			
H25 当初予算額	B 192,000								
H25 現計予算額	192,000								
増減額	A-B ▲ 105,353								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	194,160	108,539							
従事職員数【人工】									
人件費(人工×8,000千円)									
総事業費:人件費含む(千円)	194,160	108,539							
活動指標名	整備済区域世帯								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績	5,715	単位	戸				5,750	単位	戸
単位当たりコスト(円)	33,974						18,876		
事業の目標	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。 水道水の安定供給を目指して整備工事を実施。						備考		